THE NATIONAL
ART CENTER, TOKYO
国立新美術館

NACT REPORT
APRIL 2012–MARCH 2013
平成24年度 活動報告

平成24年度
国立新美術館　活動報告

NACT REPORT
April 2012 - March 2013
The National Art Center, Tokyo

平成24年度の活動を振り返って

国立新美術館は収蔵品（コレクション）を所有しない美術館である。国内最大級の展示スペースを活用した意欲的で多彩な展覧会の開催、また美術に関する情報や資料の収集、その公開、提供、そして幅広い層を対象にした教育普及活動などを行っている。

開館６年目となる平成24年度には極めて質の高く内容の豊富な展覧会を開催することが出来た。

先ず自主企画展として、戦後日本の前衛美術を国際的に高めた「具体美術協会」の全貌を示す東京での初めての大規模な回顧展「『具体』―ニッポンの前衛　18年の軌跡」、日本を代表する画家と写真家の造形志向の共通性に焦点を合わせた「与えられた形象―辰野登恵子／柴田敏雄」、第５回目に当たる内外の現代アーティストの作品を集めた「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」の三展覧会を開催した。また新聞社や放送局との共催展として、「セザンヌ―パリとプロヴァンス」、「大エルミタージュ美術館展　世紀の顔・西欧絵画の400年」、「リヒテンシュタイン　華麗なる侯爵家の秘宝」を開催することが出来た。いずれの展覧会も高い評価を得た。

当館の教育普及事業では初めて未就学児を対象にしたワークショップ「はじめてのアート」を開催し、親子で楽しく美術に親しむ機会を提供した。また情報資料収集・提供事業としては、引き続き日本の展覧会カタログを中心に網羅的遡及的収集に努めた。さらに平成23年度までに寄贈された複数の個人からの大口寄贈資料について整理作業を進め、その一部を平成25年度に公開する予定である。

当館では一般の美術団体からの応募による展覧会、公募展の開催を行っているが、いずれの公募展も盛況を極め、先に触れた企画展と併せ当館の平成24年度における入場総数は235万人にのぼり、前年の約200万人を大きく上回った。

館内の組織として新たに広報室と広報戦略会議を設けた。特設ホームページの公開、動画配信など自主企画展の開催に合わせた広報活動を行った。これらの新しい活動にも当然必要とされる専任の職員の新たな配置は叶っていないが、広報の重要性はいや増すばかりである。また国立新美術館顧問会を設置、開催した。年度末の３月23日と24日は「六本木アートナイト2013」に参加した。美術館の社会的サービス活動の一環としてまた本美術館を一般の人たちにより身近に感じてもらうため、様々な文化芸術・学術の分野で活躍する方々をゲストに迎えて館長と語り合う「カフェ・アオキ」を全９回開催した。多くの人たちの参加を得ることが出来た。

国立新美術館は、平成24年度の実績を踏まえ更なる活動内容の充実と発展を期して進んでゆきたい。なお、本活動報告の編集は、国立新美術館教育普及室の西野華子（室長）、吉澤菜摘、井上絵美子、木内祐子の諸氏が行った。感謝する。

国立新美術館長　　　　青木　保

目次　Contents

1　平成24年度主要記事　Record of Events April 2012 – March 2013　5

2　展覧会　Exhibitions　7

2－1　平成24年度展覧会一覧　List of Exhibitions April 2012 – March 2013　8

2－2　平成23年度までの展覧会一覧　List of Past Exhibitions to March 2012　10

2－3　展覧会記録　Exhibition Details　15

3　美術団体等への展覧会会場提供　Provision of Exhibition Venues to Artist Associations　33

4　教育普及　Education and Public Programs　41

4－1　講演会等　Lectures, etc.　42

4－2　ワークショップ　Workshops　48

4－3　インターンシップ、ボランティア　Internships and Volunteering　49

4－4　その他の教育普及事業　Other Education and Public Programs　49

5　情報資料収集・提供　Collection and Provision of the Library and Information Services　51

5－1　美術関連資料の収集と公開　Collection and Provision of the Library Materials　52

5－2　JACプロジェクト　JAC Project　54

5－3　展覧会情報の収集と提供　Collection and Provision of the Information Services　54

6　広報・出版　Publicity and Publications　55

6－1　印刷物　Publications　56

6－2　ホームページ、各種ウェブサービス　Website, SNS　64

6－3　広報活動　Publicity Activities　65

7　調査・研究　Research　69

8　その他の事業　Other Programs and Events　73

9　記録　Records　77

9－1　入場者数　Number of Visitors　78

9－2　予算　Revenue and Expenditure　78

9－3　企業協賛　Corporate Support　78

9－4　来館者サービス　Visitor Services　78

9－5　国際交流　International Exchanges　80

9－6　展覧会出品リスト　List of Works　85

9－7　名簿　The NACT Advisory Board, The NACT Council and Staff List　116

1

平成24年度主要記事

Record of Events　April 2012 — March 2013

主な事業

平成24(2012)年
4月25日 「大エルミタージュ美術館展 世紀の顔・西欧絵画の400年」開催(～7月16日)
7月4日 「『具体』—ニッポンの前衛 18年の軌跡」開催(～9月10日)
7月13日 国立新美術館評議員会(平成24年度)開催
8月8日 「与えられた形象—辰野登恵子／柴田敏雄」開催(～10月22日)
10月3日 「リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝」開催(～12月23日)
11月27日 国立新美術館顧問会(平成24年度)開催

平成25(2013)年
1月12日 「未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2013 文化庁芸術家在外研修の成果」開催(～2月3日)
1月23日 「アーティスト・ファイル2013—現代の作家たち」開催(～4月1日)
2月13日 「平成24年度[第16回]文化庁メディア芸術祭」開催(～2月24日)
3月20日 「カリフォルニア・デザイン 1930-1965—モダン・リヴィングの起源—」開催(～6月3日)

トピックス

平成24(2012)年
4月1日 国立新美術館顧問会設置
4月15日 館長によるトークイベント「カフェアオキ」開催(平成24年度全9回開催)
5月2日 高井文部科学副大臣「セザンヌ—パリとプロヴァンス」及び「大エルミタージュ美術館展 世紀の顔・西欧絵画の400年」御観覧
5月16日 高円宮妃殿下お成り「第34回日本新工芸展」御観覧
5月25日 延べ展覧会入場者数1400万人を達成
5月26日 平野文部科学大臣「大エルミタージュ美術館展 世紀の顔・西欧絵画の400年」御観覧
5月31日 皇太子殿下行啓「セザンヌ—パリとプロヴァンス」御観覧
7月7日 高円宮妃殿下お成り「大エルミタージュ美術館展 世紀の顔・西欧絵画の400年」御観覧
7月8日 近藤文化庁長官「大エルミタージュ美術館展 世紀の顔・西欧絵画の400年」御観覧
8月3日 皇后陛下行啓「第64回毎日書道展特別展示『熊谷恒子の世界』」御観覧
東京都博物館協議会及び(財)日本博物館協会東京支部平成24年度第1回総会見学研修会開催
9月5日 高井文部科学副大臣「『具体』—ニッポンの前衛 18年の軌跡」御観覧
10月2日 皇太子殿下及びアロイス・フォン・リヒテンシュタイン皇太子殿下行啓「リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝」開会式御臨席
10月25日 延べ展覧会入場者数1500万人を達成
11月13日 国立新美術館広報室、広報戦略会議設置
11月21日 近藤文化庁長官「第44回日展」御観覧
12月4日 秋篠宮同妃両殿下お成り「リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝」御観覧

平成25(2013)年
3月23日 「六本木アートナイト2013」開催(～3月24日)

協力等

港区ミュージアムネットワークへの参加(主催：港区)

平成24(2012)年
5月18日 「国際博物館の日」への協力
8月1日 「平成24年度文化芸術のちから集中プログラム『ミナコレ2012夏』」(～8月31日)への協力(主催：港区)
10月6日 「2012(第31回)みなと区民まつり」(～10月7日)協賛(主催：みなと区民まつり実行委員会)

平成25(2013)年
2月1日 「平成24年度文化芸術のちから集中プログラム『ミナコレ2013冬』」(～2月28日)への協力(主催：港区)

12月23日 カフェアオキ

2
展覧会
Exhibitions

2-1　平成24年度展覧会一覧
List of Exhibitions April 2012 — March 2013

2-2　平成23年度までの展覧会一覧
List of Past Exhibitions to March 2012

2-3　展覧会記録
Exhibition Details

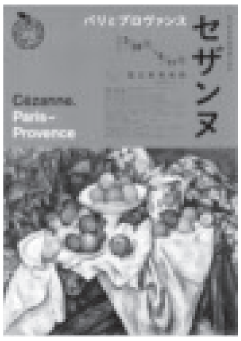
2 展覧会
Exhibitions

2-1　平成24年度展覧会一覧　List of Exhibitions　April 2012-March 2013

野田裕示　絵画のかたち／絵画の姿
NODA Hiroji 1981-2011

会期：平成24(2012)年1月18日(水)～4月2日(月)
日数：2日(全会期；66日)
入場者数：813人(1日平均407人)(全会期；21,151人)
入場：有料
種別：自主企画展

セザンヌ―パリとプロヴァンス
Cézanne. Paris-Provence



会期：平成24(2012)年3月28日(水)～6月11日(月)
日数：63日(全会期；67日)
入場者数：290,494人(1日平均4,611人)(全会期；302,239人)
入場：有料
種別：共催展

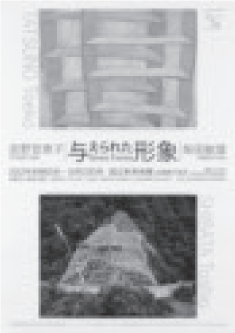
大エルミタージュ美術館展　世紀の顔・西欧絵画の400年
400 Years of European Masterpieces from the State Hermitage Museum

会期：平成24(2012)年4月25日(水)～7月16日(月・祝)
日数：73日
入場者数：392,949人(1日平均5,383人)
入場：有料
種別：共催展

「具体」―ニッポンの前衛　18年の軌跡
GUTAI: The Spirit of an Era

会期：平成24(2012)年7月4日(水)～9月10(月)
日数：60日
入場者数：26,700人(1日平均445人)
入場：有料
種別：自主企画展

与えられた形象―辰野登恵子／柴田敏雄
Given Forms―TATSUNO Toeko / SHIBATA Toshio



会期：平成24(2012)年8月8日(水)～10月22日(月)
日数：66日
入場者数：15,725人(1日平均238人)
入場：有料
種別：自主企画展

リヒテンシュタイン　華麗なる侯爵家の秘宝
Masterworks from the Collection of the Prince of Liechtenstein

会期：平成24(2012)年10月 3 日(水)～12月23日(日・祝)
日数：71日
入場者数：253,569人(1 日平均3,571人)
入場：有料
種別：共催展

未来を担う美術家たち　DOMANI・明日展2013　文化庁芸術家在外研修の成果
“DOMANI: The Art of Tomorrow 2013” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成25年(2013)年 1 月12日(土)～ 2 月 3 日(日)
日数：20日
入場者数：14,307人(1 日平均715人)
入場：有料
種別：共催展

アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち
Artist File 2013―The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成25(2013)年 1 月23日(水)～ 4 月 1 日(月)
日数：59日(全会期；60日)
入場者数：30,129人(1 日平均511人) (全会期；30,914人)
入場：有料
種別：自主企画展

平成24年度[第16回]文化庁メディア芸術祭
2012 [16th] Japan Media Arts Festival

会期：平成25年(2013)年 2 月13日(水)～ 2 月24日(日)
日数：11日
入場者数：51,819人(1 日平均4,711人)
入場：無料
種別：共催展

カリフォルニア・デザイン　1930-1965　―モダン・リヴィングの起源―
California Design, 1930-1965: “Living in a Modern Way”

会期：平成25(2013)年 3 月20日(水・祝)～ 6 月 3 日(月)
日数：11日(全会期；67日)
入場者数：15,670人(1 日平均1,425人)
入場：有料
種別：自主企画展

2-2　平成23年度までの展覧会一覧　List of Past Exhibitions to March 2012

国立新美術館開館記念展　20世紀美術探検―アーティストたちの三つの冒険物語―
Living in the Material World― 'Things' in Art of the 20th Century and Beyond

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～3月19日(月)

黒川紀章展―機械の時代から生命の時代へ
KISHO KUROKAWA: From the Age of the Machine to the Age of Life

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～3月19日(月)

文化庁メディア芸術祭10周年企画展　日本の表現力
The Power of Expression, JAPAN

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～2月4日(日)

異邦人(エトランジェ)たちのパリ1900-2005　ポンピドー・センター所蔵作品展
Paris du monde entier: Artistes étrangers à Paris 1900-2005. Exposition organisée par le Centre Pompidou

会期：平成19(2007)年2月7日(水)～5月7日(月)

大回顧展　モネ　印象派の巨匠、その遺産
Claude Monet: L'art de Monet et sa postérité

会期：平成19(2007)年4月7日(土)～7月2日(月)

スキン＋ボーンズ―1980年代以降の建築とファッション
Skin + Bones: Parallel Practices in Fashion and Architecture

会期：平成19(2007)年6月6日(水)～8月13日(月)

日展100年
The 100th Anniversary of NITTEN

会期：平成19(2007)年7月25日(水)～9月3日(月)

安齊重男の"私(パーソナル)・写(フォト)・録(アーカイブス)"1970-2006
ANZAÏ: Personal Photo Archives 1970-2006

会期：平成19(2007)年9月5日(水)～10月22日(月)

アムステルダム国立美術館所蔵　フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展
Milkmaid by Vermeer and Dutch Genre Painting―Masterworks from the Rijksmuseum Amsterdam

会期：平成19(2007)年9月26日(水)～12月17日(月)

文化庁芸術家在外研修制度40周年記念　『旅』展―異文化との出会い、そして対話―
The 40th Anniversary of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs: Journey―Encounters and Dialogues with Foreign Cultures

会期：平成19(2007)年12月15日(土)～平成20(2008)年1月28日(月)

没後50年　横山大観―新たなる伝説へ
YOKOYAMA TAIKAN Fifty Years On―A legend in the making

会期：平成20(2008)年1月23日(水)～3月3日(月)

平成19年度[第11回]文化庁メディア芸術祭
2007 [11th] Japan Media Arts Festival

会期：平成20(2008)年2月6日(水)～2月17日(日)

アーティスト・ファイル2008―現代の作家たち
Artist File 2008―The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成20(2008)年3月5日(水)～5月6日(火・祝)

モディリアーニ展
Modigliani et le Primitivisme

会期：平成20(2008)年3月26日(水)～6月9日(月)

エミリー・ウングワレー展―アボリジニが生んだ天才画家
Utopia: the Genius of Emily Kame Kngwarreye

会期：平成20（2008）年５月28日（水）〜７月28日（月）

ウィーン美術史美術館所蔵　静物画の秘密
European Still-Life Painting from the Kunsthistorisches Museum Wien

会期：平成20（2008）年７月２日（水）〜９月15日（月・祝）

アヴァンギャルド・チャイナ―〈中国当代美術〉二十年―
AVANT-GARDE CHINA: Twenty Years of Chinese Contemporary Art

会期：平成20（2008）年８月20日（水）〜10月20日（月）

巨匠ピカソ　愛と創造の軌跡
PICASSO: Sa vie et sa création

会期：平成20（2008）年10月４日（土）〜12月14日（日）

未来を担う美術家たち　DOMANI・明日展2008　文化庁芸術家在外研修の成果
“DOMANI: The Art of Tomorrow 2008” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成20（2008）年12月13日（土）〜平成21（2009）年１月26日（月）

加山又造展
KAYAMA Matazo Retrospective

会期：平成21（2009）年１月21日（水）〜３月２日（月）

平成20年度［第12回］文化庁メディア芸術祭
2008 [12th] Japan Media Arts Festival

会期：平成21（2009）年２月４日（水）〜２月15日（日）

アーティスト・ファイル2009―現代の作家たち
Artist File 2009—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成21（2009）年３月４日（水）〜５月６日（水・祝）

ルーヴル美術館展　美の宮殿の子どもたち
L’enfant dans les collections du Musée du Louvre

会期：平成21（2009）年３月25日（水）〜６月１日（月）

野村仁　変化する相―時・場・身体
NOMURA HITOSHI: PERCEPTIONS-CHANGES IN TIME AND FIELD

会期：平成21（2009）年５月27日（水）〜７月27日（月）

ルネ・ラリック　華やぎのジュエリーから煌きのガラスへ
René Lalique: A Retrospective

会期：平成21（2009）年６月24日（水）〜９月７日（月）

光　松本陽子／野口里佳
The Light: MATSUMOTO Yoko / NOGUCHI Rika

会期：平成21（2009）年８月19日（水）〜10月19日（月）

THEハプスブルク
Treasures of Habsburg Monarchy 140th Jubilee of the Friendship Treaty between Austria — Hungary and Japan

会期：平成21（2009）年９月25日（金）〜12月14日（月）

未来を担う美術家たち　DOMANI・明日展2009　文化庁芸術家在外研修の成果
“DOMANI: The Art of Tomorrow 2009” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成21（2009）年12月12日（土）～平成22（2010）年１月24日（日）

ルノワール―伝統と革新
Renoir: Tradition and Innovation

会期：平成22（2010）年１月20日（水）～４月５日（月）

平成21年度［第13回］文化庁メディア芸術祭
2009 [13th] Japan Media Arts Festival

会期：平成22（2010）年２月３日（水）～２月14日（日）

アーティスト・ファイル2010―現代の作家たち
Artist File 2010—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成22（2010）年３月３日（水）～５月５日（水・祝）

ルーシー・リー展
Rucie Rie: A Retrospective

会期：平成22（2010）年４月28日（水）～６月21日（月）

オルセー美術館展2010「ポスト印象派」
Post-impressionnisme 115 chefs-d’œuvre de la collection du Musée d’Orsay

会期：平成22（2010）年５月26日（水）～８月16日（月）

マン・レイ展
Man Ray: Unconcerned But Not Indifferent

会期：平成22（2010）年７月14日（水）～９月13日（月）

陰影礼讃―国立美術館コレクションによる
SHADOWS: Works from the Collections of the National Museums of Art

会期：平成22（2010）年９月８日（水）～10月18日（月）

没後120年　ゴッホ展
Van Gogh: The Adventure of becoming an Artist

会期：平成22（2010）年10月１日（金）～12月20日（月）

未来を担う美術家たち　DOMANI・明日展2010　文化庁芸術家在外研修の成果
“DOMANI: The Art of Tomorrow 2010” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成22（2010）年12月11日（土）～平成23（2011）年１月23日（日）

平成22年度［第14回］文化庁メディア芸術祭
2010 [14th] Japan Media Arts Festival

会期：平成23（2011）年２月２日（水）～２月13日（日）

シュルレアリスム展―パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による―
Le Surréalisme: Exposition orgqnisée par le Centre Pompidou à partir de sa collection

会期：平成23（2011）年２月９日（水）～５月15日（日）
※東日本大震災の影響により、会期及び開館日を変更。当初の会期は５月９日（月）まで。３月の臨時休館（計８日）に伴い、５月６日（金）、10日（火）は開館。

アーティスト・ファイル2011―現代の作家たち
Artist File 2011—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成23（2011）年３月19日（土）～６月６日（月）
※東日本大震災の影響により、会期及び開館日を変更。当初の会期は３月16日（水）から。３月の臨時休館（計８日）に伴い、５月６日（金）、10日（火）は開館。

ワシントン・ナショナル・ギャラリー展　印象派・ポスト印象派　奇跡のコレクション
Impressionist and Post—Impressionist Masterpieces from the National Gallery of Art

会期：平成23(2011)年６月８日(水)～９月５日(月)

モダン・アート，アメリカン　―珠玉のフィリップス・コレクション―
To See as Artists See: American Art from the Phillips Collection

会期：平成23(2011)年９月28日(水)～12月12日(月)

未来を担う美術家たち　DOMANI・明日展　文化庁芸術家在外研修の成果
“DOMANI: The Art of Tomorrow” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成24(2012)年１月14日(土)～２月12日(日)

平成23年度［第15回］文化庁メディア芸術祭
2011［15th］Japan Media Arts Festival

会期：平成24(2012)年２月22日(水)～３月４日(日)

野田裕示　絵画のかたち／絵画の姿
NODA Hiroji 1981-2011

会期：平成24(2012)年１月18日(水)～４月２日(月)
日数：２日(全会期；66日)
会場：国立新美術館　企画展示室２E
入場者数：813人(１日平均407人)(全会期；21,151人)
入場：有料
主催：国立新美術館

※本展の平成23年度開催記録及び出品リストは、『平成23年度　国立新美術館活動報告』に記載した。

セザンヌ—パリとプロヴァンス
Cézanne. Paris-Provence

「セザンヌ—パリとプロヴァンス」展は、「近代絵画の父」と称されるポール・セザンヌ（1839-1906年）の画業を、パリとプロヴァンスというふたつの場所に注目して振り返った大規模な個展である。

南仏のエクス＝アン＝プロヴァンスに生まれたセザンヌは、1860年代のはじめに、画家としての成功を夢見てパリに出る。1870年代に入り、セザンヌは、当時世に出た印象派の輝くような明るい色彩に大いに感化される一方、形態と空間の表現に創意を凝らし、独自の絵画表現の追求のために研鑽を重ねた。1880年代以降のセザンヌは、パリに背を向け、故郷のエクスにこもって制作を続けた孤高の画家であると、これまで考えられてきた。

しかしながら、実際にセザンヌは、故郷であるプロヴァンス地方と、パリを中心としたイル＝ド＝フランス地方の間を、生涯を通じて20回以上も行き来している。セザンヌ研究の世界的な権威であるドニ・クターニュ氏を監修に迎えた本展では、それぞれの場所が画家の絵画制作にどのような影響を及ぼしたのか、ひいてはふたつの土地の往復が絵画表現の進展をどのように促したのか、こうしたことが、油彩71点、水彩11点、素描２点、版画４点、全88点の出品作を通じて検証された。

“Cézanne. Paris-Provence” was a major exhibition devoted to the works of Paul Cézanne (1839-1906), known as the father of modern painting. The exhibition concentrated on Paris and Provence, the two areas in which the artist spent most of his working career.

Born in Aix-en-Provence, Cézanne moved to Paris in the early 1860s to pursue his dream of success as a painter. In the 1870s, he developed his own distinctive mode of expression, applying his creative efforts to the representation of form and space under the influence of the newly emergent Impressionist movement. From the 1880s, Cézanne turned his back on Paris and sequestered himself in the town of his birth, where he worked in isolation. At least, this was the received opinion until recently.

In fact, however, Cézanne made more than 20 trips back to the Ile de France after moving to Provence. The supervisor of this exhibition, Denis Coutagne, is a world authority on Cézanne. The 88 works shown in the exhibition—71 oils, 11 watercolors, 2 drawings, and 4 prints—examined the influence on Cézanne of the places where he worked, and how travel between these two locations inspired his art.

会期：平成24（2012）年３月28日（水）～６月11日（月）
日数：63日（全会期；67日）
会場：国立新美術館　企画展示室１E
入場者数：290,494人（１日平均4,611人）（全会期；302,239人）
入場：有料
主催：国立新美術館、日本経済新聞社
後援：フランス大使館
協賛：NEC、花王、キヤノン、損保ジャパン、ダイキン工業、大日本印刷、トヨタ自動車、三井住友銀行、三井物産
特別協力：オルセー美術館、パリ市立プティ・パレ美術館
協力：エールフランス航空、日本航空
監修：ドニ・クターニュ（フランス国家文化財主任研究員）
※本展は、一部作品について政府による美術品補償制度の適用を受けた。

講演会等：
●記念講演会「人間セザンヌ」
日時：４月１日（日）14時～15時30分
講演：フィリップ・セザンヌ（ポール・セザンヌ協会名誉会長、ポール・セザンヌ曾孫）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：257人

●解説会
日時：４月14日（土）14時～14時45分
解説：工藤弘二（学芸課アソシエイト・フェロー）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：203人

●記念講演会「セザンヌは山をどこから描くか」
日時：４月21日（土）14時～15時30分
講演：山口晃（画家）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：249人

●解説会
日時：５月13日（日）14時～14時45分
解説：工藤弘二（学芸課アソシエイト・フェロー）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：251人

●シンポジウム
「『セザンヌ―パリとプロヴァンス』展から見る今日のセザンヌ」
主催：国立新美術館、日本経済新聞社
後援：日仏美術学会、美学会、美術史学会
日時：５月26日（土）13時～17時
・基調講演「セザンヌ研究の現在―研究史から見る今日のセザンヌ像」
　永井隆則（京都工芸繊維大学准教授）
・パネリスト発表「南北の往復から見るセザンヌ―展覧会史における『セザンヌ―パリとプロヴァンス』展の意義」
　工藤弘二（学芸課アソシエイト・フェロー）
・パネリスト発表「セザンヌのパリ―マネとの関係を中心に」
　三浦篤（東京大学教授）
・パネリスト発表「セザンヌのプロヴァンス―セザンヌと古典主義」
　新畑泰秀（石橋財団ブリヂストン美術館学芸課長）
・全体討議
司会：永井隆則
パネリスト：三浦篤、新畑泰秀、工藤弘二
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：188人

カタログ：『セザンヌ―パリとプロヴァンス』
　Ａ４変型、232ページ、図版カラー102点・白黒10点、
　10,000部（初版）、5,000部（第２版）、15,000部（第３版）

シンポジウム記録集：『「セザンヌ―パリとプロヴァンス」展から見る今日のセザンヌ』
　平成25（2013）年３月15日発行、Ａ４判、92ページ、図版白黒74点、1,000部

出品目録：仕上りＡ４判、二つ折、４ページ、10,000部（初版）、100,000部（第２版）、130,000部（第３版）

ポスター：Ｂ１判（２種）、200部
　Ｂ２判（２種）、4,000部
　Ｂ３判（２種）、2,500部

チラシ：Ａ４判、二つ折、600,000部、（内、割引券付き300,000部）

関連記事：
美術の窓／平成24（2012）年２月20日／工藤弘二（学芸課アソシエイト・フェロー）
日経新聞（夕刊）／５月８日
日経新聞（夕刊）／５月９日
日経新聞（夕刊）／５月10日
日経新聞（夕刊）／５月11日
日経新聞（夕刊）／５月12日
日経新聞／５月20日
日経新聞／６月１日
他　多数

※出品リスト：pp.85-86

※本展の平成23年度開催記録は『平成23年度　国立新美術館活動報告』に記載した。

４月１日　講演会

４月21日　講演会

大エルミタージュ美術館展　世紀の顔・西欧絵画の400年
400 Years of European Masterpieces from the State Hermitage Museum

ロシア、サンクトペテルブルクにある国立エルミタージュ美術館は、約300万点もの作品を収蔵する世界最大級の美術館である。そのコレクションの歴史は、今から約250年前に女帝エカテリーナ２世が、ロシア帝国の威信をかけて美術品を蒐集したことに遡る。古代から現代まで幅広い美術品を所蔵する同館が所蔵する16世紀から20世紀初頭に描かれた西欧絵画コレクションの中から、西欧美術の「顔」ともいえる、各時代を象徴する優れた油彩画89点を選び、世紀ごとに５つに分類し、それぞれの世紀を表わすキーワードを軸に展示した。

（構成）
第１章　16世紀　ルネサンス：人間の世紀
第２章　17世紀　バロック：黄金の世紀
第３章　18世紀　ロココと新古典派：革命の世紀
第４章　19世紀　ロマン派からポスト印象派まで：進化する世紀
第５章　20世紀　マティスとその周辺：アヴァンギャルドの世紀

また、展覧会のほかに、来場者がエルミタージュ美術館の活動や歴史及び現在のロシアの文化状況についても知識が得られるよう、専門家による講演会に加え、シンポジウムや上映会を含む７つの関連イベントを実施した。

The Russian State Hermitage Museum in Saint Petersburg is one of the largest and most important collections anywhere in the world, encompassing some three million works of art. The museum's holdings date back approximately 250 years to the artworks collected by Catherine the Great (Catherine II) to enhance the prestige of the Russian Empire. The remarkably diverse Hermitage collection comprises artworks from ancient times to the present. For this exhibition we selected paintings that could be described as the “face” of Western European art, dating from the sixteenth to the early twentieth century. The 89 oil paintings chosen included some of the best-known pieces from each period. The exhibition was divided into five groups by century, under keywords representing each century.
(Component)
Ⅰ. The 16th Century Renaissance: The Century of Humanism
Ⅱ. The 17th Century Baroque: The Golden Century
Ⅲ. The 18th Century Rococo and Neoclassicism: The Century of Revolution
Ⅳ. The 19th Century From Romanticism to Post-Impressionism: The Century of Evolution
Ⅴ. The 20th Century Matisse and the Artists around Him: The Age of the Avant-Garde
Seven related events were held in addition to the exhibition, to enhance visitors' understanding of the importance and history of the Hermitage and the current state of culture in Russia. These included talks by specialists, a symposium, and movie/video screenings.

会期：平成24（2012）年４月25日（水）～７月16日（月・祝）
日数：73日
会場：国立新美術館　企画展示室１E
入場者数：392,949人（１日平均5,383人）
入場：有料
主催：国立新美術館、日本テレビ放送網、読売新聞社、エルミタージュ美術館
後援：外務省、在日ロシア連邦大使館、ロシア連邦交流庁
特別協賛：大和ハウス工業
協賛：光村印刷、日本興亜損害保険
協力：フィンエアー、エールフランス航空、KLMオランダ航空、日本通運、JR東日本、BS日テレ、シーエス日本、ラジオ日本、J-WAVE、文化放送、tvk
監修：千足伸之（成城大学名誉教授）
巡回展：名古屋市美術館
平成24（2012）年７月28日（土）～９月30日（日）
京都市美術館
平成24（2012）年10月10日（水）～12月６日（木）

講演会等：
●記念講演会「エルミタージュ美術館　21世紀の百科事典」
日時：４月25日（水）14時～15時30分
講演：ミハイル・ピオトロフスキー（エルミタージュ美術館館長）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：143人

●上映会「エルミタージュ幻想」
日時：５月６日（日）14時～15時45分
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：250人

●講演会「北国の美の宮殿：エルミタージュ美術館の名画を見る」
日時：５月12日（土）14時～15時30分
講演：千足伸行（本展監修・成城大学名誉教授）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：205人

●解説会
日時：６月１日（金）18時～18時45分
講演：本橋弥生（学芸課主任研究員）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：111人

●シンポジウム「現代ロシアとエルミタージュ美術館」
日時：６月３日（日）14時～16時
パネリスト：沼野充義（東京大学教授、ロシア・東欧文学者）、鴻野わか菜（千葉大学准教授、ロシア文学者）
モデレーター：青木保（館長）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：166人

●講演会「エルミタージュ　女帝の時代」
日時：６月９日（土）14時～15時30分
講演：中野京子（ドイツ文学者、早稲田大学講師）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：250人

●上映会「チェブラーシカ」
日時：６月10日（日）14時～15時30分
上映会前ミニトーク：沼野充義（東京大学教授、ロシア・東欧文学者）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：250人

カタログ：『大エルミタージュ美術館　世紀の顔・西欧絵画の400年』
Ａ４変型、271ページ、図版カラー89点、45,000部

出品目録：Ａ４判、二つ折、日本語330,000部、英語3,000部

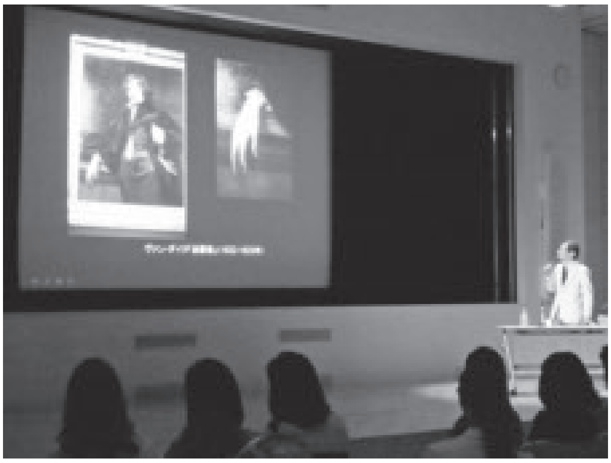
ポスター：Ｂ１判、3,740部
Ｂ２判、1,000部
Ｂ３判、88,100部

チラシ：Ａ４判（２種）、450,000部
仕上りＡ４判、二つ折、400,000部

関連記事：
読売新聞　編集特集／平成24（2012）年４月23日／千足伸行
ダイワハウススペシャル「奇跡の美術館エルミタージュ　２枚のダ・ヴィンチと巨匠が残した暗号（メッセージ）」（日本テレビ）／５月１日
杏と行く大エルミタージュ美術館展（日本テレビ）／５月11日～７月６日
ミニ番組放送
草野・三船・ゴリの世界の名画＆美食グルメ満喫ツアー（日本テレビ）／６月２日
読売新聞／６月２日／高野清見
他　多数

※出品リスト：pp.87-89

４月25日　講演会


５月12日　講演会

「具体」―ニッポンの前衛　18年の軌跡
GUTAI: The Spirit of an Era

具体美術協会（以下、「具体」）は、1954（昭和29）年に戦前から前衛美術家として活動していた吉原治良と吉原を慕う関西在住の若手美術家たちによって結成されたグループである。吉原は、個々人の精神の具体的、直接的な表現を芸術の目的に掲げ、抽象的な表現と作品の独創性の二点を会員に厳しく求めた。また、オリジナリティー溢れる作品の追求は、従来の美術展の概念にとらわれない展覧会の形式と結びつき、「具体」は、公園や舞台、空中での作品発表会など斬新な企画を次々と打ち立てていった。その結果、「具体」から、インスタレーション、パフォーマンス、テクノロジー・アートの先駆けとなる作品が次々と生み出された。こうした「具体」の作品は当時の日本美術界では十分に正当な評価を得ることは出来なかったが、不定期に発行したグループの機関誌を通じてフランスの美術評論家ミシェル・タピエの眼に留まり、タピエが著書や自身の企画展で盛んに紹介したことをきっかけに、時代の先端を行く「具体」の独創性は欧米で高く評価されるようになっていった。

1972（昭和47）年に吉原が急逝し、「具体」はグループとしての活動に終止符を打つが、1980年代後半に欧米で再び注目を集め、以後今日まで欧米の美術館で「具体」の回顧展が開催されてきた。一方で、日本国内では、活動の拠点であった関西の美術館では何度か回顧展が開かれてきたが、東京の美術館では1990年に渋谷区立松涛美術館で「具体」の一時期の活動に焦点を当てた展覧会が開かれて以来、「具体」の活動を振り返る機会はなく、本展は東京では初めて「具体」の全貌に迫る大規模な回顧展となった。

展覧会は、基本的に「具体」の歩みを時代順に辿れるものとし、「プロローグ1954年」、「未知の美の創造1955–1957年」、「ミスターグタイ＝吉原治良」、「『具体』から“GUTAI”へ　1957–1965年」、「新たな展開　1965–1971年」、「エピローグ　1972年」の六章によって構成した。各章ごとに同時代の社会の動きを示す年表を提示し、これまでの海外での「具体」回顧展のように表現の先駆性や革新性、国際的同時性だけを強調するのではなく、「具体」が生まれた歴史的、文化的な背景や、「具体」が活動した1950年代、60年代という時代の社会状況との関連にも光を当てるという新しい切り口から「具体」に迫った。

戦後美術のグループとして国際的に注目を浴びる「具体」の東京での初めての大規模な回顧展ということから、非常に多くのメディアで紹介され、幅広い層の関心を集めることができた。

Yoshihara Jiro's career as an avant-garde artist began in prewar Japan. In 1954, he and a group of young followers living in the Kansai area of western Japan formed the Gutai Art Association (GUTAI). Yoshihara believed that the purpose of art was to provide direct and concrete expression of the spirit of the individual. He insisted that members of the group pursue abstract expression and creative individuality in their work. In its pursuit of originality, GUTAI eschewed the traditional forms of art exhibition. The group embarked on a series of groundbreaking exhibitions held in parks, on stage—and even in mid-air. As a result, the group produced numerous works that became forerunners of later developments such as installation, performance art, and technology art. The Japanese art world of the time was slow to recognize the value of GUTAI's work, but the group's occasional publications caught the eye of the French art critic Michel Tapié. He enthusiastically promoted the group and organized exhibitions of their work. With Tapié's backing, GUTAI's original work gained recognition in Europe and the United States as being at the forefront of the contemporary art.

GUTAI's activities as a group ceased when Yoshihara died suddenly in 1972, but began to attract renewed attraction from the art world in Europe and the United States during the second half of the 1980s. Since then, numerous retrospectives have been held of GUTAI's work in Western art museums. In Japan, however, exhibitions were restricted to shows held in the Kansai area—the “home ground” of the group's activities. Art-lovers had had no chance to reexamine GUTAI'S work in a Tokyo museum since 1990, when the Shoto Museum of Art in Shibuya held a show focusing on one period of the group's activity. This exhibition was the first major retrospective held in Tokyo that introduced the full extent of the group's work.

The exhibition consisted of six sections, organized along essentially chronological lines: “Prologue-1954,” “The Creation of Unknown Beauty 1955-1957,” “Mr. Gutai: YOSHIHARA Jiro,” “GUTAI Goes International: 1957-65,” “New Directions: 1965-71,” and “Epilogue: 1972.” Each chapter was introduced by a chronological table showing the main social developments of the time. The show emphasized the group's innovative, avant-garde approach to artistic expression, and the global synchronicity of the group's work. In this respect, the exhibition followed the example of retrospectives held overseas. But the aims of the exhibition went beyond this. In a new approach, the exhibition attempted to throw light on the historical and cultural background that produced the group, and the relationship between the group's work and the social conditions of the 1950s and 1960s, when GUTAI was active.

As the first major exhibition in Tokyo on GUTAI, a post-World War II Japanese art movement that attracted international attention, the show received considerable media exposure and attracted wide-ranging public interest.

会期：平成24（2012）年７月４日（水）～９月10（月）
日数：60日
会場：国立新美術館　企画展示室１E
入場者数：26,700人（１日平均445人）
入場：有料
主催：国立新美術館

講演会等：
●シンポジウム「『具体』再評価の過去と現在」
日時：７月14日（土）13時～17時
出演者：河﨑晃一（インディペンデント・キュレイター）、ミン・ティアンポ（カールトン大学准教授、グッゲンハイム美術館「具体」展共同キュレイター）、マテイヤス・フィッサー（ゼロ・ファンデーション設立ディレクター）、萬木康博（美術評論家）、平井章一（学芸課主任研究員）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：105人

●座談会「“３M”から見た『具体』」
日時：８月４日（土）14時～15時30分
出演者：前川強、松谷武判、向井修二（いずれも元「具体」会員）、平井章一（学芸課主任研究員）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：182人

カタログ：『「具体」―ニッポンの前衛　18年の軌跡』、
Ａ４変型、303ページ、図版カラー187点・白黒78点、4,000部（初版）、1,249部（第２版）

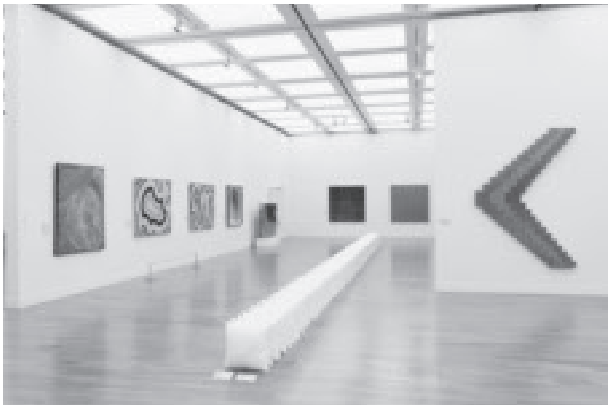
出品目録：仕上がりＡ４判、二つ折、一枚差し込み、９ページ、50,000部

ポスター：Ｂ１判、960部
Ｂ３判、3,900部
Ｂ３変型（インターサイズ）、760部

チラシ：仕上がりＡ４判、二つ折、125,000部

関連記事：
毎日新聞（夕刊）／平成24（2012）年７月11日、／高階秀爾
Artscape／７月15日／加治屋健司
日曜美術館（NHK Eテレ）／７月22日
朝日新聞（夕刊）／７月25日／大西若人
THE JAPAN TIMES／７月26日／Jeff Michael Hammond
日本経済新聞（夕刊）／８月７日／窪田直子
５時に夢中！（TOKYO MX）／８月７日
東京新聞（夕刊）／８月29日／平井章一（学芸課主任研究員）
美術の窓／８月号／平井章一（学芸課主任研究員）
美術手帖／９月号／加藤瑞穂
他　多数

※出品リスト：pp.90-94



７月14日　シンポジウム

８月４日　座談会

与えられた形象—辰野登恵子／柴田敏雄
Given Forms — TATSUTNO Toeko / SHIBATA Toshio

本展は、画家・辰野登恵子（1950年生）と写真家・柴田敏雄（1949年生）による二人展として企画された。東京藝術大学油画科の同級生であった辰野と柴田は、同大学・大学院在学中に、やはり同級生の鎌谷伸一とともにグループ、コスモス・ファクトリーを結成、アンディ・ウォーホルの作品に見るような写真製版によるシルクスクリーンをいち早く実践し、グループ展などの活動を行った。その後、絵画と写真という、それぞれ異なった活動領域に専念していくが、両者の芸術には、見過ごしにすることのできない共通点がある。辰野においては、壁のタイルや積み重ねられた箱などの特に意味を持たない形象がモティーフとして選ばれ、そこから豊かな色彩と形態感覚を特徴とする情感に満ちた抽象絵画が生み出される。柴田にあっては、山奥に点在する大規模な土木工事の人工的で幾何学的な形象と、植生などの自然の形象との組み合わせによって生まれる造形美が、隅々まで緊張感のみなぎる画面として定着される。二人の作品においては、平凡なモティーフに偶発的に見出された「与えられた形象」が、純度の高い抽象的な造形へと昇華されているのである。展覧会では、1970年代の学生時代から現在に至る二人の作品の中から、約100点の辰野作品と約200点の柴田作品を精選し、ポップ・アートとミニマル・アートの影響を受けて自己を形成した最初の世代が、質の高い独自の芸術を作り上げていった様を紹介した。なお辰野登恵子は、本展等を理由として第54回毎日芸術賞を受賞した。

This show featured the work of two artists: painter Tatsuno Toeko (b. 1950) and photographer Shibata Toshio (b. 1949), who were classmates in the oil painting department of Tokyo National University of Fine Arts and Music (present Tokyo University of the Arts). As graduate students they joined with another classmate, Kamatani Shinichi, to form "Cosmos Factory," which held several group shows. They were among the first artists to produce photomechanical silkscreen prints, using a technique similar to that seen in Andy Warhol's work. Although their careers subsequently took them in separate directions, Tatsuno concentrating on her painting, Shibata on his photography, their work retains clear points of similarity. Tatsuno makes frequent use of motifs without obvious significance, such as wall tiles or stacked boxes. From these, she succeeds in creating abstract paintings full of feeling, characterized by rich colors and a strong sense of form. Shibata combines vegetation and other natural motifs with scattered geometric forms taken from civil-engineering projects deep in the mountains. The photographs that result are marked by a formal beauty charged with tension. In the work of both artists, the "given forms" discovered in banal motifs are sublimated into abstract images of great purity. This exhibition presented a carefully put-together selection of some 100 works by Tatsuno and 200 works by Shibata, dating from their student years in the 1970s to the present. The exhibition demonstrated the evolution of their art, from their early years under the influence of Pop Art and Minimalism to the development of their own distinctive styles. Tatsuno Toeko received the 54th Mainichi Art Award, partly in recognition for the work shown in this exhibition.

会期：平成24（2012）年８月８日（水）～10月22日（月）
日数：66日
会場：国立新美術館　企画展示室２E
入場者数：15,725人（１日平均238人）
入場：有料
主催：国立新美術館、読売新聞社

講演会等：
●アーティスト・トーク「マイ・フェイヴァリッツ」辰野登恵子×柴田敏雄
日時：９月15日（土）14時～15時30分
出演者：辰野登恵子、柴田敏雄（出品作家）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：134人

関連事業：
●アーティスト・ワークショップ「"表現としての写真"—柴田敏雄による２回の講評会—」
日時：８月25日（土）、９月８日（土）14時～16時30分
講師：柴田敏雄（出品作家）
会場：国立新美術館　研修室A、B
参加者数：17人

カタログ：『与えられた形象—辰野登恵子／柴田敏雄』、Ｂ４変型、
287ページ、図版カラー214点・白黒128点、4,000部

出品目録：仕上りＡ４判、四つ折（観音折り）、20,000部

ポスター：Ｂ１判、1,000部
Ｂ３判、3,900部
Ｂ３変型（インターサイズ）、760部

チラシ：Ａ４判、100,000部

関連記事：
日本経済新聞／平成24（2012）年８月29日／宝玉正彦
産経新聞／８月29日
朝日新聞（夕刊）／９月５日／大西若人
毎日新聞（夕刊）／９月12日／三田晴夫
読売新聞／９月27日／井上晋治
東京新聞（夕刊）／10月５日／古谷利裕
週刊ポスト／10月12日号（第44巻第40号　通巻第2200号）／坪内祐三
美術手帖／11月号／光田由里
毎日新聞／12月５日／飯沢耕太郎
読売新聞／12月13日／高野清見
毎日新聞／12月19日／岸桂子
他　多数

※出品リスト：pp.95-101

８月25日、９月８日　ワークショップ

９月15日　アーティスト・トーク

リヒテンシュタイン　華麗なる侯爵家の秘宝
Masterworks from the Collections of the Prince of Liechtenstein

リヒテンシュタイン侯爵家が500年以上にわたって形成してきた美術コレクションは、現在総数30,000点余りを数える。コレクションは、1810年よりウィーンの「夏の離宮」で一般に公開されてきた。しかし、第二次世界大戦中に全ての作品が侯国の首都ファドゥーツに移送されて以来、ほぼ秘蔵されることになり、日本での公開も長らく実現しなかった。本展は、この知られざる秘宝たるコレクションから精選されたヨーロッパ美術の名品139点を紹介した。

同侯爵家の本格的な美術品収集は、17世紀、いわゆるバロック期に開始されたため、コレクションの核をなす分野もバロック美術であり、なかでもルーベンスの絵画コレクションは総数36点の充実を誇る。本展では、ルーベンスの絵画10点を中心にしながら、16世紀ルネサンスから19世紀前半のビーダーマイヤーに至るまでの名画44点、及び工芸の名品９点を、じっくりと鑑賞できるように、ゆとりのある空間に展示することを心がけた。また、「バロック・サロン」のエリアでは、絵画、彫刻、工芸品、家具調度、タペストリー、そして天井画４点を一堂に展示し、総合芸術としてのバロック的空間を提示した。これは、同家コレクションが収蔵・展示されるウィーンの「夏の離宮」の展示方針を踏襲したものであったが、現地の雰囲気を味わうことのできる趣向として、幅広い層の来場者から好評を得た。

The art collections built up by the Princes of Liechtenstein over more than 500 years currently comprise over 30,000 artworks. They were first shown to the public at the family's Summer Palace in Vienna in 1810. Since the entire collection was removed to Vaduz during World War II, however, it has been relatively inaccessible to the public. This exhibition gave the Japanese public their first opportunity to see 139 masterpieces of European art specially selected from this little-known treasure house.

Dating back to the seventeenth century, the Princely Collections are rooted in the Baroque ideal of princely patronage of the arts. The holdings of paintings by Rubens are particularly comprehensive, with 36 works. This exhibition centered on 10 paintings by Rubens, with a further 44 painting masterpieces from the Renaissance to the Biedermeier period in the early nineteenth century. Nine outstanding examples of craft works were also displayed. The spacious layout was designed to give visitors the room to fully appreciate the works on show. The Baroque Salon area offered the public an opportunity to experience a Baroque space as “gesamtkunstwerke (total works of art),” showing in a single room paintings (including four on the ceiling), sculptures, furniture, tapestries, and other artifacts. This feature was in keeping with the philosophy governing exhibitions at the Liechtenstein family's Summer Palace in Vienna, and was well received by visitors, who were able to get a sense of how the artworks might look in their usual setting in Vienna.

会期：平成24（2012）年10月３日（水）〜12月23日（日・祝）
日数：71日
会場：国立新美術館　企画展示室１E
入場者数：253,569人（１日平均3,571人）
入場：有料
主催：朝日新聞社、東映株式会社、TBS
後援：外務省、リヒテンシュタイン侯爵家財団、スイス大使館、オーストリア大使館
特別協賛：木下グループ　木下工務店
協賛：三井物産、トヨタ自動車、田中貴金属グループ、大日本印刷
協力：オーストリア政府観光局、オーストリア航空、ルフトハンザカーゴAG、日本貨物航空、日本通運、BS-TBS
巡回展：高知県立美術館
平成25（2013）年１月５日（土）〜３月７日（木）
京都市美術館
平成25（2013）年３月19日（火）〜６月９日（日）
※本展は、一部の作品を除き、政府による美術品補償制度の適用を受けた。

講演会等：
●講演会「リヒテンシュタイン侯爵家コレクションの歴史と特性」
日時：10月４日（木）14時〜15時30分
講演：ヨハン・クレフトナー（本展総合監修者、リヒテンシュタイン侯爵家コレクション・ディレクター）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：235人

●講演会「バロック美術の殿堂　リヒテンシュタイン宮殿の名画を旅する」
日時：10月13日（土）14時～15時30分
講演：千足伸行（本展日本側監修者、成城大学名誉教授）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：262人

カタログ：「リヒテンシュタイン　華麗なる侯爵家の秘宝」、Ａ４変型、
229ページ、図版カラー200点・白黒50点、13,000部（初版）、
10,000部（第２版）

出品目録：仕上りＡ４判、二つ折、日本語200,000部、英語30,000部
「バロック・サロン」目録：仕上りＡ４判、二つ折、200,000部（初版）、
50,000部（第２版）

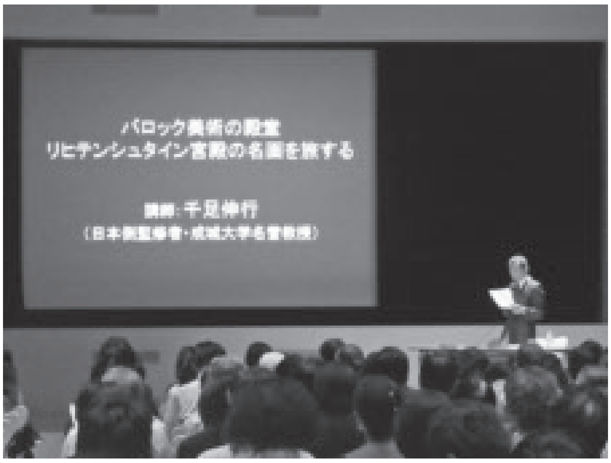
ポスター：Ｂ０判、200部
Ｂ１判（２種）、各300部
Ｂ２判、2,000部
Ｂ３判、8,000部

チラシ：仕上りＡ４判、四つ折、300,000部
仕上りＡ４判、二つ折（２種）、各100,000部
Ａ４判、300,000部

関連記事：
日曜美術館（アートシーン）（NHK Eテレ）／平成24（2012）年10月21日
ぶらぶら美術・博物館（BS日テレ）／10月30日
毎日新聞（夕刊）／11月５日／岸桂子
朝日新聞（夕刊）／11月15日／森洋子
RENDEZ-VOUS（J-WAVE）／11月29日／宮島綾子（学芸課主任研究員）
他　多数

※出品リスト：pp.102-105

10月４日　講演会



10月13日　講演会

未来を担う美術家たち　DOMANI・明日展2013　文化庁芸術家在外研修の成果
“DOMANI: The Art of Tomorrow 2013” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

文化庁は、将来の我が国の芸術界を支える芸術家を支援するため、若手芸術家を海外に派遣し、その専門とする分野について研修の機会を提供する、「芸術家在外研修（新進芸術家海外留学制度）」を昭和42年度から実施している。

これまで14回開催してきた「DOMANI・明日展」は、国立新美術館に会場を移して５回目を迎える。今回は、美術界の様々なジャンルから選出された、現在活躍中の12名の作家がその研修の成果を発表した。

美術界の明日を担う作家たちの多彩な表現が一堂に会する、貴重な機会となった。

Run by the Japanese Agency for Cultural Affairs since 1967, the Program of Overseas Study for Upcoming Artists gives young artists an opportunity to travel overseas and study under specialists in their field, providing valuable support to the individuals who will build the foundations of the future Japanese art world.

Since 1997, the “DOMANI: The Art of Tomorrow” exhibition has been held in order to publicize the work of artists supported by the program. This year marked the fifth times the exhibition has been held at the National Art Center, Tokyo. The exhibition presented the work of 12 currently active artists representing a wide variety of artistic genres.

神彌佐子

青野千穂

塩田千春

会期：平成25（2013）年１月12日（土）～２月３日（日）
日数：20日
会場：国立新美術館　企画展示室１E
入場者数：14,307人（１日平均715人）
入場：有料
主催：文化庁、国立新美術館、読売新聞社、アート・ベンチャー・オフィス・ショウ
制作：アート・ベンチャー・オフィス・ショウ

１月12日　ギャラリートーク

講演会等：

●ギャラリートーク
日時：１月12日（土）11時～
出演者：青野千穂、平野薫、米正万也
会場：国立新美術館　企画展示室１E
参加者数：50人

●ギャラリートーク
日時：１月13日（日）11時～
出演者：糸井潤、神彌佐子、橋爪彩
会場：国立新美術館　企画展示室１E
参加者数：100人

●ギャラリートーク
日時：１月20日（日）11時～
出演者：小尾修、澤田知子、行武治美
会場：国立新美術館　企画展示室１E
参加者数：80人

関連事業：
●出品作家による座談会「本音で語る海外研修体験談」
日時：１月20日（日）14時～
出演者：糸井潤、澤田知子、橋爪彩、米正万也
会場：国立新美術館　研修室A, B
参加者数：40人

カタログ：『未来を担う美術家たちDOMANI・明日展2013　文化庁芸術家在外研修の成果』、Ａ４変型、144ページ、図版カラー115点、1,700部

出品目録：仕上りＡ４判、二つ折、10,000部

ポスター：Ｂ１判、150部
Ｂ２判、1,300部
Ｂ３判、500部

チラシ：Ａ４判、100,000部

関連記事：
美術の窓／平成24（2012）年12月20日／小森佳代子
月刊ギャラリー／平成25（2013）年１月１日／本多隆彦
AERA／１月28日／三橋麻子
oha！４（日本テレビ）／１月17日／西本直美
他　多数

※出品リスト：pp.106-108

１月13日　ギャラリートーク

１月20日　ギャラリートーク

１月20日　座談会

アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち
Artist File 2013―The NACT Annual Show of Contemporary Art

「アーティスト・ファイル」展は、国立新美術館が開館以来、継続的に取り組んでいる現代美術の展覧会プロジェクトである。特定のテーマを設けず、国内外で注目すべき活動を展開する作家を当館の学芸スタッフの日ごろの調査活動をもとに選出し、個展形式で紹介する。５回目となる今回は、ダレン・アーモンド（イギリス）、東亭順、チョン・ヨンドゥ（韓国）、利部志穂、國安孝昌、ナリニ・マラニ（インド）、中澤英明、志賀理江子の８名が参加した。いずれも芸術表現の可能性を広げつつ、今日の社会を真摯に見つめ、自己と向き合いながらひたむきに制作に取り組んでいる作家たちである。海外作家３名を含め、30代から60代まで幅広い世代から選ばれた出品作家は、絵画や写真、映像、インスタレーションなど、その表現メディアも多岐にわたり、本展覧会は多様化する芸術表現の豊かさに触れる貴重な機会となった。

展示においては、例年どおり広い展示空間を最大限に活かしながら各々の作家を丁寧に紹介し、当館ならではの大規模なインスタレーションも多数実現した。今後の活躍が期待される若手作家の作品だけでなく、既に長いキャリアを持ちながら、これまで日本の美術館での大規模な展示の機会が少なかった作家の新たな展開を紹介した点や、出品作家８名のうち６名が新作を発表した点も本展覧会の見どころと言えるだろう。

「アーティスト・ファイル」展は、美術に関する資料を収集し、広く社会に提供するという、当館が掲げる美術情報の収集・提供事業とも連動している。今回も出品作家や関係各位から多くの資料の提供を受けるとともに、自らも資料の収集にあたり、詳細な略歴と文献目録を収録した作家ごとのファイルを、記録集とともにカタログとして発行した。このほか、一般の来場者が現代美術に親しみ、出品作品についての理解を深めることを目的に、出品作家自らが参加してのアーティスト・トークや対談、ワークショップ等、多数の関連イベントを開催した。

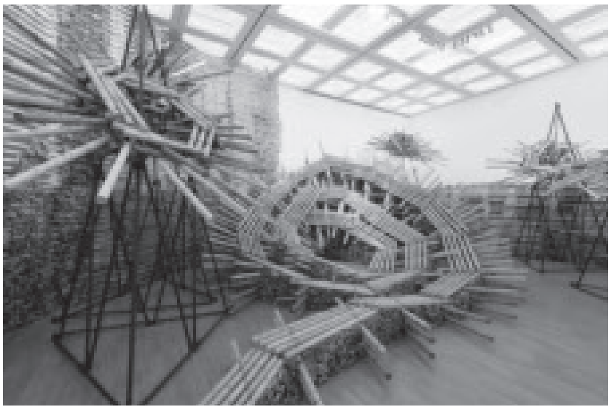
The Artist File is an ongoing series of contemporary art exhibitions that was launched when the National Art Center, Tokyo first opened. Artists are not chosen to fit in with any particular theme, rather they are selected from both Japan and abroad among those who the NACT's curatorial staff come across in the course of their regular research activities, and their work is presented as a group of small solo shows in the exhibition space.

This exhibition, the fifth in the series, features eight artists: Darren ALMOND (United Kingdom), AZUMATEI Jun, Yeondoo JUNG (South Korea), KAGABU Shiho, KUNIYASU Takamasa, Nalini MALANI (India), NAKAZAWA Hideaki and SHIGA Lieko. All these artists work on the frontiers of creative expression, probing the society in which they live and looking deep into the self. The artists, who this year included three from abroad, ranged in age from their thirties to their sixties, and represented a diverse range of media, including painting, photography, video and installation. “Artist File 2013” provided a valuable opportunity for visitors to acquaint themselves with the rich diversity of the contemporary art scene.

As in previous shows, the exhibition aimed to make full use of the space in order to show each artist's work to best effect, and realized several large-scale installations. One of the distinctive features of the show is the way that it represents not only promising young artists but also mid-career artists who have previously had few opportunities for major exhibitions at Japanese art museums. The show provides these artists with an opportunity to showcase their latest work. The fact that six of eight artists exhibited new works was also the highlight of the show.

As a part of NACT's important activities of collecting and disseminating art-related information, the “Artist File” shows collect materials related to participating artists. NACT received a wealth of materials from participants and others for the “Artist File 2013,” and also gathered materials, which were put together to produce a file on each artist, including detailed biographical notes and bibliographies. These files were published as a catalogue, along with the documents of the exhibition. In conjunction with the show, a series of related public programs, including artist talks and workshops, were held with a view to enabling the general public to become more familiar with contemporary art and to gain a deeper appreciation of the works exhibited.

会期：平成25（2013）年１月23日（水）～４月１日（月）
日数：59日（全会期；60日）
会場：国立新美術館　企画展示室２E
入場者数：30,129人（１日平均511人）（全会期；30,914人）
入場：有料
主催：国立新美術館



講演会等：

●アーティスト・トーク
日時：１月24日（木）14時～15時30分
講演：ダレン・アーモンド（出品作家）
会場：国立新美術館　研修室A, B
参加者数：45人

●アーティスト・トーク
日時：１月25日（金）17時30分～19時
講演：チョン・ヨンドゥ（出品作家）
会場：国立新美術館　研修室A, B
参加者数：23人

●アーティスト・トーク
日時：１月27日（日）13時30分～15時
講演：ナリニ・マラニ（出品作家）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：30人

●アーティスト・トーク
日時：１月27日（日）15時30分～17時
対談：東亭順（出品作家）、宮島綾子（学芸課主任研究員）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：48人

●アーティスト・トーク
日時：２月16日（土）14時～15時30分
講演：國安孝昌（出品作家）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：70人

●アーティスト・トーク
日時：３月２日（土）14時～15時30分
講演：中澤英明（出品作家）
会場：国立新美術館　研修室A, B
参加者数：50人

●アーティスト・トーク
日時：３月９日（土）14時～15時30分
対談：利部志穂（出品作家）、南雄介（学芸課長）
会場：国立新美術館　研修室A, B
参加者数：26人

関連事業：
●アーティスト・ワークショップ「高校生が写し出す、とむらいの時」
日時：２月24日（日）13時～17時30分
講師：志賀理江子（出品作家）
会場：国立新美術館　別館３階多目的ルーム他
対象：高校生
参加者数：５人

●アーティスト・ワークショップ「木々に灯す、小さな巣をつくろう～アートナイトでインスタレーションに挑戦」
日時：３月23日（土）13時～16時30分
講師：國安孝昌（出品作家）
会場：国立新美術館　別館３階多目的ルーム他
対象：一般（高校生以上）
参加者数：19人

●六本木アートナイト2013
日時：３月23日（土）
・22時まで開館延長、無料観覧の実施
・國安孝昌（出品作家）による屋外展示の実施
・利部志穂（出品作家）と川西隆史によるパフォーマンス「フレルヒカリ」の開催

カタログ：『アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち』
A４変型、８分冊、箱付き、作家ファイル各44ページ×８冊・イントロダクション４ページ（計356ページ）、図版カラー197点・白黒55点、4,000部

記録集：『展覧会ドキュメント』
A４変型、44ページ、図版カラー25点・白黒17点、1,500部

出品目録：A４変型、６ページ、29,000部

ポスター：B１判、1,000部
B３判、3,200部
B３変型（インターサイズ）、760部

チラシ：A４判、110,000部

１月25日　アーティスト・トーク

２月16日　アーティスト・トーク

関連記事：
岩瀬惠子のスマートNEWS（ラジオ日本）／
平成25年（2013）年１月25日
神奈川新聞／２月６日／下野綾
産経新聞／２月13日／渋沢和彦
GINZA／３月号／林央子
アートアニュアルオンライン（美術年鑑社）／３月19日～
他　多数

※出品リスト：pp.109-113

平成24年度［第16回］文化庁メディア芸術祭
2012［16th］Japan Media Arts Festival

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの４部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルである。平成９年度（1997年）の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰し、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催してきた。

平成24年度［第16回］文化庁メディア芸術祭受賞作品展では、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの４部門で国内外3,503作品の応募から選ばれた受賞作品や審査委員会推薦作品、功労賞受賞者の功績等を紹介。各部門の審査委員による厳正な審査で選ばれた作品群と、様々なイベントを通じて、メディア芸術の“いま”を映し出した。

The Japan Media Arts Festival is a comprehensive festival of Media Arts (＝*Media Geijyutsu*) that honors outstanding works from a diverse range of media- from animation and comics to media art and games. The festival gives awards in each of its four divisions: Art, Entertainment, Animation, and Manga. It also provides a platform for appreciation of the award-winning and other notable works. Since its inception in 1997, the festival has recognized significant works of high artistry and creativity, and in addition to a yearly Exhibition of Award-winning Works has held other events, such as symposiums, screenings, and showcases.

From a record number of 3,503 works submitted for the festival, Award-winning Works and Jury Selections have been chosen in each of the 4 divisions (Art, Entertainment, Animation and Manga) through an exhaustive, impartial and objective screening process. In addition, four individuals have been selected to receive Special Achievement Awards in recognition of their outstanding contributions to the Media Arts field. During this period, not only were there the exhibition and screening of those winners and works but also a number of related presentations and symposiums led by the winning creators.

会期：平成25（2013）年２月13日（水）～２月24日（日）
日数：11日
会場：国立新美術館　企画展示室１Ｅ
入場者数：51,819人（１日平均4,711人）
※サテライト会場：東京ミッドタウン（ガレリア地下１階アトリウム、タワー５階インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター）、シネマート六本木（１階エントランス、３階スクリーン４）、スーパー・デラックス
入場：無料
主催：文化庁メディア芸術祭実行委員会

講演会等：（会場：国立新美術館　講堂）
●受賞者プレゼンテーション
・マンガ部門　「同人誌からの新しい世代」
日時：２月15日（金）16時～17時30分
出演：おざわゆき（新人賞『凍りの掌　シベリア抑留記』）、田中相（新人賞『千年万年りんごの子』）
モデレーター：中村公彦（コミティア実行委員会代表）
参加者数：94人

・エンターテインメント部門　「KURATASとは何か？」
日時：２月21日（木）14時～15時30分
出演：水道橋重工（優秀賞『水道橋重工「KURATAS」』）
モデレーター：久保田晃弘（エンターテインメント部門審査委員）
参加者数：93人

・アニメーション部門　「表現の手ざわり」
日時：２月21日（木）16時～17時30分
出演：和田淳（優秀賞『グレートラビット』）、Emma de SWAEF/Marc James ROELS（新人賞『Oh Willy...』）、水尻自子（アニメーション新人賞『布団』）
ゲスト：古川タク（アニメーション部門審査委員）
モデレーター：和田敏克（アニメーション部門審査委員）
参加者数：104人

●功労賞シンポジウム
・「日本電子音楽の誕生」
日時：２月22日（金）16時～17時
出演：佐藤茂（功労賞／音響技術者）
ゲスト：川崎弘二（「日本の電子音楽」編集者）
モデレーター：三輪眞弘（アート部門審査委員／作曲家／情報科学芸術大学院大学（IAMAS）教授）
参加者数：114人

・「少女漫画の立役者」
日時：２月22日（金）17時15分～18時15分
出演：小長井信昌（功労賞）
ゲスト：美内すずえ（マンガ家）
モデレーター：ヤマダトモコ（マンガ部門審査委員／マンガ研究者）
参加者数：138人

・「江並直美を語る」
日時：２月22日（金）18時30分～19時30分
出演：永原康史（グラフィックデザイナー、多摩美術大学情報デザイン学科教授）、松本弦人（デザイナー）、萩野正昭（株式会社VOYAGER代表取締役社長）
モデレーター：伊藤ガビン（エンターテインメント部門審査委員／編集者、クリエイティブディレクター）、中村勇吾（エンターテインメント部門審査委員／インターフェースデザイナー／tha ltd.）
参加者数：96人

関連事業：（会場：国立新美術館　企画展示室１E）
●ガイドツアー
日時：２月14日（木）11時～12時
　　　２月18日（月）11時～12時
参加者数：25人

●ワークショップ
・視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ
日時：２月15日（金）17時～19時
　　　２月16日（土）10時～12時、14時～16時
　　　２月17日（日）10時～12時
参加者数：42人

●受賞者プレゼンテーション
・アート部門
『欲望のコード』アーティスト・トーク
日時：２月22日（金）10時30分～11時30分
出演：三上晴子（アート部門優秀賞『欲望のコード』）
参加者数：26人

●デモンストレーション
・エンターテインメント部門優秀賞『勝手に入るゴミ箱』
日時：２月16日（土）、17日（日）、23日（土）　各日14時～17時

・エンターテインメント部門審査委員会推薦作品『ウダー』
日時：２月17日（日）、24日（日）　各日15時30分～15時45分、
　　　16時30分～16時45分、17時15分～17時30分
　　　２月23日（土）13時30分～13時45分、14時30分～14時45分、
　　　15時30分～15時45分

関連事業：（会場：国立新美術館　研修室）
●ワークショップ
・「ピクセル・アニメーションを作ろう」
日時：２月16日（土）14時～16時
講師：重田祐介（アート部門審査委員推薦作品『がそのもり』）
参加者数：11人

カタログ：『第16回文化庁メディア芸術祭受賞作品集』
　　　　　A５判、368ページ、図版カラー267点、5,000部

ポスター：B２判、1,750部
　　　　　B１判、510部、図版入り120部

チラシ：仕上りA４判、二つ折、40,000部

ガイド：A５判、32ページ、70,000部

関連記事：
YOMIURI ONLINE／平成24（2012）年12月13日掲載
朝日新聞／12月14日
読売新聞／12月14日
めざましテレビ／フジテレビ／平成25（2013）年２月15日
アトリエ・ノヴァ／J-WAVE／２月16日
ブレーン／２月号
美術手帖／２月号・３月号
Yahoo！ニュース／12月13日・１月29日・２月12日・13日掲載
他　多数

サテライト会場：
・東京ミッドタウン　ガレリア地下１階　アトリウム
会期：平成25（2013）年２月13日（水）～２月14日（木）
日数：２日
入場者数：1,760人（１日平均880人）
・インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター（東京ミッドタウン
　タワー５階　デザインハブ内）
会期：平成25（2013）年２月13日（水）、17日（日）、24日（日）
日数：３日
入場者数：641人（１日平均214人）
・シネマート六本木　１階エントランス　マンガライブラリー
会期：平成25（2013）年２月13日（水）～18日（月）
日数：11日
入場者数：1,503人（１日平均137人）
・シネマート六本木　３階　スクリーン４
会期：平成25（2013）年２月20日（水）～24日（日）
日数：11日
入場者数：2,947人（１日平均268人）
・スーパー・デラックス
日時：平成25（2013）年２月19日（火）18時～22時
入場者数：157人

※出品リスト：pp.114-115

カリフォルニア・デザイン　1930-1965　—モダン・リヴィングの起源—
Title: California Design, 1930-1965: “Living in a Modern Way”

3月20日　対談

会期：平成25（2013）年3月20日（水・祝）～6月3日（月）
日数：11日（全会期；67日）
会場：国立新美術館　企画展示室1E
入場者数：15,670人（1日平均1,425人）
入場：有料
主催：国立新美術館、ロサンゼルス・カウンティ美術館
協力：日本航空、日本貨物航空株式会社

講演会等：
●対談「なぜ今カリフォルニア・デザインなのか」
日時：3月20日（水・祝）13時～15時
講演：ボビー・タイガーマン（本展企画者、ロサンゼルス・カウンティ美術館装飾芸術・デザイン部門アシスタント・キュレーター）、岸和郎（建築家、京都大学大学院工学研究科建築学専攻教授）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：68人

●講演会「カリフォルニア・デザイン1930-1965」
日時：3月24日（日）14時～15時30分
講演：ウェンディ・カプラン（本展企画者、ロサンゼルス・カウンティ美術館装飾芸術・デザイン部門長、キュレーター）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：58人

カタログ：『カリフォルニア・デザイン　1930-1965　—モダン・リヴィングの起源—』、A4変型縦型、384ページ、図版カラー350点・白黒20点、6,000部

出品目録：A4判、経本折、日本語35,000部、英語3,000部

ポスター：B1判、1,100部
B3判、3,300部
B3変型（インターサイズ）、680部

先行チラシ：A4判、30,000部
チラシ：A4判、115,000部

関連記事：
日本経済新聞／平成25（2013）年3月16日
an・an／3月27日／山田貴美子
Hanako／3月28日

※本展の平成25年度開催記録及び出品リストは、『平成25年度　国立新美術館活動報告』に記載する。

3
美術団体等への展覧会会場提供
Provision of Exhibition Venues to Artist Associations

3 美術団体等への展覧会会場提供
Provision of Exhibition Venues to Artist Associations

全国的な活動を行っている美術団体等が実施する公募展等への展覧会会場の提供を行った。平成24年度は、第１会期から第25会期まで（平成24年４月３日～平成25年４月１日）、69団体に展覧会会場を提供した。全25会期の公募展等の入場者数は合計1,259,966人、平成24年４月１日から平成25年３月31日までの入場者数は合計1,263,164人であった。また、前年度の経験を踏まえ、施設・備品の管理運営の改善に取り組んだ。

The museum provides exhibition space to artist associations from around the country for public exhibitions and other events. In fiscal 2012, 69 such exhibition were held at NACT, attracting a total of 1,259,966 visitors from Session 1 to Session 25 (April 3, 2012 to April 1, 2013). 1,263,164 people visited between April 1, 2012 and March 31, 2013. Building on our experiences from the previous fiscal year, we worked to improve the management of the equipment and facilities provided.

平成24年度会場使用団体一覧

団体名：一般社団法人　創元会
展覧会名：第71回　創元展
会期／日数：４月４日（水）～４月16日（月）／12日
展示室：１A, 1B, 1C, 1D
入場者数：23,286人

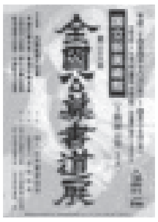
団体名：一般社団法人　示現会
展覧会名：65周年記念　示現会展
会期／日数：４月４日（水）～４月16日（月）／12日
展示室：２A, 2B, 2C, 2D
入場者数：23,105人

団体名：水彩連盟
展覧会名：第71回　水彩連盟展
会期／日数：４月４日（水）～４月16日（月）／12日
展示室：３A, 3B
入場者数：14,845人

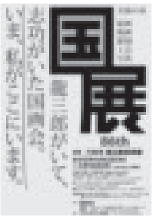
団体名：一般社団法人　光風会
展覧会名：第98回　光風会展
会期／日数：４月18日（水）～４月30日（月）／12日
展示室：１A, 1B, 1C, 1D
入場者数：23,968人

団体名：一般社団法人　春陽会
展覧会名：第89回　春陽展
会期／日数：４月18日（水）～４月30日（月）／12日
展示室：２A, 2B, 2C, 2D, 3B
入場者数：24,079人

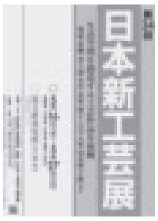
団体名：現代日本書家協会
展覧会名：第28回　全国公募書道展
会期／日数：４月18日（水）～４月30日（月）／12日
展示室：３A
入場者数：3,285人



団体名：国画会
展覧会名：第86回　国展
会期／日数：５月２日（水）～５月14日（月）／12日
展示室：１A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B,
野外展示場A, B, C, D
入場者数：80,284人

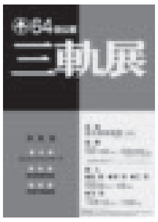


団体名：社団法人　日本新工芸家連盟
展覧会名：第34回　日本新工芸展
会期／日数：５月16日（水）～５月27日（日）／11日
展示室：３A, 3B
入場者数：6,426人



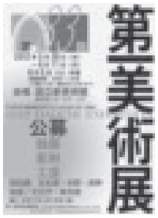
団体名：一般社団法人　太平洋美術会
展覧会名：第108回　太平洋展
会期／日数：５月16日（水）～５月28日（月）／12日
展示室：１A, 1B, 1C, 1D
入場者数：19,513人

団体名：三軌会
展覧会名：第64回　三軌展
会期／日数：５月16日（水）～５月28日（月）／12日
展示室：２A, 2B, 2C, 2D
入場者数：15,277人



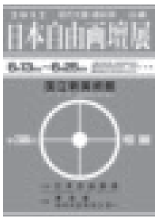
団体名：現代美術家協会
展覧会名：第68回　現展
会期／日数：５月30日（水）～６月11日（月）／12日
展示室：１A, １B, １C
入場者数：10,770人

団体名：第一美術協会
展覧会名：第83回　第一美術展
会期／日数：５月30日（水）～６月11日（月）／12日
展示室：１D, ２C, ２D
入場者数：20,585人



団体名：一般社団法人　日洋会
展覧会名：第26回　日洋展
会期／日数：５月30日（水）～６月11日（月）／12日
展示室：２A, ２B, ３A, ３B
入場者数：21,407人

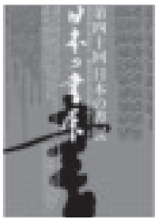
団体名：日本自由画壇
展覧会名：第38回　日本自由画壇展
会期／日数：６月13日（水）～６月25日（月）／12日
展示室：２A, ２B
入場者数：16,301人



団体名：一般社団法人　国際墨画会
展覧会名：第12回　国際公募国際墨画会展
会期／日数：６月13日（水）～６月25日（月）／12日
展示室：３A
入場者数：10,025人

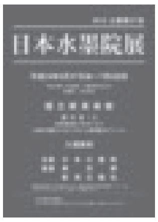
団体名：たぶろう美術協会
展覧会名：第47回　たぶろう展
会期／日数：６月13日（水）～６月25日（月）／12日
展示室：３B
入場者数：7,636人

団体名：公益財団法人　全国書美術振興会
展覧会名：第40回　「日本の書展」　東京展
会期／日数：６月14日（木）～６月24日（日）／10日
展示室：１A, １B, １C, １D
入場者数：9,731人

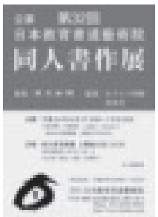


団体名：書象会
展覧会名：第51回　書象展
会期／日数：６月14日（木）～６月24日（日）／10日
展示室：２C, ２D
入場者数：10,279人

団体名：日本水墨院
展覧会名：公募第27回　日本水墨院展
会期／日数：６月27日（水）～７月８日（日）／11日
展示室：１B
入場者数：25,366人



団体名：日本教育書道藝術院
展覧会名：第32回　日本教育書道藝術院同人書作展
会期／日数：６月27日（水）～７月８日（日）／11日
展示室：２C, ２D
入場者数：8,814人

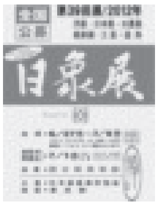


団体名：財団法人　陶芸文化振興財団
展覧会名：全国公募2012　陶芸財団展
会期／日数：６月27日（水）～７月８日（日）／11日
展示室：３B
入場者数：7,547人

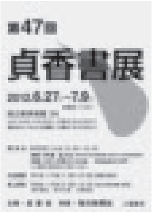
団体名：アート未来
展覧会名：2012・17th　国際公募　アート未来展
会期／日数：６月27日（水）～７月９日（月）／12日
展示室：１A, 野外展示場A
入場者数：10,107人

団体名：蒼騎会
展覧会名：第52回　蒼騎展
会期／日数：６月27日（水）～７月９日（月）／12日
展示室：１C, １D
入場者数：13,554人

団体名：日本表象美術協会
展覧会名：第39回　日象展
会期／日数：６月27日（水）～７月９日（月）／12日
展示室：２B
入場者数：6,626人



団体名：貞香会
展覧会名：第47回　貞香書展
会期／日数：６月27日(水)～７月９日(月)／12日
展示室：３A
入場者数：5,260人



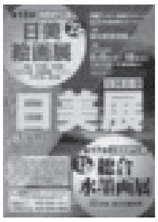
団体名：高校生国際美術展実行委員会
展覧会名：第13回　高校生国際美術展
会期／日数：６月28日(木)～７月８日(日)／10日
展示室：２A
入場者数：8,725人

団体名：財団法人　毎日書道会・毎日新聞社
展覧会名：第64回　毎日書道展
会期／日数：７月11日(水)～８月５日(日)／23日
展示室：１A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B
入場者数：44,484人

団体名：JIAS　日本国際美術家協会
展覧会名：第13回　日本・フランス現代美術世界展
会期／日数：８月８日(水)～８月19日(日)／11日
展示室：３A
入場者数：5,980人

団体名：全国水墨画協会
展覧会名：第19回　全国水墨画展
会期／日数：８月８日(水)～８月20日(月)／12日
展示室：３B
入場者数：4,542人

団体名：公益財団法人　国際文化カレッジ
展覧会名：日美展(第17回総合水墨画展・第13回日美絵画展)
会期／日数：８月９日(木)～８月18日(土)／９日
展示室：１A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D
入場者数：21,245人



団体名：読売書法会・読売新聞社
展覧会名：第29回　読売書法展　東京展
会期／日数：８月24日(金)～９月２日(日)／９日
展示室：１A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B
入場者数：25,124人

団体名：公益社団法人　二科会
展覧会名：第97回　二科展
会期／日数：９月５日(水)～９月17日(月)／12日
展示室：１A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B,
野外展示場A, B, C, D
入場者数：102,624人

団体名：新制作協会
展覧会名：第76回　新制作展
会期／日数：９月19日(水)～10月１日(月)／12日
展示室：１A, 1B, 2A, 2B, 3A, 3B, 野外展示場A, B
入場者数：42,311人

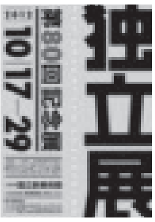
団体名：行動美術協会
展覧会名：第67回　行動展
会期／日数：９月19日(水)～10月１日(月)／12日
展示室：１C, 1D, 2C, 2D, 野外展示場C, D
入場者数：25,231人

団体名：自由美術協会
展覧会名：第76回　自由美術展
会期／日数：10月３日(水)～10月15日(月)／12日
展示室：１A, 1B, 2A, 2B, 野外展示場A, B
入場者数：15,068人

団体名：一陽会
展覧会名：第58回　一陽展
会期／日数：10月３日(水)～10月15日(月)／12日
展示室：１C, 1D, 2C, 2D, 野外展示場C, D
入場者数：19,276人

団体名：一期会
展覧会名：第47回　一期展
会期／日数：10月３日(水)～10月15日(月)／12日
展示室：３A, 3B
入場者数：11,817人

団体名：独立美術協会
展覧会名：第80回　独立展
会期／日数：10月17日(水)～10月29日(月)／12日
展示室：１A, 1B, 2A, 2B, 3A
入場者数：24,837人

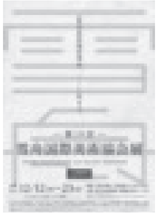


団体名：一般社団法人　二紀会
展覧会名：第66回　二紀展
会期／日数：10月17日（水）～10月29日（月）／12日
展示室：１C, 1 D, 2 C, 2 D, 3 B, 野外展示場C, D
入場者数：38,129人

団体名：公益社団法人　日展
展覧会名：第44回　日展
会期／日数：11月２日（金）～12月９日（日）／33日
展示室：１A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 2 E,
3 A, 3 B
入場者数：163,460人

団体名：瓦・造形会
展覧会名：第17回　瓦・造形展
会期／日数：11月15日（木）～11月26日（月）／11日
展示室：野外展示場A, B
入場者数：1,049人

団体名：雪舟国際美術協会
展覧会名：第19回　雪舟国際美術協会展
会期／日数：12月12日（水）～12月23日（日）／11日
展示室：１C, 1 D
入場者数：9,601人



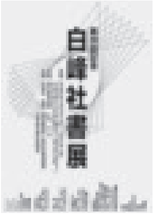
団体名：土日会
展覧会名：第37回　土日会展
会期／日数：12月12日（水）～12月24日（月）／12日
展示室：１A
入場者数：6,451人

団体名：シェル美術賞事務局・昭和シェル石油株式会社
展覧会名：シェル美術賞展2012
会期／日数：12月12日（水）～12月24日（月）／12日
展示室：１B
入場者数：6,021人

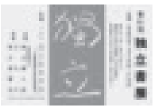
団体名：特定非営利活動法人　国際架橋書会
展覧会名：第25回記念　国際架橋書展
会期／日数：12月12日（水）～12月24日（月）／12日
展示室：２A
入場者数：9,794人

団体名：株式会社　全日本書芸文化院
展覧会名：第41回　全書芸展
会期／日数：12月12日（水）～12月24日（月）／12日
展示室：２B, 2 C, 2 D
入場者数：8,072人

団体名：白峰社
展覧会名：第30回　白峰社書展
会期／日数：12月12日（水）～12月24日（月）／12日
展示室：３A, 3 B
入場者数：4,529人



団体名：公益財団法人　独立書人団
展覧会名：第61回　独立書展
会期／日数：１月９日（水）～１月21日（月）／12日
展示室：１A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 3 A, 3 B
入場者数：20,051人

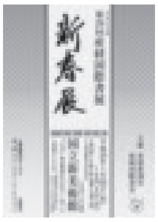


団体名：特定非営利活動法人　平泉会
展覧会名：第25回記念　平泉展　～楽しい手作り～
会期／日数：１月23日（水）～２月４日（月）／12日
展示室：１A
入場者数：10,445人

団体名：國際書画連盟
展覧会名：第35回　國際書画展
会期／日数：１月23日（水）～２月４日（月）／12日
展示室：１B, 1 C, 1 D
入場者数：5,882人

団体名：亜細亜太平洋水墨画会
展覧会名：アジア創造美術展
会期／日数：１月23日（水）～２月４日（月）／12日
展示室：２A
入場者数：3,075人

団体名：産経国際書会
展覧会名：第29回　産経国際書展（新春展）
会期／日数：１月23日（水）～２月４日（月）／12日
展示室：２B, 2 C, 2 D
入場者数：5,690人



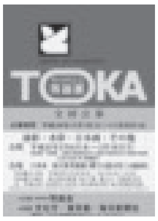
団体名：一般社団法人　Heart Art Communication
展覧会名：Heart Art in TOKYO 2013　第16回エイズチャリティー美術展
会期／日数：１月24日(木)～２月４日(月)／11日
展示室：３A, 3B
入場者数：2,195人

団体名：New Artist Unit
展覧会名：第11回　NAU21世紀美術連立展
会期／日数：２月６日(水)～２月18日(月)／12日
展示室：１A
入場者数：875人

団体名：新槐樹社
展覧会名：第57回　新槐樹社展
会期／日数：２月６日(水)～２月18日(月)／12日
展示室：１C, 1D
入場者数：8,084人

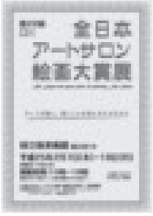
団体名：あきつ会
展覧会名：第38回　あきつ会書道展
会期／日数：２月６日(水)～２月18日(月)／12日
展示室：２A
入場者数：3,525人

団体名：美術団体　等迦会
展覧会名：第45回記念　等迦展
会期／日数：２月６日(水)～２月18日(月)／12日
展示室：３A
入場者数：4,439人



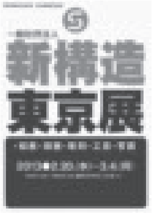
団体名：秋耕会
展覧会名：第37回　秋耕展
会期／日数：２月６日(水)～２月18日(月)／12日
展示室：３B
入場者数：7,503人

団体名：全日本アートサロン絵画大賞展実行委員会
展覧会名：第22回　全日本アートサロン絵画大賞展
会期／日数：２月７日(木)～２月18日(月)／11日
展示室：１B
入場者数：3,128人



団体名：日本書作院
展覧会名：第53回　日本書作院展
会期／日数：２月７日(木)～２月18日(月)／11日
展示室：２B, 2C, 2D
入場者数：16,526人

団体名：一般社団法人　新構造社
展覧会名：新構造　東京展
会期／日数：２月20日(水)～３月４日(月)／12日
展示室：３A
入場者数：6,407人

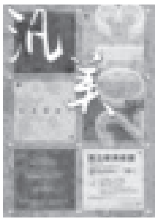


団体名：現日会
展覧会名：第53回　現日春季書展
会期／日数：２月20日(水)～３月４日(月)／12日
展示室：３B
入場者数：2,886人

団体名：東京五美術大学(多摩美術大学・女子美術大学・東京造形大学・日本大学芸術学部・武蔵野美術大学)
展覧会名：平成24年度第36回　東京五美術大学連合卒業・修了制作展
会期／日数：２月21日(木)～３月３日(日)／10日
展示室：１A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 野外展示場A, B, C
入場者数：65,490人

団体名：全国水墨画美術協会
展覧会名：第41回　全日本水墨画秀作展
会期／日数：３月６日(水)～３月17日(日)／11日
展示室：３A, 3B
入場者数：5,140人

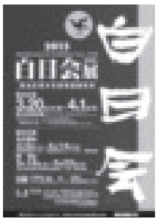
団体名：汎美術協会
展覧会名：2013　汎美展
会期／日数：３月６日(水)～３月18日(月)／12日
展示室：１A
入場者数：6,652人



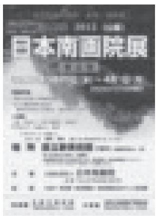
団体名：公益社団法人　創玄書道会
展覧会名：第49回　創玄展
会期／日数：３月７日(木)～３月17日(日)／10日
展示室：１B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D
入場者数：14,239人

団体名：日本美術会
展覧会名：第66回　日本アンデパンダン展
会期／日数：３月20日(水)～４月１日(月)／12日
(うち24年度；３月20日(水)～３月31日(日)／11日)
展示室：１A, 1B, 1C, 1D
入場者数：21,034人(全会期；21,848人)

団体名：白日会
展覧会名：第89回　白日会展
会期／日数：３月20日(水)～４月１日(月)／12日
(うち24年度；３月20日(水)～３月31日(日)／11日)
展示室：２A, 2B, 2C, 2D
入場者数：17,243人(全会期；18,360人)



団体名：公益社団法人　日本南画院
展覧会名：公募第53回　日本南画院展
会期／日数：３月20日(水)～４月１日(月)／12日
(うち24年度；３月20日(水)～３月31日(日)／11日)
展示室：３A, 3B
入場者数：10,033人(全会期；11,080人)



入場者数合計　1,259,966人

公募展開催に関わる取り組み

●平成24年度展示室等使用団体実績
使用団体：69団体

●平成26年度展示室等使用団体の決定
決定時期：６月
決定団体：69団体

●平成27年度展示室等使用団体の使用申請受付
受付期間：２月１日（金）～２月28日（木）

●平成27年度野外展示場使用団体の募集
募集期間：２月１日（金）～２月28日（木）

●使用団体等への支援
ホームページに、開催中の公募団体等の展覧会のポスター画像を掲載し、使用団体等の展覧会広報の支援を行った。
「国立新美術館ニュース」に使用団体等からの寄稿を掲載し、団体の活動を紹介した。

●展覧会観覧者への情報提供
公募展開催案内チラシを作成・配布するとともに、ホームページに公募展情報を掲載した。
公募展開催案内vol.25～vol.29（年５回発行）、Ａ４判（297×210mm）、全35,000部

●企画展との相互割引の導入
自主企画展及び共催展において、開催中の公募展の観覧券持参者に対する割引観覧を行った。また、開催中の自主企画展及び共催展の観覧券持参者に対し、公募展の割引又は無料観覧の協力を依頼し、相互割引の充実に努めるとともに、館内での周知を行った。

教育普及事業に対する公募団体等との連携

●展覧会名：第86回国展
タイトル：「第６回国展トークイン―作家の目　作者の心―」
主催：国画会、国立新美術館
日時：５月５日（土・祝）
会場：国立新美術館　第86回国展会場
参加者数：309人

●展覧会名：第44回日展
主催：公益社団法人日展、国立新美術館
・講演会
開催日：11月３日（土・祝）、11月４日（日）、11月10日（土）、11月17日（土）、11月23日（金・祝）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：733人（全５回）
・映像による作品解説
開催日：11月３日（土・祝）、11月４日（日）、11月10日（土）、11月17日（土）、11月23日（金・祝）、11月24日（土）、12月１日（土）、12月２日（日）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：1,601人（全10回）
・親子鑑賞教室
開催日：11月11日（日）、11月18日（日）、11月25日（日）
会場：国立新美術館　講堂、研修室
参加者数：115組302人（全６回）
・らくらく鑑賞会
開催日：11月５日（月）、11月16日（金）、11月19日（月）、11月26日（月）、12月３日（月）
会場：国立新美術館　第44回日展会場、研修室
参加者数：54人（全５回）
・シンポジウム「日展の今日から明日へ」
開催日：11月12日（月）［日展の日］
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：300人

５月５日　国展

11月18日　日展

4

教育普及
Education and Public Programs

4-1　講演会等
Lectures, etc.

4-2　ワークショップ
Workshops

4-3　インターンシップ、ボランティア
Internships and Volunteering

4-4　その他の教育普及事業
Other Education and Public Programs

来館者の鑑賞の充実とサポートを目的に、展覧会に合わせて講演会やアーティスト・トークなどを開催したほか、無料の鑑賞ガイドブックを作成、配布した。また、美術に触れ、親しむ機会を広く提供するために、子どもから大人まで幅広い層を対象としたワークショップや講演会などのイベントを実施した。さらに、インターンや学生ボランティアの受け入れを継続的に行い、美術館活動への理解の促進や人材育成を図った。

To help people get the most out of their visit, we held lectures, artist talks, other events to coincide with our exhibitions, and distributed a series of free guidebooks. We also organized events such as workshops and lectures to encourage appreciation of art among the wider public, including a number of education program for children and adults. We continued to accept interns and student volunteers as part of our efforts to increase the understanding of the NACT's activities and develop human resources.

4-1 講演会等 Lectures, etc.

国立新美術館による企画 展覧会関連

「セザンヌ―パリとプロヴァンス」
●記念講演会「人間セザンヌ」
日時：平成24（2012）年４月１日（日）14時〜15時30分
講演：フィリップ・セザンヌ（ポール・セザンヌ協会名誉会長、ポール・セザンヌ曾孫）
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：257人

●解説会
日時：４月14日（土）14時〜14時45分
解説：工藤弘二（学芸課アソシエイト・フェロー）
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：203人

●記念講演会「セザンヌは山をどこから描くか」
日時：４月21日（土）14時〜15時30分
講演：山口晃（画家）
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：249人

●解説会
日時：５月13日（日）14時〜14時45分
解説：工藤弘二（学芸課アソシエイト・フェロー）
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：251人

●シンポジウム「『セザンヌ―パリとプロヴァンス』展から見る今日のセザンヌ」
主催：国立新美術館、日本経済新聞社
後援：日仏美術学会、美学会、美術史学会
日時：５月26日（土）13時〜17時
・基調講演「セザンヌ研究の現在―研究史から見る今日のセザンヌ像」
永井隆則（京都工芸繊維大学准教授）
・パネリスト発表「南北の往復から見るセザンヌ―展覧会史における『セザンヌ―パリとプロヴァンス』展の意義」
工藤弘二（学芸課アソシエイト・フェロー）
・パネリスト発表「セザンヌのパリ―マネとの関係を中心に」
三浦篤（東京大学教授）
・パネリスト発表「セザンヌのプロヴァンス―セザンヌと古典主義」
新畑泰秀（石橋財団ブリヂストン美術館学芸課長）
・全体討議
司会：永井隆則
パネリスト：三浦篤、新畑泰秀、工藤弘二
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：188人

５月26日 シンポジウム

「大エルミタージュ美術館展　世紀の顔・西欧絵画の400年」
●記念講演会「エルミタージュ美術館　21世紀の百科事典」
日時：４月25日（水）14時～15時30分
講演：ミハイル・ピオトロフスキー（エルミタージュ美術館館長）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：143人

●上映会「エルミタージュ幻想」
日時：５月６日（日）14時～15時45分
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：250人

●講演会「北国の美の宮殿：エルミタージュ美術館の名画を見る」
日時：５月12日（土）14時～15時30分
講演：千足伸行（本展監修・成城大学名誉教授）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：205人

●解説会
日時：６月１日（金）18時～18時45分
講演：本橋弥生（学芸課主任研究員）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：111人

●シンポジウム「現代ロシアとエルミタージュ美術館」
日時：６月３日（日）14時～16時
パネリスト：沼野充義（東京大学教授、ロシア・東欧文学者）、鴻野わか菜（千葉大学准教授、ロシア文学者）
モデレーター：青木保（館長）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：166人
※「カフェアオキ」（第３回）共同企画として開催。

●講演会「エルミタージュ　女帝の時代」
日時：６月９日（土）14時～15時30分
講演：中野京子（ドイツ文学者、早稲田大学講師）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：250人

●上映会「チェブラーシカ」
日時：６月10日（日）14時～15時30分
上映会前ミニトーク：沼野充義（東京大学教授、ロシア・東欧文学者）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：250人

「具体」―ニッポンの前衛　18年の軌跡
●シンポジウム「『具体』再評価の過去と現在」
日時：７月14日（土）13時～17時
出演者：河﨑晃一（インディペンデント・キュレイター）、ミン・ティアンポ（カールトン大学准教授、グッゲンハイム美術館「具体」展共同キュレイター）、マテイヤス・フィッサー（ゼロ・ファンデーション設立ディレクター）、萬木康博（美術評論家）、平井章一（学芸課主任研究員）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：105人

●座談会「“３M”から見た『具体』」
日時：８月４日（土）14時～15時30分
出演者：前川強、松谷武判、向井修二（いずれも元「具体」会員）、平井章一（学芸課主任研究員）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：182人

「与えられた形象―辰野登恵子／柴田敏雄」
●アーティスト・トーク「マイ・フェイヴァリッツ」辰野登恵子×柴田敏雄
日時：９月15日（土）14時～15時30分
出演者：辰野登恵子、柴田敏雄（出品作家）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：134人

「リヒテンシュタイン　華麗なる侯爵家の秘宝」
●講演会「リヒテンシュタイン侯爵家コレクションの歴史と特性」
日時：10月４日（木）14時～15時30分
講演：ヨハン・クレフトナー（本展総合監修者、リヒテンシュタイン侯爵家コレクション・ディレクター）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：235人

●講演会「バロック美術の殿堂　リヒテンシュタイン宮殿の名画を旅する」
日時：10月13日（土）14時～15時30分
講演：千足伸行（本展日本側監修者、成城大学名誉教授）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：262人

「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」
●アーティスト・トーク
日時：平成25（2013）年１月24日（木）14時～15時30分
講演：ダレン・アーモンド（出品作家）
会場：国立新美術館　研修室A, B
参加者数：45人

●アーティスト・トーク
日時：１月25日（金）17時30分～19時
講演：ヂョン・ヨンドゥ（出品作家）
会場：国立新美術館　研修室A, B
参加者数：23人

●アーティスト・トーク
日時：１月27日（日）13時30分～15時
講演：ナリニ・マラニ（出品作家）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：30人

●アーティスト・トーク
日時：１月27日（日）15時30分～17時
対談：東亭順（出品作家）×宮島綾子（学芸課主任研究員）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：48人

●アーティスト・トーク
日時：２月16日（土）14時～15時30分
講演：國安孝昌（出品作家）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：70人

●アーティスト・トーク
日時：３月２日（土）14時～15時30分
講演：中澤英明（出品作家）
会場：国立新美術館　研修室A，B
参加者数：50人

●アーティスト・トーク
日時：３月９日（土）14時～15時30分
対談：利部志穂（出品作家）、南雄介（学芸課長）
会場：国立新美術館　研修室A, B
参加者数：26人

「カリフォルニア・デザイン　1930-1965　―モダン・リヴィングの起源―」
●対談「なぜ今カリフォルニア・デザインなのか」
日時：３月20日（水・祝）13時～15時
講演：ボビー・タイガーマン（本展企画者、ロサンゼルス・カウンティ美術館装飾芸術・デザイン部門アシスタント・キュレーター）、岸和郎（建築家、京都大学教授）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：68人

●講演会「カリフォルニア・デザイン　1930-1965」
日時：３月24日（日）14時～15時30分
講演：ウェンディ・カプラン（本展企画者、ロサンゼルス・カウンティ美術館装飾芸術・デザイン部門長、キュレーター）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：58人

３月24日　講演会

国立新美術館による企画　その他

「カフェアオキ」
●第１回「美術の楽しみ方―もうひとつの見方―」
日時：平成24（2012）年４月15日（日）15時～16時
出演者：福岡伸一（青山学院大学教授・生物学者）、青木保（館長）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：87人

●第２回「フランスを楽しむ―パリとプロヴァンス―」
日時：５月19日（土）15時～16時
出演者：坪井善明（早稲田大学教授）、ドラ・トーザン（国際ジャーナリスト）、青木保（館長）
会場：国立新美術館　研修室A, B
参加者数：90人

●第３回「現代ロシアとエルミタージュ美術館」
日時：６月３日（日）14時～16時
出演者：沼野充義（東京大学教授、ロシア･東欧文学者）、鴻野わか菜（千葉大学准教授、ロシア文学者）、青木保（館長）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：166人
※「大エルミタージュ美術館展」シンポジウム共同企画として開催

●第４回「美術と映画」
日時：７月15日（日）15時～16時
出演者：渡辺祥子（映画評論家）、青木保（館長）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：72人

●第５回「美術と妖怪」
日時：８月５日（日）15時～16時
出演者：小松和彦（国際日本文化研究センター所長）、安村敏信（板橋区立美術館長）、青木保（館長）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：81人

●第６回「もっと美術を楽しもう」
日時：９月９日（日）15時～16時
出演者：稲庭彩和子（東京都美術館アート・コミュニケーション担当係長）、奥村高明（聖徳大学教授）、青木保（館長）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：60人

●第７回「美術館の楽しみ方」
日時：11月７日（水）15時～16時
出演者：山田五郎（編集者・評論家）、青木保（館長）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：201人

11月７日　カフェアオキ

●第８回「美術館がない都市なんて！」
日時：12月23日（日・祝）15時～16時
出演者：陣内秀信（法政大学教授）、深井晃子（京都服飾文化研究財団理事）、青木保（館長）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：56人

●第９回「充実するアジアの美術館へ行こう」
日時：平成25（2013）年３月１日（金）16時～17時30分
出演者：後小路雅弘（九州大学大学院教授）、片岡真実（森美術館チーフ・キュレーター）、青木保（館長）
会場：国立新美術館　講堂
参加者数：45人

共催企画等

●展覧会名：第86回国展
タイトル：「第６回国展トークイン―作家の目　作者の心―」
主催：国画会、国立新美術館
日時：平成24（2012）５月５日（土・祝）
会場：国立新美術館　第86回国展会場
参加者数：309人

●ICAF（インター・カレッジ・アニメーション・フェスティバル）2012
日時：９月27日（木）～30日（日）
会場：国立新美術館　講堂、研修室A, B
主催：インター・カレッジ・アニメーション・フェスティバル実行委員会
共催：日本アニメーション協会（JAA）　日本アニメーション学会（JSAS）
特別協力：国立新美術館、京都国際マンガミュージアム、金沢市、金沢21世紀美術館、学校法人北海道安達学園
協賛：オートデスク株式会社、株式会社ディストーム、株式会社Too、株式会社ナナオ、株式会社ボーンデジタル、株式会社ロボット
協力：PISAF（プチョン国際学生アニメーション・フェスティバル）組織委員会、SupinfoCom Group - SupinfCom Valenciennes、SupinfCom Arles、DSK SupinfCom Pune、オフィスH
参加校：アート・アニメーションのちいさな学校、阿佐ヶ谷美術専門学校、大垣女子短期大学、大阪芸術大学、大阪成蹊大学、金沢学院大学、金沢美術工芸大学、京都精華大学、神戸芸術工科大学、札幌市立大学、札幌マンガ・アニメ学院、創形美術学校、玉川大学、東海大学、東京デザイナー学院、東北芸術工科大学、トライデントコンピュータ専門学校、長岡造形大学、名古屋学芸大学、日本大学、北海道教育大学
参加者数：808人

●TOKYO ANIMA！2012 秋
日時：10月７日（日）、８日（月・祝）
会場：国立新美術館　講堂、研修室A, B
主催：TOKYO ANIMA！実行委員会、国立新美術館
出品作家：TOCHKA、坂井治、pecoraped、姫田真武、川口恵里、三角芳子、北上伸江、大西景太、岩崎宏俊、大橋史×羽深由理×石田多朗×ONIPARI、池亜佐美、そんよんそん、大川原亮、水尻自子、藤田純平、鈴木隼吾、加藤隆、岡本将徳、クリハラタカシ、ししやまざき、中田彩郁・サキタニユウキ、山田遼志、銀木沙織、キムハケン、平林勇、水江未来、ひらのりょう、土屋萌児、和田淳、近藤聡乃
参加者数：1,301人

TOKYO ANIMA! 2012 秋　ウェブサイト

●展覧会名：第44回日展
主催：公益社団法人日展、国立新美術館
・講演会
　開催日：11月３日（土・祝）、11月４日（日）、11月10日（土）、11月17日（土）、
　　　　　11月23日（金・祝）
　会場：国立新美術館　講堂
　参加者数：733人（全５回）
・映像による作品解説
　開催日：11月３日（土・祝）、11月４日（日）、11月10日（土）、11月17日（土）、
　　　　　11月23日（金・祝）、11月24日（土）、12月１日（土）、12月２日（日）
　会場：国立新美術館　講堂
　参加者数：1,601人（全10回）
・親子鑑賞教室
　開催日：11月11日（日）、11月18日（日）、11月25日（日）
　会場：国立新美術館　講堂、研修室
　参加者数：115組302人（全６回）
・らくらく鑑賞会
　開催日：11月５日（月）、11月16日（金）、11月19日（月）、11月26日（月）、
　　　　　12月３日（月）
　会場：国立新美術館　第44回日展会場、研修室
　参加者数：54人（全５回）
・シンポジウム「日展の今日から明日へ」
　開催日：11月12日（月）［日展の日］
　会場：国立新美術館　講堂
　参加者数：300人

●TOKYO ANIMA！2013 春
主催：TOKYO ANIMA！実行委員会、国立新美術館
日時：平成25（2013）年３月23日（土）
会場：国立新美術館　講堂、研修室A, B
出品作家：若井麻奈美、水江未来、キムハケン、和田淳、池亜佐美、
　　　　　ししやまざき、姫田真武、大西景太、クリハラタカシ、鎌
　　　　　谷聡次郎、ぬQ、Omodaka×ひらのりょう、最後の手段、
　　　　　久野遥子
参加者数：686人

4-2　ワークショップ　Workshops

●アーティスト・ワークショップ「息をとめて　そっとさわって　銀箔から学ぶ日本の画材」
日時：平成24(2012)年５月27日(日)13時〜16時30分
講師：神戸智行(日本画家)
会場：国立新美術館　別館３階多目的ルーム他
対象：一般(小学校高学年以上)
参加者数：21人

●アーティスト・ワークショップ「からだと空間をめぐる実験〜美術館の空間をからだで感じてみよう！〜」
日時：７月29日(日)13時〜16時30分
講師：岩渕貞太(ダンサー、振付家)
会場：国立新美術館　1, 2, ３階ロビー、講堂
対象：一般(小学校３年生以上)
参加者数：17人

●「与えられた形象─辰野登恵子／柴田敏雄」
アーティスト・ワークショップ「“表現”としての写真─柴田敏雄による２回の講評会─」
日時：８月25日(土)、９月８日(土)14時〜16時30分
講師：柴田敏雄(出品作家)
会場：国立新美術館　研修室他
対象：高校生以上、写真に本格的に取り組んでいる人
参加者数：17人

●アーティスト・ワークショップ「はじめてのアート─新聞紙をさわって、きいて、かんじてみよう─」
日時：11月３日(土・祝)、11月４日(日)14時〜16時
※２日とも同じ内容を実施。
講師：福井江太郎(日本画家)
会場：国立新美術館　別館３階多目的ルーム
対象：未就学児(３〜６歳)親子
参加者数：11組25人(11月３日)
12組27人(11月４日)

●「アーティスト・ファイル2013─現代の作家たち」
アーティスト・ワークショップ「高校生が写し出す、とむらいの時」
日時：平成25(2013)年２月24日(日)13時〜17時30分
講師：志賀理江子(出品作家)
会場：国立新美術館　別館３階多目的ルーム他
対象：高校生
参加者数：５人

●「アーティスト・ファイル2013─現代の作家たち」、六本木アートナイト2013関連プログラム
アーティスト・ワークショップ「木々に灯す、小さな巣をつくろう〜アートナイトでインスタレーションに挑戦」
日時：３月23日(土)13時〜16時30分
講師：國安孝昌(出品作家)
会場：国立新美術館　別館３階多目的ルーム
対象：一般(高校生以上)
参加者数：19人

５月27日

７月24日

11月３日

4-3　インターンシップ、ボランティア

Internships and Volunteering

●インターン

　美術館事業に関心のある若手研究者や大学院生に実践的な研究や活動の場を提供し、人材育成を図るためのインターンシップを引き続き行った。平成24年度は展覧会事業、教育普及事業の２部門で７人を受け入れた。

小山祐美子／小田藍生／久保田有寿／佐藤弥生／矢作沙也佳／
立花由美子／樋口茉呂奈

●サポート・スタッフ

　美術館の活動に関心を持つ学生にボランティアによる活動支援を呼び掛け、実務体験の機会を提供するサポート・スタッフ制度を引き続き実施した。

平成24年度サポート・スタッフ　97人
青木美嶺／秋本真奈帆／新井音花／飯岡麻那実／石山大貴／
伊藤珠恵／今瀬裕可里／岩佐数音／上田佳余子／梅田志桜里／
遠藤由貴／遠藤良子／大谷茉莉花／尾澤理美／尾尻あやか／
梶美奈子／加藤紗織／川口真実／川辺和将／川島静華／川村晃子／
菅野友巳／菊池夏乃子／岸本真生子／櫛谷夏帆／熊野未有／
倉田麻貴／小泉なつみ／高野晋／小林大悟／今野真理子／齋藤有里／
齋藤陽帆／坂寄瑛子／佐久間達也／佐々木渓／佐竹渉／鮫島一美／
澤藤朝子／三瓶直恵／篠原華子／柴田愛／篠原優／秦裕華／
杉山憲介／杉山祥子／杉山和／鈴木貴大／須永詩織／清田真衣子／
関根詩織／高橋優子／高橋優実子／高橋友里恵／高橋りほ／
髙畑友梨子／竹内千里／竹村淳／竹本芽依／田中真唯／田中麻衣子／
田中礼／田中友梨／知久眞也／鄭卓／塚本麻知代／東郷恭之／
外山有茉／豊田美月／中村真衣子／中村奈菜美／中野涼／
西川可奈子／西川真理子／西田淑恵／早川佳織／林由宇子／林玲／
原口寛子／稗田有紗／比嘉知世／ビューラーイネス／福島美香／
藤野千尋／町田裕香／松永つぐみ／松本怜音／水谷真隆／
米良真理子／室谷奈菜／矢野佑輔／山本敦己／山中真梨／
山本登喜子／李雨婷／若杉友美／渡邉真理

4-4　その他の教育普及事業

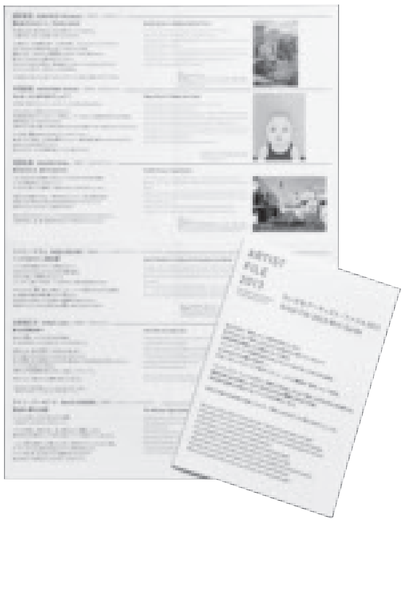
Other Education and Public Programs

●アートのとびらvol.7

　作品鑑賞の充実を図るため、「『具体』―ニッポンの前衛　18年の軌跡」に合わせて、中学生以上を対象とした鑑賞ガイドブック『アートのとびらvol.7』を作成し、展覧会来場者に無料配布した。
平成24（2012）年７月３日発行、Ａ５判、16ページ、図版カラー７点、20,000部
編集：学芸課教育普及室
執筆：木内祐子、井上絵美子
デザイン：原野賢太郎、露木卓也

●ちいさなアーティスト・ファイル2013

　作品鑑賞の充実とサポートを目的に、「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」の開催に合わせて中学生以上を対象とした鑑賞用ツールを作成し、展覧会来場者に無料配布した。
平成25（2013）年１月23日発行、Ａ５判、四つ折、図版カラー８点、27,000部
編集：学芸課教育普及室
執筆：井上絵美子、木内祐子、立花由美子（平成24年度教育普及室インターン）、樋口茉呂奈（平成24年度教育普及室インターン）
デザイン：亀井伸二（W.O.DESIGN）



●「カリフォルニア・デザイン」展鑑賞ガイド『ハロー！！カリフォルニア・デザイン』

「カリフォルニア・デザイン　1930-1965　―モダン・リヴィングの起源―」に合わせて、中学生以上を対象とした鑑賞ガイドブックを作成し、展覧会来場者に無料配布した。
平成25（2013）年３月20日発行、Ａ５変型、20ページ、表紙４種、
図版カラー24点、18,000部（第１版）、10,000部（第２版）
編集：学芸課教育普及室
執筆：吉澤菜摘、井上絵美子、木内祐子
デザイン：髙谷廉（AD＆D）

●夏休みたんけんツアー
「夏休みこどもたんけんツアー2012～新美術館のひみつをさがそう！～」
小学校３～６年生の児童を対象に、美術館のバックヤードを紹介するツアーを実施した。
日時：８月24日（金）10時30分～12時、14時30分～16時
対象：小学校３年生～６年生
参加者数：18人（全２回）

●鑑賞ガイダンス
学生、生徒、児童を対象に、作品鑑賞前に展覧会のレクチャーを行った。
参加者数：４団体126人

●施設ガイダンス
学生、生徒、児童を対象に、国立新美術館の建築や施設などを紹介する施設ガイダンスを行った。
参加者数：２団体84人

●美術館を活用した鑑賞教育のための指導者研修
全国小中学校等の教員と美術館の学芸員等を対象に、美術館を活用した鑑賞教育の充実と、学校と美術館の連携を図ることを目的とした指導者研修を行った。
主催：独立行政法人国立美術館
日時：７月30日（月）、７月31日（火）
会場：国立西洋美術館（30日）、東京国立近代美術館（31日）
参加者数：100人

●平成24年度独立行政法人国立美術館キュレーター研修
受入：１人（11月27日（火）～12月７日（金））

●SFTギャラリーへの企画協力

より多くの人がアートやデザインに触れる機会を設けるとともに、アーティストやデザイナーを支援し、発表の場を提供することを目的に、館内地下１階にあるSFTギャラリーへの展示企画協力を行った。

●職業体験生徒受入
地域の学校からの職業体験生徒受入の依頼について、体験プログラムを実施し協力を行った。
日時：９月20日（木）、９月21日（金）
受入：港区立六本木中学校生徒３名

5
情報資料収集・提供
Collection and Provision of the Library and Information Services

5-1　美術関連資料の収集と公開
Collection and Provision of the Library and Materials

5-2　JACプロジェクト
JAC Project

5-3　展覧会情報の収集と提供
Collection and Provision of the Information Services

5 情報資料収集・提供

Collection and Provision of the Library and Information Services

美術に関する資料については、日本の美術展カタログの網羅的収集や、近現代美術・デザイン・建築・写真・メディアアートに関する図書・逐次刊行物の収集に努めた。特に公募展等シリーズ展のカタログ、逐次刊行物の欠号の補充を積極的に行い、後者については各号データ登録を進めた。美術展カタログの収集にあたっては、関係機関、全国の美術館・博物館、個人からの寄贈に多くを負った。これらの資料を本館３階のアートライブラリーと別館１階の特別資料閲覧コーナーで一般の利用に供した。

展覧会カタログの送付・交換について、平成24年度も引き続き積極的に実施した。当館で刊行した美術展カタログ等の印刷物を、国内約400箇所、国外約100箇所の美術館・博物館に、大学図書館等関連機関にカタログ交換のために送付した。

また、日本の美術展カタログを国外の日本美術研究機関４箇所に寄贈する事業である「JACプロジェクト」を実施し、引き続き欧米での日本に関する美術資料の活用促進に努めた。こうした活動に対し、寄贈先機関から国外での日本美術に関する展覧会カタログの寄贈を受けた。これらの資料は「JACⅡ」としてアートライブラリーにて閲覧に供している。

なお、平成24年度においては「アートライブラリー別館閲覧室」の開室（平成25年夏予定）に向けた準備作業を行った。

NACT continued to build up a wide-ranging and ongoing collection of Japanese art exhibition catalogs, as well as books and serial publications on modern and contemporary art, design, architecture, photography, and media art. Particular emphasis was placed on securing missing issues of series, including catalogs of public exhibitions. NACT benefited greatly from donations of exhibition catalogs from relevant institutions, including art museums throughout Japan and private individuals. These materials are available for reading in the Art Library and in the special reading corner on the first floor of the museum annex.

During fiscal 2012, NACT actively continued its catalog-exchange program. Exhibition catalogs and other printed materials produced by NACT were sent to some 400 recipients in Japan and about 100 overseas, including art museums as well institutions such as university libraries.

NACT also continued its efforts to encourage the use of Japan-related art materials. Under the JAC (Japan Art Catalog) Project we donated Japanese art exhibition catalogs to four overseas institutions involved in research on Japanese art. In return, NACT received copies of the catalogs for Japanese art exhibitions held overseas. These materials are available for reading in the Art Library as part of JAC II.

Preparations began during 2012 for an “Art Library Annex” in the museum annex, scheduled to open in 2013 Summer.

5-1　美術関連資料の収集と公開　Collection and Provision of the Library Materials

美術関連資料の収集

●収集方針

日本で開催された展覧会のカタログの網羅的、遡及的収集を目指す。また、図書については都内の他の国立美術館の蔵書と相互補完するように調整しながら収集し、特に国立新美術館がその紹介に力を入れている近現代美術、デザイン、建築、メディアアートに関するものを重点的に収集する。

●受贈

平成21（2009）年度に受贈した山岸信郎氏旧蔵資料の公開（平成25（2013）年４月予定）に向け、図書・展覧会カタログ・逐次刊行物の登録、各種エフェメラ（一過性資料）の整理を進めた。

●所蔵資料数

図書・カタログ登録冊数

		図書		カタログ		合計冊数	
和書	購入	12,816	(563)	1,834	(72)	14,650	(635)
	受贈	15,352	(1,059)	77,966	(3,787)	93,318	(4,846)
	小計	28,168	(1,622)	79,800	(3,859)	107,968	(5,481)
洋書	購入	4,952	(213)	2,928	(348)	7,880	(561)
	受贈	3,147	(171)	7,316	(800)	10,463	(971)
	小計	8,099	(384)	10,244	(1,148)	18,343	(1,532)
計		36,267	(2,006)	90,044	(5,007)	126,311	(7,013)

※（　）内は平成24年度増加冊数

逐次刊行物登録タイトル数

和雑誌	洋雑誌	年報・紀要類
1,702	248	871

美術関連資料の公開

1. アートライブラリー（3階）

●利用統計

	開室日数	入室者数	閉架書庫出納冊数	コピー枚数
平成24（2012）年4月	26	2,226	544	1,294
5月	27	3,165	746	1,717
6月	26	2,562	861	1,963
7月	26	2,200	704	1,843
8月	27	1,955	771	2,366
9月	26	1,824	570	1,782
10月	26	1,858	691	1,774
11月	26	1,939	500	1,459
12月	21	1,501	466	1,461
平成25（2013）年1月	20	971	472	1,015
2月	10	570	218	466
3月	20	1,146	371	1,355
合計	281	21,917	6,914	18,495

●利用時間
開室時間：11時～18時
休室日：毎週火曜日（祝日の場合は開室し、翌日休室）、年末年始
※平成25（2013）年2月13日（水）～3月4日（月）、3月27日（水）～29日（金）、4月1日（月）は、アートライブラリー別館閲覧室の開室（平成25年夏頃予定）に向けた特別整理期間として休室。

●アートライブラリー内所蔵資料紹介コーナー「話のたね」
・「東京駅丸の内駅舎と近代の洋風建築」平成24（2012）年3月28日（水）～6月25日（月）
・「カタログ・レゾネ」6月27日（水）～10月1日（月）
・「『修復』を考える」10月3日（火）～平成25（2013）年1月21日（月）
・「『アンビルト』―イメージの建築史」1月23日（水）～3月31日（日）
※上記以外に、自主企画展、共催展にあわせた展覧会関連資料の紹介を適時行った。

●資料展示
・「雑誌紹介『国際建築』」平成24（2012）年3月28日（水）～7月23日（月）
・「〔昭和戦前期の展覧会資料Ⅰ〕国際連盟脱退後の国際交流展」7月25日（水）～平成25（2013）年1月21日（月）
・「〔昭和戦前期の展覧会資料Ⅱ〕日本近代美術史の形成と展覧会」1月23日（水）～3月31日（日）

2. 特別資料閲覧コーナー（別館1階）

●利用統計
開室日数：62日
利用者数：28人

●特別資料閲覧の対象となっている資料
1969年以前に刊行された展覧会カタログ：3,844冊
貴重・脆弱な図書：946冊
美術・デザイン・建築以外の分野及び戦前期の図書：2,121冊
美術館・博物館・大学等の年報・紀要：871タイトル
美術館・博物館等のニュースレター：809タイトル
終刊した雑誌：661タイトル
マイクロ資料：図書78冊、雑誌16タイトル
ANZAÏフォトアーカイブの写真：3,217点

●利用時間
開室時間：毎週木、金曜日、13時～17時
（木、金曜日が祝日、振替休日にあたる場合及び年末年始は休室）
事前予約制
※アートライブラリー別館閲覧室の開室（平成25年夏頃予定）準備のため、平成25（2013）年1月～4月は特別資料閲覧を一時的に休止した。

3. 資料の貸し出し

貸出資料：ANZAÏフォトアーカイブ収蔵画像データ（2点）
利用者：ニューヨーク近代美術館
利用目的：「Tokyo 1955-1970：A New Avant-Garde」展（平成24（2012）年11月18日～平成25（2013）年2月25日）カタログ掲載

5-2 JACプロジェクト JAC Project

●送付先

フリーア美術館／アーサー・M.サックラー美術館図書室（スミソニアン研究所）
コロンビア大学　エイヴリー建築美術図書館
ライデン大学　東亜図書館
シドニー大学　フィッシャー図書館

●送付資料数：1,555冊

内訳（冊）

送付先	送付資料数
フリーア	397
コロンビア	70
ライデン	614
シドニー	474

●「JACⅡプロジェクト」による受入資料数： 4 冊

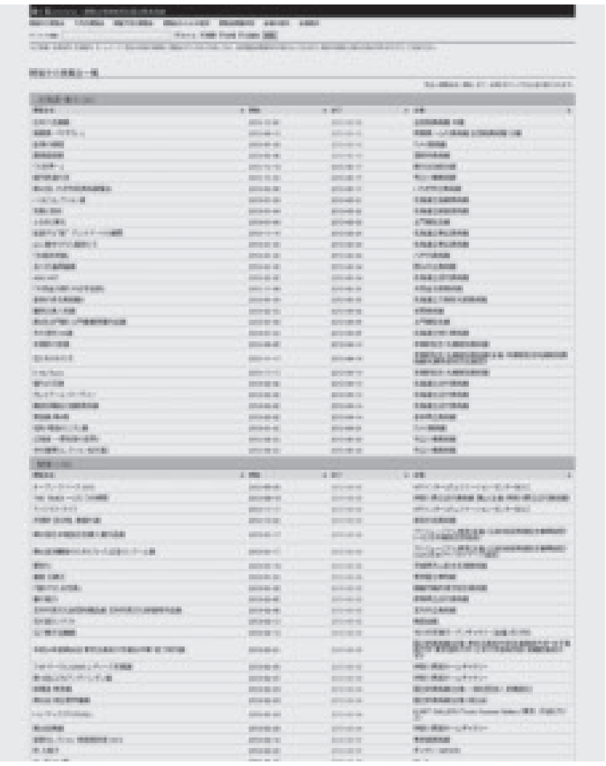
内訳（冊）

送付元	受入資料数
北米日本研究資料調整委員会（NCC）	0
フリーア	2
コロンビア	2
ライデン	0
シドニー	0

5-3 展覧会情報の収集と提供 Collection and Provision of the Information Services

アートコモンズ（展覧会情報収集・提供事業）

平成24年度において、3,873件の展覧会情報を1,170の美術館・美術団体・画廊の協力により収集した。１週あたり平均70～80件程度の展覧会情報を登録・公開した。また、展覧会情報と国立新美術館が所蔵する展覧会カタログをはじめとする美術図書資料を、横断的に検索するためのシステムの試行版の検討を行った。



展覧会チラシ、ポスターの収集と展覧会情報提供

全国の美術館や博物館、美術団体、画廊などから送付される広報物、展覧会チラシやポスターの一部を館内複数箇所で掲示・配布することにより、来館者への情報提供を図った。また、終了した展覧会についても当該年度分のチラシをアートライブラリーで来館者の求めに応じて閲覧に供した。

6
広報・出版
Publicity and Publications

6–1　印刷物
Publications

6–2　ホームページ、各種ウェブサービス
Website, SNS

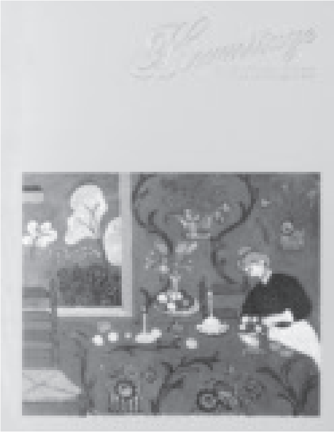
6–3　広報活動
Publicity Activities

6 広報・出版
Publicity and Publications

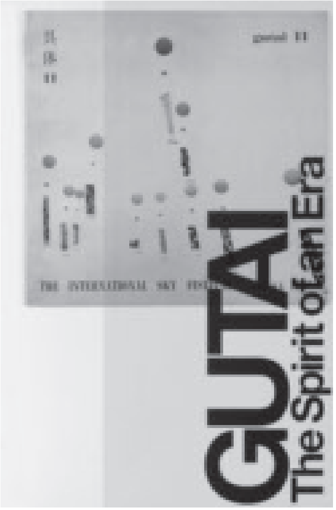
6-1 印刷物 Publications

カタログ Catalogue

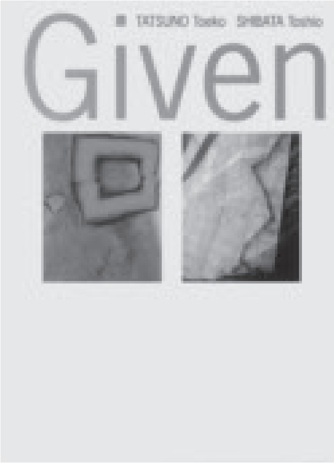
●「大エルミタージュ美術館　世紀の顔・西欧絵画の400年」展覧会カタログ
平成24(2012)年４月25日発行、Ａ４変型(305×241mm)、271ページ
図版カラー89点・白黒９点、45,000部
編集：国立新美術館、日本テレビ放送網、名古屋市美術館、京都市美術館
デザイン・制作：美術出版社デザインセンター
論文：イリーナ・アルテーミエワ、ナターリア・ジョーミナ、ナターリア・グリツェイ、エリザヴェータ・レンネ、千足伸行、本橋弥生
作品解説：イリーナ・アルテーミエワ、アレクサンドル・バービン、ナターリア・バービナ、タチヤーナ・ブシミナ、マリア・ガルロワ、ナターリア・グリツェイ、エカテリーナ・デリャービナ、アリベルト・コステーヴィッチ、タチヤーナ・クストーディエワ、エリザヴェータ・レンネ、イリーナ・ソコローワ、セルゲイ・ストロガノフ
章解説及び作家解説：阿部真弓、深谷克典、森川もなみ、後藤結美子、安河内宏法、原沢暁子
年表：錦澤元子
翻訳：デイヴィッド・ヒックス(露文英訳)、スタンリー・Ｎ・アンダーソン(和文英訳、主催者ごあいさつ、章解説)、瀧井直子(英文和訳、論文)、松下ゆう子、千速敏雄、出羽尚、鈴木功(英文和訳、作品解説)
校正：岩田高明
発行：日本テレビ放送網



●「『具体』―ニッポンの前衛　18年の軌跡」展覧会カタログ
平成24(2012)年７月３日発行、Ａ４変型(295×195mm)、303ページ
図版カラー187点・白黒78点、4,000部(初版)、1,249部(第２版)
編集：国立新美術館、平井章一、山田由佳子、米田尚輝
編集協力：コギト
編集補助：小山祐美子、矢作沙也佳、野田吉郎、尾形万里子、長友瑞絵
執筆：平井章一、山田由佳子、米田尚輝
翻訳：クリストファー・スティヴンズ
デザイン：森大志郎、川村格夫、原田光丞、杉山さゆり
印刷：美術出版社
発行：国立新美術館



●「与えられた形象―辰野登恵子／柴田敏雄」展覧会カタログ
平成24(2012)年８月８日発行、Ｂ４変型(371×268mm)、287ページ
図版カラー214点・白黒128点、4,000部
編集：国立新美術館、南雄介、宮島綾子、鈴木伸子、瀧上華
編集協力：インターパブリカ、三上豊
編集補助：久保田有寿、佐藤弥生、矢作沙也佳
執筆：南雄介、宮島綾子
翻訳：太田聡、シェリル・シルバーマン、クリストファー・スティヴンズ、ウォルター・ハミルトン
デザイン：大石一義
印刷：能登印刷株式会社
発行：国立新美術館

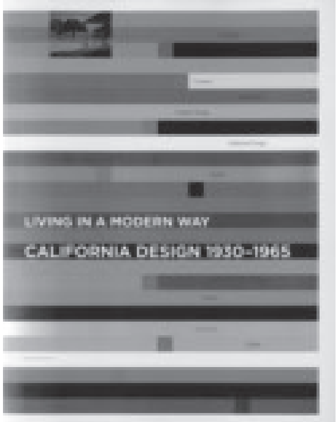


●「リヒテンシュタイン　華麗なる侯爵家の秘宝」展覧会カタログ
平成24（2012）年10月３日発行、Ａ４変型（290×226mm）、229ページ
図版カラー200点・白黒50点、13,000部（初版）、10,000部（第２版）
編集：国立新美術館、東映事業推進部、朝日新聞社企画事業本部文化事業部
編集協力：岩田高明、久保田有寿、佐藤弥生
執筆：ヨハン・クレフトナー、アレクサンドラ・ハンツル、アルトゥル・シュテークマン、ブリギッテ・ラクナー、ミヒャエル・シュヴェラー、千足伸行、森洋子、宮島綾子
翻訳：奥野克仁、河合哲夫、長屋光枝、松井隆夫、松下ゆう子
翻訳協力：小川紀久子
デザイン：梯耕治
制作：印象社
印刷：大日本印刷
発行：朝日新聞社、東映

●カタログ：「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」展覧会カタログ
本カタログは８冊の作家ファイルとイントロダクション、記録集（別売）によって構成されている。
「イントロダクション」
「ファイル033　ダレン・アーモンド」
「ファイル034　東亭順」
「ファイル035　ヂョン・ヨンドゥ」
「ファイル036　利部志穂」
「ファイル037　國安孝昌」
「ファイル038　ナリニ・マラニ」
「ファイル039　中澤英明」
「ファイル040　志賀理江子」
平成25（2013）年１月23日発行、Ａ４変型（280×210mm）、箱付き（295×218×40mm）、作家ファイル各44ページ、イントロダクション４ページ（計356ページ）
図版カラー197点・白黒55点、4,000部
編集：国立新美術館　福永治、西野華子、阿部真弓、岩﨑美千子
執筆：福永治、南雄介、長屋光枝、西野華子、宮島綾子、本橋弥生
翻訳：スタンリー・N.アンダソン、ウォルター・ハミルトン、太田聡、クリストファー・スティヴンズ
デザイン：亀井伸二（W.O.DESIGN）
発行：国立新美術館

●「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」記録集
「展覧会ドキュメント」
平成25（2013）年３月４日発行、Ａ４変型（280×210mm）、44ページ
図版カラー25点・白黒17点、1,500部
編集：国立新美術館　福永治、西野華子、阿部真弓、岩﨑美千子
写真：安齊重男、上野則宏
デザイン：亀井伸二（W.O.DESIGN）
発行：国立新美術館

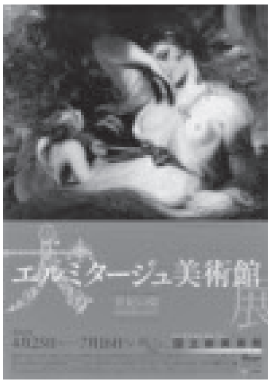
●「カリフォルニア・デザイン　1930-1965　―モダン・リヴィングの起源―」展覧会カタログ
平成25（2013）年３月18日発行、Ａ４変型（305mm×241mm）、384ページ
図版カラー350点・白黒20点、6,000部
編集：ウェンディ・カプラン（ロサンゼルス・カウンティ美術館）、本橋弥生、工藤弘二、長谷川珠緒（国立新美術館）、西牧厚子、加藤さわ（新建築社）
執筆：ウェンディ・カプラン、ボビー・タイガーマン、グレン・アダムソン、ジェレミー・エインズレー、パット・カーカム、メリッサ・レヴェントン、クリストファー・ロング、ニコラス・オルスバーグ、ステイシー・スタインバーガー、ビル・スターン、本橋弥生
翻訳：川上純子
発行：新建築社



ポスター、チラシ、出品目録　Poster and Flier and List of Works

●「大エルミタージュ美術館　世紀の顔・西欧絵画の400年」

ポスター



B 1 判、3,740部
B 2 判、1,000部
B 3 判、88,100部

チラシ

A 4 判（２種）
各450,000部

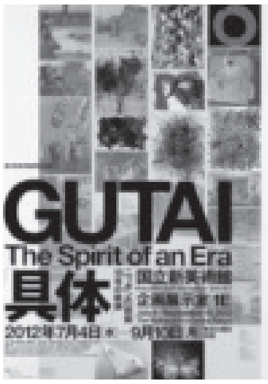
仕上りA 4 判、二つ折、400,000部

デザイン：あかねデザイン（若林信重）

出品目録
A 4 判、二つ折、日本語330,000部、英語3,000部

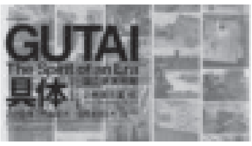
●「『具体』—ニッポンの前衛　18年の軌跡」

ポスター



B 1 判、960部

B 3 判、3,900部



B 3 変型（インターサイズ）
760部

チラシ

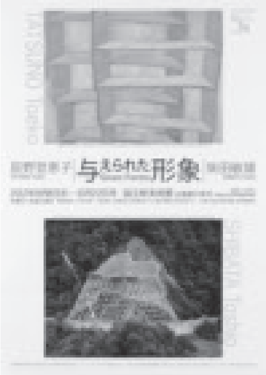
仕上りA 4 判、二つ折、125,000部

デザイン：森大志郎

出品目録
仕上がりA 4 判、二つ折、一枚差し込み、 9 ページ、50,000部

●「与えられた形象─辰野登恵子／柴田敏雄」

ポスター



B 1 判、1,000部

B 3 判、3,900部

B 3 変型（インターサイズ）
760部

チラシ

A 4 判、100,000部

デザイン：大石一義

出品目録
仕上りA 4 判、四つ折（観音折り）、20,000部

●「リヒテンシュタイン　華麗なる侯爵家の秘宝」

ポスター

B 1 判（ 2 種）、各300部
B 0 判、200部
B 2 判、2,000部
B 3 判、8,000部

チラシ

A 4 判、300,000部
先行配布 1 ：仕上りA 4 判、四つ折、300,000部
先行配布 2 ：仕上りA 4 判、二つ折（ 2 種）、各100,000部

デザイン：松下貴昭（スチーム）

出品目録
仕上りA 4 判、二つ折、日本語200,000部、英語30,000部

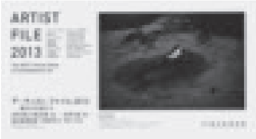
「バロック・サロン」目録
仕上りA 4 判、二つ折、200,000部（初版）、50,000部（第 2 版）

●「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」

ポスター

B 1 判、1,000部

B 3 判、3,200部



B 3 変型（インターサイズ）
760部

チラシ

A 4 判、110,000部

デザイン：亀井伸二（W.O.DESIGN）

出品目録
A 4 変型（280×210mm）、 6 ページ、29,000部

●「カリフォルニア・デザイン　1930-1965　―モダン・リヴィングの起源―」

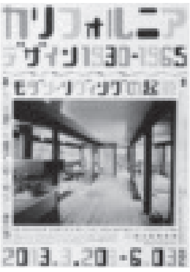
ポスター

B 1 判、1,100部

B 3 判、3,300部

B 3 変型（インターサイズ）
680部

チラシ



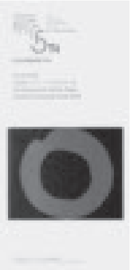
先行チラシ：A 4 判、30,000部
チラシ：A 4 判、115,000部

デザイン：原野賢太郎

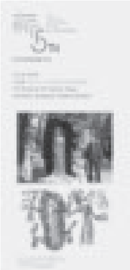
出品目録
仕上りA 4 判、経本折、日本語35,000部　英語3,000部

フロアガイド、スケジュール類　Floor Guide, Exhibition Schedule, etc.

●国立新美術館スケジュール　2012.4-2012.9
仕上り210×100mm、巻三つ折、
（日本語版）100,000部　（英語版）5,000部



●国立新美術館スケジュール　2012.10-2013.3
仕上り210×100mm、巻三つ折、
（日本語版）80,000部　（英語版）5,000部



●国立新美術館　アートライブラリー　2012.4
仕上り210×100mm、巻三つ折、
（日本語版）5,000部　（英語版）2,000部

美術館ニュース　Newsletter

●国立新美術館　美術館ニュース　No.22
平成24(2012)年５月31日発行、Ａ４判、８ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和
目次：
・「セザンヌ—パリとプロヴァンス」展
　「セザンヌのパリ滞在の意味」
　永井隆則(京都工芸繊維大学准教授)
・「大エルミタージュ美術館展　世紀の顔・西欧絵画の400年」展
　「美少女を連れ去る『死の天使』—超新古典主義的センチメンタリズム」
　森川もなみ(学芸課研究補佐員)
　「様式と自由：アンドレ・ドランの《木立》」
　阿部真弓(学芸課研究補佐員)
・書架のあいだから
　「図書館資料としての雑誌のお話」
　山本千登勢(学芸課元研究補佐員)
・教育普及事業　レポート
　「アーティスト・ワークショップ『私の“好き”を箱に詰めて～廃品から、つくるアート～』」
　木内祐子(学芸課研究補佐員)
　「アーティスト・ワークショップ『野ダテ○△□～掛け軸を描いて、お茶室で鑑賞しよう！～』」
　井上絵美子(学芸課研究補佐員)
・公募団体等の活動
　「歴史と個性を源流に進化を続ける—太平洋美術会」
　太平洋美術会　大井浄

●国立新美術館　美術館ニュース　No.24
平成24(2012)年11月30日発行、Ａ４判、８ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和
目次：
・「与えられた形象—辰野登恵子／柴田敏雄」展
　「マイ・フェイヴァリッツ　私の好きな作品　辰野登恵子×柴田敏雄」
　南雄介(学芸課長)
・「リヒテンシュタイン　華麗なる侯爵家の秘宝」展
　「綺想のバロック的東洋趣味—リヒテンシュタイン侯爵家コレクション所蔵『ムガル大帝』連作タペストリー」
　森川もなみ(学芸課研究補佐員)
・書架のあいだから
　「1960年代・美術とデザインの間」
　伊村靖子(学芸課研究補佐員)
・教育普及事業　レポート
　「アーティスト・ワークショップ『からだと空間をめぐる実験～美術館の空間をからだで感じてみよう！～』」
　井上絵美子(学芸課研究補佐員)
　「アーティスト・ワークショップ『“表現”としての写真—柴田敏雄による２回の講評会—』」
　木内祐子(学芸課研究補佐員)
・公募団体等の活動
　「白日会」
　白日会事務所

●国立新美術館　美術館ニュース　No.23
平成24(2012)年８月31日発行、Ａ４判、８ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和
目次：
・「『具体』—ニッポンの前衛　18年の軌跡」展
　「『具体』—ニッポンの前衛　18年の軌跡」展関連シンポジウム
　「『具体』再評価の過去と現在」抄録
　山田由佳子(学芸課任期付研究員)
・研究員レポート
　「国立新美術館の情報検索サービスの展開—展覧会情報と書誌情報のリンク」
　室屋泰三(学芸課情報資料室長)
・書架のあいだから
　「特別資料閲覧のご案内」
　小幡朋子(学芸課研究補佐員)
・教育普及事業　レポート
　「アーティスト・ワークショップ『息をとめて　そっとさわって　銀箔から学ぶ日本の画材』」
　「国立新美術館　インターンシップとサポート・スタッフ」
　木内祐子(学芸課研究補佐員)
・公募団体等の活動
　「創玄展—第50回記念展に向けて」
　公益社団法人創玄書道会

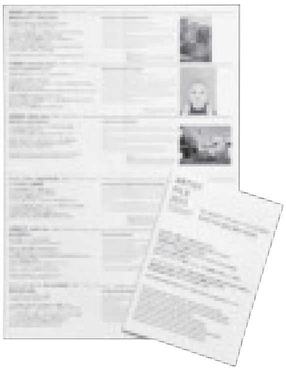
●国立新美術館　美術館ニュース　No.25
平成25(2013)年２月28日発行、Ａ４判、８ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和
目次：
・「アーティスト・ファイル2013—現代の作家たち」展
　「記憶の灯浮標」
　阿部真弓(国立西洋美術館リサーチフェロー・元国立新美術館学芸課研究補佐員)
　「『アーティスト・ファイル2013』のインスタレーションをめぐって」
　岩﨑美千子(学芸課研究補佐員)
・研究員レポート
　「イメージの今日的意義—ダリオ・ガンボーニとアン・フリードバーグの近年の研究を手がかりに」
　長屋光枝(学芸課企画室長)
　「家具デザインの保護と法律—なぜ、Yチェアに立体商標が必要だったのか」
　吉澤菜摘(学芸課アソシエイト・フェロー)
・書架のあいだから
　「『新シイ絵ノ見カタ』表紙デザイン画に関する一考察—『日本アヴァンギャルド美術家クラブ』の活動をめぐって—」
　谷口英理(学芸課アソシエイト・フェロー)
・教育普及事業　レポート
　「アーティスト・ワークショップ『はじめてのアート—新聞紙をさわって、きいて、かんじてみよう—』」
　「国立新美術館　平成24年度のインターン活動」
　木内祐子(学芸課研究補佐員)
・公募団体等の活動
　「行動美術展—『行動美術協会35年の小史』から—2012」
　行動美術協会事務所　平野元起、吉井爽子

活動報告　NACT Report

●平成23年度　国立新美術館　活動報告
平成24（2012）年７月11日発行、Ａ４判、90ページ、800部
表紙デザイン：佐藤可士和

ガイドブックその他　Guide Book, etc.

●国立新美術館ガイドブック『アートのとびらvol.7』
平成24（2012）年７月３日発行、Ａ５判、16ページ、図版カラー７点、20,000部
編集：学芸課教育普及室
執筆：木内祐子、井上絵美子
デザイン：原野賢太郎、露木卓也



●『ちいさなアーティスト・ファイル2013』
平成25（2013）年１月23日発行、Ａ５判、四つ折、図版カラー８点、27,000部
編集：学芸課教育普及室
執筆：井上絵美子、木内祐子、立花由美子（平成24年度教育普及室インターン）、樋口茉呂奈（平成24年度教育普及室インターン）
デザイン：亀井伸二（W.O.DESIGN）

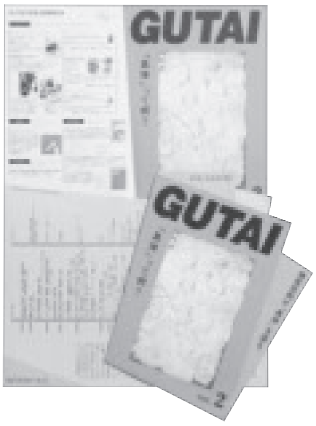
●『シンポジウム記録集　「セザンヌ―パリとプロヴァンス」展から見る今日のセザンヌ』
平成25（2013）年３月15日発行、Ａ４判、92ページ、図版白黒74点、1,000部
編集：国立新美術館
執筆：永井隆則、三浦篤、新畑泰秀、工藤弘二
デザイン：仲快晴（ADARTS Inc.）
発行：国立新美術館

●国立新美術館ガイドブック『ハロー！！カリフォルニア・デザイン』
平成25（2013）年３月20日発行、Ａ５変型（220×153mm）、20ページ、表紙４種、図版カラー24点、18,000部（第１版）、10,000部（第２版）
編集：学芸課教育普及室
執筆：吉澤菜摘、井上絵美子、木内祐子
デザイン：髙谷廉（AD＆D）

広報ツール

●「具体」展リーフレット　VOL.1
平成24(2012)年５月18日発行、仕上り148×108mm、蛇腹折、16ページ、
図版カラー11点・白黒10点、10,000部
編集：国立新美術館　広報担当

●「具体」展リーフレット　VOL.2
平成24(2012)年７月31日発行、仕上り250×200mm、イイカゲン折、
５ページ、図版カラー12点、10,000部
編集：国立新美術館　広報担当



6-2　ホームページ、各種ウェブサービス　Website, SNS

国立新美術館ホームページ（http://www.nact.jp/）は、当館の多彩な活動について利用者に分かりやすく情報を伝える媒体として運用を続けている。平成24年度においては自主企画展のインターネットを通じた広報のために「具体」展、「アーティスト・ファイル2013」展の各展覧会において展覧会特設ウェブサイトを開設した。「具体」展では同展に併せて作成されたリーフレットのデジタル版として、iPad等のタブレット端末に特化したデザインを採用したウェブサイトを開設した。また、「アーティスト・ファイル2013」展では「Tumblr」や「YouTube」を用いて、同展の特設ウェブサイトを効率的に構築した。

ホームページ、展覧会特設ウェブサイト以外にも、昨今のインターネットの利用形態の変化に対応するため「ソーシャルネットワークサービス（SNS）」等インターネット上の各種ウェブサービスの利用を、平成23年度に引き続いて実践的に試みている。ソーシャルネットワークサービス「Facebook」上の「国立新美術館」のページ（http://www.facebook.com/nact.jp）及び「Twitter」（@NACT_PR）からの情報発信を平成24年度も行った。

また、当館の活動を携帯電話などでも手軽に閲覧できることを目指して、平成21（2009）年12月からメールマガジンを発行している。

ホームページ、SNS、メールマガジンのいずれの媒体も緊急時の開館時間変更や臨時休館の告知などの即時性が求められる情報伝達の媒体としても活用している。

NACT continues to maintain its website (http://www.nact.jp/) as a way of providing the public with easy-to-understand information on the Center's wide-ranging activities. In fiscal 2012 NACT set up dedicated websites for two of its exhibition projects: “GUTAI” and “Artist File 2013.” The site for “GUTAI” carried a digital edition of the printed pamphlet produced for the exhibition, optimized for the iPad and other tablet devices. The center has published “Artist File 2013” site onTumblr and YouTube.

Apart from its permanent website and the dedicated exhibition websites, NACT has worked to adopt to current developments in Internet trends. As part of these efforts, the Center continued the practical trials started during fiscal 2011 using Social Networking Services (SNS) and other web-based services. The NACT page (http://www.facebook.com/nact.jp) on Facebook was set up in November 2011 and continued in use in fiscal 2012.

A regular e-mail magazine has been sent to mobile telephone subscribers since December 2009. This is another way to make it easy for visitors to keep up to date with NACT activities. The e-mail magazine is generally updated and sent to subscribers.

The Center also uses the website, SNS, and the e-mail magazine to warn subscribers of last-minute changes to opening times and unscheduled closures.

・ホームページ
当館ホームページの総アクセス数（閲覧されたページ数）：10,403,992件
（2013（平成25）年３月31日現在）
うち、英語ページ：　273,491件
ドイツ語ページ：　7,462件
フランス語ページ：7,739件
スペイン語ページ：6,836件
韓国語ページ：　9,681件
中国語ページ：　15,853件
携帯サイト：　947,282件

・メールマガジン
登録者数：3,253名（平成25（2013）年３月２日現在）

・各種ウェブサービス
facebook.com/nact.jp
「いいね！」：5,923件（平成25（2013）年３月２日現在）

Twitter（@NACT_PR）
ツィート数：579件
フォロワー：13,925人（平成25（2013）年３月31日現在）

ホームページ

Facebook

6-3 広報活動 Publicity Activities

メディア各社へ展覧会情報を発信し、媒体キャラバンによる取材誘致、取材対応を行った。また、「Facebook」や「Tumblr」等のWEBツールを使った展覧会特設ウェブサイトの開設、PR映像の制作、リーフレットの作成等により、展覧会の周知に努めた。さらに、ブックカバー配布やブース展開など、書店でのPR活動を行い、幅広い層へ展覧会情報を発信した。「Twitter」により定期的に美術館情報を発信したほか、東京メトロ10月のポスターに採用されるなど、施設広報も充実した１年となった。このほか、引き続き「六本木アート・トライアングル」をとおした広報活動にも努めた。

We worked to publicize exhibition events by soliciting and facilitating media coverage and using a range of methods including leaflets for distribution in the Center; exhibition-specific websites using tools such as Facebook and Tumblr; and PR videos. We were also able to publicize exhibitions widely through PR activities in bookshops, including handing out promotional book covers and setting up booths. Other initiatives to raise the profile of NACT included regular postings on Twitter and having the NACT featured in publicity posters carried on the Tokyo Metro system during the month of October. Also we have continued publicizing through ‘Roppongi Art Triangle’.

掲載記事、放映 Media Publicity April 2012 - March 2013

新聞

No.	紙名	発行	発行日	内容
1	毎日新聞	毎日新聞社	７月11日	「具体」展　高階秀爾氏展評
2	産経新聞	産経新聞社	７月16日	「具体」展　渋沢和彦氏展評
3	朝日新聞	朝日新聞社	７月25日	「具体」展　大西若人氏展評
4	日本経済新聞	日本経済新聞社	８月７日	「具体」展　窪田直子氏展評
5	読売新聞	読売新聞社	８月23日	「具体」展　高野清見氏展評
6	東京新聞	中日新聞東京本社	８月29日	「具体」展　平井章一（学芸課主任研究員）執筆
7	日本経済新聞	日本経済新聞社	８月29日	「与えられた形象」展　宝玉正彦氏展評
8	朝日新聞	朝日新聞社	９月５日	「与えられた形象」展　大西若人氏展評
9	毎日新聞	毎日新聞社	９月12日	「与えられた形象」展　三田晴夫氏展評
10	読売新聞	読売新聞社	９月27日	「与えられた形象」展　井上晋治氏展評
11	東京新聞	中日新聞東京本社	10月５日	「与えられた形象」展　古谷利裕氏展評
12	日本経済新聞	日本経済新聞社	12月19日	青木保館長インタビュー「多様な人材育てよ」
13	産経新聞	産経新聞社	２月13日	「アーティスト・ファイル2013」展　渋沢和彦氏展評
14	日本経済新聞	日本経済新聞社	３月16日	「カリフォルニア・デザイン」展

他　303件（当館把握件数）

雑誌

No.	誌名	発行	発売号	内容
1	日経おとなのOFF	日経BPマーケティング	６月号	「大エルミタージュ美術館展」 本橋弥生（学芸課主任研究員）取材
2	美術の窓	生活の友社	８月号	「具体」展　巻頭特集14ページ（まるごと「具体」！）
3	AERA	朝日新聞出版	７/16号	美術館紹介　福永治（副館長）取材
4	pen	阪急コミュニケーションズ	９/１月号	「具体」展　赤坂英人氏展評
5	美術手帖	美術出版社	11月号	「与えられた形象」展　光田由里氏展評
6	週刊ポスト	小学館	10/12号	「与えられた形象」展　坪内祐三氏展評
7	春ぴあ	ぴあ株式会社	春号	「アーティスト・ファイル2013」展
8	GINZA	マガジンハウス	３月号	「アーティスト・ファイル2013」展　（G's ART林央子のWhat's Art?）
9	日経WOMAN	日経BP社	３月号	「カリフォルニア・デザイン」展
10	an・an	マガジンハウス	３/27号	「カリフォルニア・デザイン」展

他　195件（当館把握件数）

WEB

No.	ウェブサイト	発行	掲載日	内容
1	Yahoo！ニュース（産経新聞）	産経新聞社	７月７日	「具体」展　開会式《入口》パフォーマンス
2	artscape	DNPアートコミュニケーションズ	７月15日	「具体」展　加治屋健司氏レビュー
3	ART ACCESS	芸術新聞社	８月10日	「与えられた形象」展
4	文化庁月報	文化庁	９月号	「与えられた形象」展　南雄介（学芸課長）執筆
5	TOKYO ART BEAT	tokyo art beat	１月23日	「アーティスト・ファイル2013」展　本日のオススメページ
6	FASHION HEADLINE	ファッションヘッドライン	２月６日	「カリフォルニア・デザイン」展
7	CINRA.NET	CINRA	２月12日	「アーティスト・ファイル2013」展
8	インターネットミュージアム	インターネットミュージアム事務局	２月20日	「カリフォルニア・デザイン」展

他　217件（当館把握件数）

テレビ

No.	放映番組名	放送局	放映日	内容
1	ぶらぶら美術・博物館	BS日テレ	4月17日	「セザンヌ」展　工藤弘二(学芸課アソシエイト・フェロー)出演
2	地球テレビ　エル・ムンド	NHK BS 1	7月12日	「具体」展(吉原治良《黒地に赤い円》) 「山田五郎の新・木曜美術館」コーナー
3	日曜美術館アートシーン	NHK Eテレ	7月22日	「具体」展
4	めざましテレビ	フジテレビ	10月1日	「与えられた形象」展　「MOTTOいまドキ」コーナー (ミュージアムご飯特集)
5	はなまるカフェ	TBS	10月6日	美術館紹介　水野元洋(庶務課長)出演 (ミュージアムご飯特集)
6	東京上級デート	テレビ朝日	11月7日	美術館紹介
7	空から日本を見てみよう	BSジャパン	2月6日	別館紹介　室屋泰三(学芸課情報資料室長)出演

他　6件(当館把握件数)

ラジオ

No.	放送番組名	放送局	放送日	内容
1	RENDEZ-VOUS	J-WAVE	5月10日	「大エルミタージュ美術館展」 本橋弥生(学芸課主任研究員)出演
2	RENDEZ-VOUS	J-WAVE	11月29日	「リヒテンシュタイン」展 宮島綾子(学芸課主任研究員)出演
3	岩瀬恵子のスマートNEWS	ラジオ日本	1月25日	「アーティスト・ファイル2013」展 西野華子(学芸課主任研究員)出演
4	I A.M.	J-WAVE	3月28日	「カリフォルニア・デザイン」展 本橋弥生(学芸課主任研究員)出演

他　6件(当館把握件数)

その他

No.	媒体名	発行	掲載日	内容
1	@GALLERY TAGBOAT	タグボート	6月号	「具体」展　見開き特集
2	東京メトロ10月期ポスター	東京メトロ	10月1日～31日	美術館紹介

他　173件(当館把握件数)

※原則として、美術館紹介及び自主企画展に関する記事、放映のみについて記載した。
※ただし、国立新美術館の職員が執筆、出演した場合は共催展に関する記事、放映についても件数に含めて記載した。

展覧会に関連したその他の広報活動

展覧会の周知を目的に、展覧会特設ページやウェブサイトを開設したほか、PR映像を制作し、館内外で配信・放映した。また、ブース展開による書店でのPR活動やブックカバーの配布、店舗や学校等へのポストカードの配布により、幅広い層へ展覧会情報を配信した。さらに、展覧会の内容に関する著名人のコメントを掲載したリーフレットを作成し館内で無料配布するなど、鑑賞ガイドとは異なる角度から来場者の作品鑑賞の充実と展覧会に対する興味喚起を図った。

「『具体』―ニッポンの前衛　18年の軌跡」

●「具体」展リーフレット　VOL.1
平成24(2012)年５月18日発行、仕上り148×108mm、蛇腹折、16ページ、図版カラー11点・白黒10点、10,000部
編集：国立新美術館　広報担当

●「具体」展リーフレット　VOL.2
平成24(2012)年７月31日発行、仕上り250×200mm、イイカゲン折、５ページ、図版カラー12点、10,000部
編集：国立新美術館　広報担当

●「具体」展PR映像
放映：平成24(2012)年７月１日～８月31日(渋谷駅、上野駅)、７月25日～９月10日(国立新美術館デジタルサイネージ)
上映時間：30秒
編集：ドアーズ、国立新美術館　広報担当
デザイン：竹内スグル
制作：108United

●「Facebook」上の「具体」展特設ページ
運用期間：平成24(2012)年５月23日～９月10日
「いいね！」：1,156件

「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」

●「アーティスト・ファイル2013」展特設ウェブサイト
運用期間：平成25(2013)年１月９日～４月１日
アクセス数：40,021件
※本ウェブサイトは「Tumblr」を用いて制作、運用した。

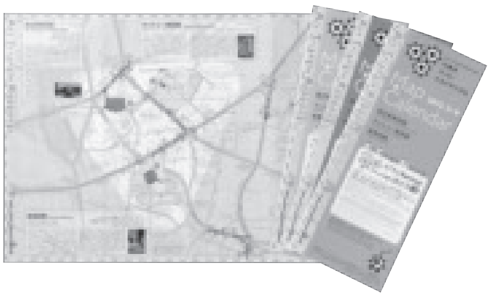
●「アーティスト・ファイル2013」展PR映像
放映：平成25(2013)年２月14日～４月１日(「アーティスト・ファイル2013」展特設ウェブサイト)、２月13日～４月１日(国立新美術館デジタルサイネージ)、２月20日～４月１日(国立新美術館カフェテリア　カレ)、２月25日～３月11日(代官山蔦屋書店)、３月１日～３月31日(ちぃばすチャンネル)、３月25日～３月31日(東京メトロ)他
映像：
・PR映像(３分19秒)
・15秒スポット
・國安孝昌　インタビュー(４分23秒)
・利部志穂　インタビュー(５分50秒)
・東亭順　インタビュー(５分26秒)
・ヂョン・ヨンドゥ　インタビュー(４分29秒)
・中澤英明　インタビュー(５分42秒)
・ナリニ・マラニ　インタビュー映像(６分40秒)
・ダレン・アーモンド　制作ドキュメント(４分４秒)
・志賀理江子　制作ドキュメント(４分34秒)
・國安孝昌　制作ドキュメント(４分７秒)
・利部志穂　制作ドキュメント(４分30秒)
・東亭順　制作ドキュメント(３分22秒)
編集：国立新美術館　広報担当
制作：千ヶ崎慶一

●「アーティスト・ファイル2013」展ブックカバー
文庫サイズ(257×374mm)
リブロ・パルコブックセンター20店舗配布用(ヂョン・ヨンドゥ)：18,500部
紀伊國屋書店14店舗配布用(ナリニ・マラニ)：14,000部
青山ブックセンター３店舗配布用(中澤英明)：2,500部
デザイン：亀井伸二(W. O. DESIGN)

●「アーティスト・ファイル2013」展ポストカード
ハガキサイズ（150×100mm）、10,000部

六本木アート・トライアングル（ATRo）

　国立新美術館、サントリー美術館、森美術館の３館は、地図上で三角形を描く「六本木アート・トライアングル」（ATRo）として、展覧会観覧料の相互割引「あとろ割」や、「六本木アート・トライアングルMap＋Calendar」の配布など、新しいアートの拠点を目指し、様々な連携に取り組んでいる。前年好評だった「六本木アートカレッジ」に平成24年度も参加協力。１日で全23講座を開講し、参加者は前年よりも増え1,000人を超えた。



●六本木アート・トライアングルMap＋Calendar 2012.3-９
国立新美術館、サントリー美術館、森美術館
平成24（2012）３月発行、仕上り297×119mm、展開サイズ297×418mm、変型経本折

●六本木アート・トライアングルMap＋Calendar 2012.10-2013.3
国立新美術館、サントリー美術館、森美術館
平成24（2012）10月発行、仕上り297×119mm、展開サイズ297×418mm、変型経本折

●六本木アートカレッジ2012
開催日：平成24（2012）年10月８日（月・祝）10時〜18時30分
概要：アートを中心とした23種類の講座を、１日3,000円で好きなだけ受講できるイベント。６つの時間帯、６つの会場で開講される講座から好みのものを選択し受講する。また19時からは夜のアートピクニックとして、六本木農園でゲスト講師と受講者が語り合う「ナイトパーティ」、ピラミデビルのギャラリーが特別夜間開廊した「ナイトギャラリー」が開催された。ATRo３館は、チラシ作成のほか、プログラム提供で協力し、国立新美術館は、西野華子（学芸課主任研究員）による「一足お先に、『アーティスト・ファイル2013』展」を開講した。
会場：アカデミーヒルズ（六本木ヒルズ　森タワー49階、ヒルズカフェ＆スペース）
参加者数：1,047人

7

調査・研究

Research

福永治　FUKUNAGA Osamu
【執筆】
・「大平實の新作」／「大平實展」展覧会リーフレット／10月／株式会社アートシード
・「《返本還元》から《竜神》へ―國安孝昌の仕事」「中澤英明の絵画」／「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」展覧会カタログ／１月／国立新美術館
・「『新進アーティスト作品展vol.11』総評、作品評」／「新進アーティスト作品展vol.11」展覧会リーフレット／３月／財団法人富士市文化振興財団
【海外出張】
・チェコ共和国／７月15日～19日／2016年度開催予定展の交渉、関係者との打ち合わせ、ならびに展覧会等の調査のため
・ドイツ、イギリス／８月24日～９月２日／「ドクメンタ13」視察、及び「アーティスト・ファイル2013」展に関する作品調査と作家、関係者との打ち合わせのため

南雄介　MINAMI Yusuke
【執筆】
・「展評『中村と村上』展」（再録）／美術手帖編『村上隆完全読本　美術手帖全記事　1992-2012』／６月／美術出版社
・「与えられた形象――序論」「辰野登恵子　その展開についての記述の試み」／「与えられた形象―辰野登恵子／柴田敏雄」展覧会カタログ／８月／国立新美術館
・「国立新美術館　与えられた形象―辰野登恵子／柴田敏雄」／WEB版『文化庁月報』９月号（No.528）／９月／文化庁
・「マイ・フェイヴァリッツ　私の好きな作品　辰野登恵子×柴田敏雄」／『国立新美術館ニュース』No.24（11月）／国立新美術館
・「日本の現代美術――その国際性について」／『組替え絵画　私たちの作品を見てくださいCathy project』（リーフレット）／１月／学校法人桑沢学園東京造形大学
・「利部志穂の作品について」／「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」展覧会カタログ／１月／国立新美術館
・「マルセル・デュシャン」（再録）／美術手帖編『現代アートの巨匠　先駆者たちの〈作品・ことば・人生〉』／２月／美術出版社
・「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵　貴婦人と一角獣展」「アメリカン・ポップ・アート展」／『美術の窓』／２月／生活の友社
【講演、研究発表等】
・「時代と絵画」／造形大プロジェクト「組替え絵画　私たちの作品を見てください　Cathy project」／12月７日／東京造形大学
【海外出張】
・カタール、シンガポール／６月13日～18日／展覧会調査ならびに美術館調査のため
・韓国／10月15日～20日／企画展実施にかかわる交渉ならびに展覧会調査のため

長屋光枝　NAGAYA Mitsue
【執筆】
・「志賀理江子：写真における身体とイメージ」／「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」展覧会カタログ／１月／国立新美術館
・「研究員レポート　イメージの今日的意義―ダリオ・ガンボーニとアン・フリードバーグの近年の研究を手がかりに」／『国立新美術館ニュース』No.25（３月）／国立新美術館
【翻訳】
・［章解説］「３．クンストカンマー：美と技の部屋」「４．バロックの世界」［作品解説］61点／「リヒテンシュタイン　華麗なる侯爵家の秘宝」展覧会カタログ／10月／朝日新聞社、東映
【海外出張】
・香港／５月17日～21日／企画展にかかわる調査のため
・韓国／10月15日～20日／企画展にかかわる調査、打ち合わせのため
・ドイツ、オーストリア／１月22日～28日／「アンドレアス・グルスキー展」にかかわる調査と打ち合わせ、その他の企画展にかかわる調査のため

宮島綾子　MIYAJIMA Ayako
【執筆】
・「柴田敏雄の写真」／「与えられた形象―辰野登恵子／柴田敏雄」展覧会カタログ／８月／国立新美術館
・「デキウス・ムス連作―ルーベンス芸術のマニフェステーション」／「リヒテンシュタイン　華麗なる侯爵家の秘宝」展覧会カタログ／10月／朝日新聞社、東映
・「東亭順」／「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」展覧会カタログ／１月／国立新美術館
【講演、研究発表等】
・「リヒテンシュタイン侯爵家コレクションの魅力」／朝日カルチャーセンター公開講座／10月17日／朝日カルチャーセンター横浜教室
・「『リヒテンシュタイン展』のみどころ―華麗なる侯爵家の秘宝」／朝日カルチャーセンター公開講座／11月24日／朝日カルチャーセンター新宿教室

西野華子　NISHINO Hanako
【執筆】
・「ダレン・アーモンド」「チョン・ヨンドゥ」／「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」展覧会カタログ／１月／国立新美術館
・「国立新美術館　『アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち』展に寄せて」／WEB版『文化庁月報』２月号（No.533）／文化庁
【講演、研究発表等】
・「一足お先に、『アーティスト・ファイル2013』展」／六本木アートカレッジ／10月８日／アカデミーヒルズ
【海外出張】
・ドイツ、イギリス／８月24日～９月２日／「ドクメンタ13」視察、及び「アーティスト・ファイル2013」展に関する作品調査と作家、関係者との打ち合わせのため
・韓国／11月９日～13日／「第６回釜山ビエンナーレ」視察、及び「アーティスト・ファイル2013」展に関する作品調査と作家、関係者との打ち合わせのため

本橋弥生　MOTOHASHI-MÄKI-MANTILA Yayoi

【執筆】

・「マティスとロシア―ロシア・アヴァンギャルドにおける「東方（オリエント）」／「大エルミタージュ美術館展　世紀の顔・西欧絵画の400年」展覧会カタログ／4月／日本テレビ放送網株式会社
・「西欧絵画をめぐる400年」／『文化庁月報』4月号（No.523）／文化庁
・「第4章　19世紀　ロマン派からポスト印象派まで　進化する世紀」、「第5章　20世紀　マティスとその周辺　アヴァンギャルドの世紀」、「パブロ・ピカソ」／『ぶらぶら美術・博物館　おさんぽアートブック2012-2013』／5月25日／日本テレビ放送網株式会社
・「大エルミタージュ美術館展　世紀の顔・西欧絵画の400年」／『新美術新聞』6月1日号（No.1281）／美術年鑑社
・「ナリニ・マラニ」／「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」展覧会カタログ／1月／国立新美術館
・「『パシフィカ』と『ジャパニーズ・モダン』―1950年代カリフォルニアと日本における日本調のモダン・デザイン」／「カリフォルニア・デザイン　1930-1965　―モダン・リヴィングの起源―」展覧会カタログ／3月／新建築社

【講演会、研究発表等】

・「大エルミタージュ美術館展　世紀の顔・西欧絵画の400年」解説会／6月1日／国立新美術館

室屋泰三　MUROYA Taizo

【執筆】

・「〈特集2〉美術作品のデジタル記録撮影について　考察と今後の課題」／『現代の眼』595号（8月）／東京国立近代美術館
・「研究員レポート　国立新美術館の情報検索サービスの展開―展覧会情報と書誌情報のリンク」／『国立新美術館ニュース』No.23（8月）／国立新美術館

【講演、研究発表】

・ワークショップ「所蔵作品情報の発信―《文化遺産オンライン》による実践」／9月14日／国立新美術館

山田由佳子　YAMADA Yukako

【執筆】

・「大阪万博というフィナーレへ向かって」、「主要参考文献」／「『具体』―ニッポンの前衛　18年の軌跡」展覧会カタログ／7月／国立新美術館
・「シンポジウム「『具体』再評価の過去と現在」抄録」／『国立新美術館ニュース』No.23（8月）／国立新美術館

工藤弘二（アソシエイト・フェロー）　KUDO Koji

【執筆】

・「南北の往復から見るセザンヌ―展覧会史における『セザンヌ―パリとプロヴァンス』展の意義」／『シンポジウム記録集「セザンヌ―パリとプロヴァンス」展から見る今日のセザンヌ』／3月／国立新美術館

【講演、研究発表等】

・「セザンヌ―パリとプロヴァンス」展解説会／4月14日／国立新美術館
・「セザンヌ―パリとプロヴァンス」展解説会／5月13日／国立新美術館
・〔パネリスト発表〕「南北の往復から見るセザンヌ―展覧会史における『セザンヌ―パリとプロヴァンス』展の意義」／「シンポジウム『セザンヌ―パリとプロヴァンス』展から見る今日のセザンヌ」／5月26日／国立新美術館

谷口英理（アソシエイト・フェロー）　TANIGUCHI Eri

【執筆】

・「綜觀東京國立新美術館之圖書與資訊服務（Overviwe of the Library and Information Services at the National Art Center, Tokyo）」／『美術論叢』（第87号）／8月／台北市立美術館（林田英樹前館長との共著）
・「書架のあいだから　『新シイ絵ノ見カタ』表紙デザイン画に関する一考察―『日本アヴァンギャルド美術家クラブ』の活動をめぐって―」／『国立新美術館ニュース』No.25（3月）／国立新美術館

【講演、研究発表等】

・「1930年前後の堀野正雄とその位置― “版画化”への志向を中心に―」／シンポジウム「堀野正雄の現代的意義」／4月21日／東京都写真美術館

吉澤菜摘（アソシエイト・フェロー）　YOSHIZAWA Natsumi

【執筆】

・「フィンランドの話、始めます。」「フィンランドのライフスタイル―くらしとデザインにまつわる4つの話」／「フィンランドのくらしとデザイン―ムーミンが住む森の生活」展覧会カタログ／10月（第2刷）／株式会社キュレイターズ
・『国立新美術館ガイドブック　ハロー！！カリフォルニア・デザイン』（井上絵美子研究補佐員、木内祐子研究補佐員との共著）／3月／国立新美術館
・「研究員レポート　家具デザインの保護と法律―なぜ、Yチェアに立体商標が必要だったのか」／『国立新美術館ニュース』No.25（3月）／国立新美術館

平井章一　HIRAI Shoichi

（平成24（2012）年9月30日まで学芸課主任研究員として京都国立近代美術館と兼務）

【執筆】

・「『具体』―近代精神の理想郷」、章解説、年譜、作家略歴／「『具体』―ニッポンの前衛　18年の軌跡」展覧会カタログ／7月／国立新美術館
・「よみがえるニッポンのチャレンジ精神と創造的エネルギー」／『文化庁月報』7月号（No.526）／7月／文化庁
・「前衛グループ『具体』回顧展」／東京新聞（中日新聞、北陸中日新聞、日刊県民福井にも掲載）／8月29日／中日新聞社

【講演、研究発表等】

・「本シンポジウムの趣旨と『具体』再評価史の概観」／シンポジウム「『具体』再評価の過去と現在」／7月14日／国立新美術館

8

その他の事業

Other Programs and Events

●SFTギャラリー展示一覧

・MESHIWAN　贈るうつわ
浅井純介、石田誠、尾形アツシ、小野哲平、小山乃文彦、掛江祐造、亀田大介、寒川義雄、郡司庸久、田村一、寺田鉄平、鶴見宗次、額賀章夫、村木雄児、村田森、横山拓也、吉岡萬理
企画、構成：祥見知生　うつわ祥見
展示協力：有限会社イヌイットファニチュア
平成24(2012)年3月28日(水)～5月21日(月)

・mt lab.
6月6日(水)～7月23日(月)
Part 1　Ribbonesia
6月6日(水)～6月18日(月)
Part 2　Bob Foundation
6月20日(水)～7月4日(水)
Part 3　minä perhonen
7月5日(木)～7月23日(月)

・日傘を詠む(よむ／ながむ)展
ひがしちか
7月25日(水)～9月17日(月・祝)

・色浴ノ秋　しょくよくのあき
深堀隆介
9月19日(水)～10月22日(月)

・さあ、みんなであつまろう。
イイホシユミコ、齋藤正明、田鶴濱守人、山本教行
10月24日(水)～平成25年(2013)1月21日(月)

・共栄design展
岡本光市
1月23日(水)～3月25日(月)

・巡る器、旅する器
巳亦敬一、田村一、矢尾板克則、山野邊孝、郡司庸久、須藤拓也、亀田大介、吉田直嗣、掛江祐造、小山乃文彦、横山拓也、艸田正樹、尾形アツシ、吉岡萬理、石川昌浩、寒川義雄、石田誠、小野哲平、竹花正弘、山下太
企画、構成：祥見知生　うつわ祥見
3月27日(水)～6月10日(月)

●別館展示コーナー

昭和3(1928)年建設の旧陸軍兵舎は、「日」の字型の構造を持ち、アールデコ調のデザインを取り入れた外壁など、ビルディング・タイプのモダンな旧陸軍初の鉄筋コンクリート建築であった。国立新美術館建設に伴い、建物は解体・撤去されることとなったが、建築上の歴史的価値に鑑み、その一部が国立新美術館別館として保存されている。

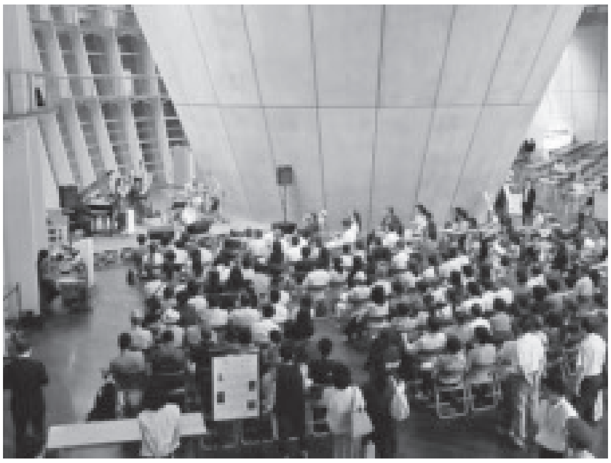
別館の展示コーナーでは、兵舎時代の建物の写真や図面、模型、解体前の調査報告書などを公開している。

なお、平成25(2013)年1月から、来館者の利便性向上のため、1階展示室からエントランスホールに移設した。

開室日：毎週木、金曜日
(木、金曜日が祝日または休日にあたる場合、休館日及び年末年始は休室)
開室時間：13時～17時
開室日数：97日
利用者数：1,362人

●ロビーコンサート
・サマー・ジャズコンサート
　日時：平成24（2012）8月10日（金）18時30分〜19時30分
　会場：国立新美術館　1階ロビー
　出演：Charito（Vocal）、野力奏一（Piano）、井上陽介（Bass）、Gene Jackson（Drums）
　参加者数：225人

・クリスマス・オペラコンサート
　日時：12月7日（金）18時30分〜19時30分
　会場：国立新美術館　1階ロビー
　出演：新国立劇場オペラ研修所修了生
　参加者数：327人



8月10日　サマー・ジャズコンサート

●六本木アートナイト2013
主催：東京都　アーツカウンシル東京・東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）、六本木アートナイト実行委員会（国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合）
日時：平成25（2013）3月23日（土）10時〜24日（日）18時
（コアタイム　23日17時55分【日没】〜24日5時39分【日の出】）
開催場所：国立新美術館、サントリー美術館、森美術館、21_21 DESIGN SIGHT、東京ミッドタウン、六本木ヒルズ、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

国立新美術館プログラム：
3月23日（土）
・「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」展及び「カリフォルニア・デザイン　1930-1965　―モダン・リヴィングの起源―」展を22時まで開館延長
・「アーティスト・ファイル2013―現代の作家たち」展及び「カリフォルニア・デザイン　1930-1965　―モダン・リヴィングの起源―」展無料観覧の実施
・ワークショップ「木々に灯す、ちいさな巣をつくろう〜アートナイトでインスタレーションに挑戦」（國安孝昌）
・「TOKYO ANIMA!　2013春」
・パフォーマンス「フレルヒカリ」（利部志穂、川西隆史）
3月24日（日）
・講演会「カリフォルニア・デザイン1930-1965」（ウェンディ・カプラン）
・「まちなかコンサート in 六本木」
3月23日（土）〜24日（日）
・「アーティスト・ファイル2013」展出品作家國安孝昌による屋外特別展示

六本木広域プログラム（うち、国立新美術館を会場として実施したもの）：
3月23日（土）〜24日（日）
・「アートブネプロジェクト　浅井裕介《混生系譜丸》」
・「アートブネプロジェクト　off-Nibroll パフォーマンス《船頭丸》」

9
記録
Records

9-1　入場者数
Number of Visitors

9-2　予算
Revenue and Expenditure

9-3　企業協賛
Corporate Support

9-4　来館者サービス
Visitor Services

9-5　国際交流
International Exchanges

9-6　展覧会出品リスト
List of Works

9-7　名簿
The NACT Advisory Board, The NACT Council and Staff List

9 記録
Records

9-1 入場者数 Number of Visitors

国立新美術館展覧会入場者数

	企画展			公募展				
年度	展覧会数	開催日数	入場者数	展覧会数	開催日数	入場者数	年間入場者数合計	入場者数累計
平成18	4	162	498,694	―	―	―	498,694	498,694
平成19	11	423	1,847,413	69	832	1,317,508	3,164,921	3,663,615
平成20	11	432	1,052,472	69	840	1,309,747	2,362,219	6,025,834
平成21	10	453	1,149,767	69	833	1,246,840	2,396,607	8,422,441
平成22	11	397	1,807,150	69	811	1,266,989	3,074,139	11,496,580
平成23	8	350	690,000	69	831	1,253,764	1,943,764	13,440,344
平成24	10	436	1,092,175	69	834	1,259,966	2,352,141	15,792,485

※平成18年度は開館(平成19年１月21日)から年度末(３月31日)までの統計である
※開催日数には、年度内に開催された全ての展覧会の開催日数合計を記した
※公募展の展覧会数・開催日数・入場者数は、当該年度第１会期から第25会期まで(平成22年度までは第50会期まで)の展覧会の統計である
※平成23(2011)年３月12日(土)、14日(月)、16日(水)〜18日(金)、23日(水)〜25日(金)は臨時休館

9-2 予算 Revenue and Expenditure

収入

事項	金額(単位：千円)
運営交付金	1,072,180
自己収入	603,729
合計	1,675,909

支出

事項	金額(単位：千円)
一般管理費	463,897
展示事業費	685,236
教育普及費(情報・資料事業費等を含む)	524,776
調査研究費	2,000
合計	1,675,909

※人件費は除く

9-3 企業協賛 Corporate Support

企業名	協賛事業
鹿島建物総合管理株式会社、住友化学株式会社、東レ株式会社、三井不動産株式会社、三菱電機株式会社	海外に向けて美術情報を発信する活動(JACプロジェクト)への協賛
三菱商事株式会社	託児サービス事業への協賛
JXホールディングス株式会社	コンサート事業への協賛

9-4 来館者サービス Visitor Services

●付属施設
・レストラン：ブラッスリー　ポール・ボキューズ　ミュゼ(３階)
・カフェ：サロン・ド・テ ロンド(２階)
　　　　カフェ コキーユ(１階)
　　　　カフェテリア カレ(地下１階)

・ミュージアムショップ：スーベニア フロム トーキョー(SFT)
　　　　　　　　　　　SFTギャラリー(地下１階)

●観覧環境の整備
・多目的トイレの設置
・車椅子・ベビーカーの貸出
・オストメイト(人工肛門・人工膀胱)対応トイレの設置
・身体障害者用駐車場の整備
・授乳室(地下１階)の整備
・補聴器等への磁気誘導無線システムを講堂に設置(専用受信機10台)
・点字ブロック、点字表示の整備
・視覚障害者用のインターホンを各入口に設置
・館内ディスプレイでの展覧会や講演会等の情報表示
・海外６ヶ国語版の利用案内(220×107mm、二つ折)を配布
・バリアフリー情報に特化した大きな文字の利用案内を配布
・各インフォメーションに筆談ボードを設置

●託児サービス
育児支援及び来館者サービスの一環として、託児サービスを実施した。
実施日：毎月第２木曜、第３日曜、第４月曜　計36回
使用施設：国立新美術館　研修室
受入人数：163人

●港区事業「平成24年度文化芸術のちから集中プログラム『ミナコレ』」への協力
「ミナコレ2012夏」（平成24（2012）年８月１日～８月31日）では、スタンプラリーの実施、「ミナコレ2013冬」（平成25（2013）年２月１日～２月28日）では、美術館・博物館無料巡回バスの運行に協力した。

託児サービス

9-5　国際交流　International Exchanges

氏名　Name
肩書
国・地域
滞在期間・来館日
来館目的

平成24年度招聘者　Guests　April 2012 - March 2013

フィリップ・セザンヌ　Philippe Cezanne
ポール・セザンヌ協会名誉会長、ポール・セザンヌ曾孫
フランス
４月１日、３日
「セザンヌ」展　講演会、内覧会

ドニ・クターニュ　Denis Coutagne
フランス国家文化財主任研究員
フランス
４月３日、６月13日、20日
「セザンヌ」展　監修者、内覧会、撤去指導、作品輸送

ジル・シャザール　Gilles Chazal
パリ市立プティ・パレ美術館　館長
フランス
６月12日、14日、15日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

オディール・ミシェル　Odile Michel
オルセー美術館　チーフ・レジストラー
フランス
６月12日、15日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

ウィリアム・ジョン・ヘネシー　William John Hennessey
クライスラー美術館　館長
アメリカ
６月12日、15日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

スヴァトスラフ・サヴァチェーフ　Svyatoslav Savvateev
エルミタージュ美術館　キュレーター（スペイン絵画担当）
ロシア
６月12日、15日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

デーヴィッド・ワイズ　David Wise
オーストラリア国立美術館　シニア・コンサヴァター（絵画担当）
オーストラリア
６月12日、15日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

サイモン・アイヴズ　Simon Ives
ニュー・サウス・ウェールズ美術館　コンサヴァター（絵画担当）
オーストラリア
６月12日、15日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

エルヴェ・イリアン　Hervé Irien
モナコ大公宮殿　モナコ大公・芸術委員会事務局長
モナコ
６月13日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

ラルデ・ステファニー　Lardez Stéphanie
グラネ美術館　レジストラー
フランス
６月13日、19日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

イソベル・クロンビー　Isobel Crombie
ヴィクトリア国立美術館　シニア・キュレーター（写真担当）
オーストラリア
６月13日、18日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

アレクセイ・ミチン　Aleksei Mitin
エルミタージュ美術館　キュレーター（素描担当）
ロシア
６月13日、18日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

シューク・ヌルミネン　Siukku Nurminen
アテネウム美術館　シニア・コンサヴァター
フィンランド
６月13日、18日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

笹尾佳乃子　Kanoko Sasao
ポール・ゲッティ美術館　展覧会アソシエイト・レジストラー
アメリカ
６月13日、18日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

ポートランド・マコーミック　Portland McCormik
ハマー美術館　作品管理・収集部門長
アメリカ
６月13日、18日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

イゴール・ペルミャコフ　Igor Permiakov
エルミタージュ美術館　修復家
ロシア
６月14日、19日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

リチャード・アステ　Richard Aste
ブルックリン美術館　キュレーター（ヨーロッパ美術担当）
アメリカ
６月14日、19日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

カルヴァン・ブラウン　Calvin Brown
プリンストン大学付属美術館　アソシエイト・キュレーター（版画・素描担当）
アメリカ
６月14日、19日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

デーヴィッド・ホーム　David Holm
コロンバス美術館　展覧会デザイン・アシスタント
アメリカ
６月14日、19日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

ジェニファー・L・エックマン　Jennifer L. Eckman
シンシナティ美術館　展覧会アシスタント・レジストラー
アメリカ
６月14日、19日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

リンダ・M・シリング　Linda M. Sylling
メトロポリタン美術館　マネージャー（特別展展示・デザイン担当）
アメリカ
６月14日、19日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

ナンシー・ソイカ　Nancy Sojka
デトロイト美術館　学芸員、素描・版画・写真部門長
アメリカ
６月14日、19日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

リサ・M・マクドゥーガル　Lisa M. MacDougall
ワシントン・ナショナル・ギャラリー　貸出部門　ローン・オフィサー
アメリカ
６月15日、20日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

ジョセフ・ホルバック　Joseph Holbach
フィリップス・コレクション　チーフ・レジストラー
アメリカ
６月15日、20日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

ケイティ・マリー・トゥイチェット　Katey Mary Twitchett
テート　アシスタント・コンサヴァター（絵画担当）
イギリス
６月15日、20日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

デニス・カー　Dennis Carr
ボストン美術館　キャロライン・アンド・ピーター・リンチ・キュレーター
（アメリカ装飾美術・アメリカ彫刻担当）
アメリカ
６月16日、20日
「セザンヌ」展　撤去指導、作品輸送

ミハイル・ピオトロフスキー　Prof. Dr. Mikhail Piotrovsky
エルミタージュ美術館館長、国際サンクトペテルブルク大学教授
ロシア
４月24日、25日
「大エルミタージュ美術館展」　開会式出席、講演会

イリーナ・エトーヴァ　Irina Etoeva
エルミタージュ美術館
ロシア
４月11日
「大エルミタージュ美術館展」　作品輸送

ミハイル・アニーキン　Mikhail Anikin
エルミタージュ美術館　西洋絵画シニアリサーチャー
ロシア
４月12日
「大エルミタージュ美術館展」　作品輸送

セルゲイ・オレーホフ　Sergey Orekhov
エルミタージュ美術館
ロシア
４月13日
「大エルミタージュ美術館展」　作品輸送

アレクサンドル・バービン　Alexander Babin
エルミタージュ美術館　19世紀フランス絵画担当学芸員
ロシア
４月13日
「大エルミタージュ美術館展」　作品輸送、展示指導

アンドレイ・マトヴェーエフ　Andrey Mtveev
エルミタージュ美術館
ロシア
４月14日
「大エルミタージュ美術館展」　作品輸送

ヴィクトル・コロボフ　Victor Korobov
エルミタージュ美術館　イーゼル画主任修復員
ロシア
４月14日、18日～21日、７月17日～19日、21日
「大エルミタージュ美術館展」　作品輸送、展示・撤去指導

エリザヴェータ・レンネ　Elizaveta Renne
エルミタージュ美術館　イギリス、スカンディナヴィア地方絵画担当学芸員
ロシア
４月18日、19日～21日、24日
「大エルミタージュ美術館展」　作品輸送、展示指導、開会式出席

ナターリア・グリツェイ　Natalia Gritsai
エルミタージュ美術館　フランドル絵画担当学芸員
ロシア
７月17日～19日、21日
「大エルミタージュ美術館展」　作品輸送、撤去指導

ナターリア・セレブリアンナイア　Natalia Serebriannail
エルミタージュ美術館　17世紀フランス絵画担当学芸員
ロシア
７月17日～19日、21日
「大エルミタージュ美術館展」　作品輸送、撤去指導

ヴァレリー・アラングラン　Valérie Alingrin
レ・ザバトワール　レジストラー
フランス
６月23日～27日
「具体」展　作品輸送、展示指導

ヴァランタン・ロドリゲス　Valentin Rodriguez
レ・ザバトワール　コレクション部門長、展覧会企画担当
フランス
９月10日～12日
「具体」展　作品輸送、撤去指導

ヨハン・クレフトナー　Johann Kräftner
リヒテンシュタイン侯爵家コレクション　ディレクター
オーストリア
５月14日、15日、９月13日、14日、19日、20日、26日～29日、10月１日、２日、４日、12月22日～28日、１月７日
「リヒテンシュタイン」展　会場視察、打ち合わせ、作品輸送、展示・撤去指導、開会式出席、記念講演会

ミヒャエル・シュヴェラー　Michael Schweller
リヒテンシュタイン侯爵家コレクション　レジストラー
オーストリア
９月13日、20日、23日～29日、10月１日
「リヒテンシュタイン」展　作品輸送、展示指導

アレクサンドラ・ハンツル　Alexandra Hanzl
リヒテンシュタイン侯爵家コレクション　副ディレクター兼学芸員
オーストリア
９月19日、20日、23日～29日、10月１日、２日
「リヒテンシュタイン」展　作品輸送、展示指導、開会式出席

ロバート・ウォルト　Robert Wald
リヒテンシュタイン侯爵家コレクション　保存修復課長
オーストリア
９月19日、20日、23日～29日、10月２日、12月22日～28日、１月７日
「リヒテンシュタイン」展　作品輸送、展示・撤去指導、開会式出席

ブリギッテ・ラクナー　Brigitte Lackner
リヒテンシュタイン侯爵家コレクション　レジストラー
オーストリア
12月22日～27日
「リヒテンシュタイン」展　作品輸送、撤去指導

シュテフィ・シュルツ　Steffi Schulz
リヒテンシュタイン侯爵家コレクション　レジストラー
リヒテンシュタイン
12月22日～27日
「リヒテンシュタイン」展　作品輸送、撤去指導

ナリニ・マラニ　Nalini Malani
現代美術家
インド
１月14日～18日、22日、27日
「アーティスト・ファイル2013」展　展示指導、開会式出席、アーティスト・トーク

ヨハン・パイナップル　Johan Pijnappel
ナリニ・マラニ展示アシスタント
オランダ
１月14日～18日
「アーティスト・ファイル2013」展　展示指導

ダレン・アーモンド　Darren Almond
現代美術家
イギリス
１月16日～19日、22日、24日
「アーティスト・ファイル2013」展　展示指導、開会式出席、アーティスト・トーク

コナー・リンスキー　Connor Linskey
ダレン・アーモンド展示アシスタント
イギリス
１月16日～19日
「アーティスト・ファイル2013」展　展示指導

ヂョン・ヨンドゥ　Yeondoo Jung
現代美術家
韓国
１月17日～19日、25日
「アーティスト・ファイル2013」展　展示指導、開会式出席、アーティスト・トーク

エリン・コプル　Errin Copple
ロサンゼルス・カウンティ美術館　アシスタント・レジストラー
アメリカ
３月１日～15日
「カリフォルニア・デザイン」展　作品輸送、展示指導

シルヴィウ・ボアリウ　Silviu Boariu
ロサンゼルス・カウンティ美術館　アシスタント・コンサヴェーター
アメリカ
３月３日～18日
「カリフォルニア・デザイン」展　作品輸送、展示指導

ケイ・スピルカー　Kaye Spilker
ロサンゼルス・カウンティ美術館　キュレーター（服飾テキスタイル）
アメリカ
３月９日～15日
「カリフォルニア・デザイン」展　展示指導

ウェンディ・カプラン　Wendy Kaplan
ロサンゼルス・カウンティ美術館　キュレーター（装飾芸術・デザイン部門長）
アメリカ
３月15日～24日
「カリフォルニア・デザイン」展　展示指導、記者説明会・開会式出席、講演会

ボビー・タイガーマン　Bobbye Tigerman
ロサンゼルス・カウンティ美術館　アシスタント・キュレーター（装飾芸術・デザイン部門）
アメリカ
３月18日～20日
「カリフォルニア・デザイン」展　開会式出席、対談

平成24年度来館者　Visitors　April 2012 - March 2013

野口　幸生　Noguchi Sachiè
コロンビア大学　C.V.スター東亜図書館　日本学司書
アメリカ
４月４日
JACプロジェクトに関する意見交換

ケイコ　横田カーター　Keiko Yokota-Carter
北米日本研究資料調整委員会　会長
アメリカ
４月12日
青木館長表敬訪問

クラウディア・フェラッツィ　Claudia Ferrazzi
ルーヴル美術館　副館長
フランス
６月10日
青木館長表敬訪問、視察

陳　英梅　Chen Ying-Mei
高雄市政府文化局　文化中心管理処　処長
台湾
６月27日
青木館長表敬訪問、視察

王　文翠　Wang Wem-Tsui
高雄市立歴史博物館　館長
台湾
６月27日
青木館長表敬訪問、視察

テオドル・C・ベスター　Theodore C. Bestor
ハーバード大学　ライシャワー日本研究所　所長
アメリカ
６月27日
青木館長表敬訪問、視察

于　乃明　Yu Nai-Ming
台湾国立政治大学　教授
台湾
６月29日
青木館長表敬訪問、視察

アロイス・フォン・リヒテンシュタイン皇太子殿下
Alois, Hereditary Prince of Liechtenstein
リヒテンシュタイン公国　皇太子殿下
リヒテンシュタイン
10月２日
「リヒテンシュタイン展」開会式御臨席

キム・ヨンスン　Kim Young Soon
韓国光州文化財団　文化政策室　チーム長
韓国
12月11日
青木館長表敬訪問、視察

スニール・ボールド　Sunil Bald
イエール大学　教授
アメリカ
２月７日
青木館長表敬訪問、視察

平成24年度海外出張　Overseas Visits　April 2012 – March 2013

氏名
国・地域
滞在期間
目的

青木保（館長）、中川健太郎（庶務課係長）
フランス、スペイン
５月３日〜13日
美術館視察のため

青木保（館長）、南雄介（学芸課長）
カタール、シンガポール
６月13日〜18日
美術館視察のため

青木保（館長）、神長宏幸（庶務課係長）
韓国
８月19日〜22日
「アジア文化フォーラム2012」基調講演のため

青木保（館長）
中国
８月28日〜９月３日
中国社会科学院シンポジウム講演のため

青木保（館長）
台湾
11月23日〜11月26日
台湾国立政治大学シンポジウム基調講演のため

青木保（館長）
アメリカ
３月20日〜３月28日
「全米アジア学会」基調講演のため

※研究員の海外出張については、「７ 調査・研究」に掲載した

9-6　展覧会出品リスト　List of Works

セザンヌ―パリとプロヴァンス出品リスト

［凡例］
作品番号
作品名
制作年
寸法
所蔵

＊以下の作品の展示期間は次のとおりである。
No.29：３月28日-４月23日
No.34：４月25日-６月11日
No.53：３月28日-５月７日
No.59：５月９日-６月11日

第Ⅰ章　初期
Ⅰ-1　形成期：パリとプロヴァンスのあいだで

1
女神の接吻―詩人の夢（フェリックス・ニコラ・フリリエによる）
1859-60年
82.0×66.0cm
オルセー美術館（グラネ美術館に寄託）

2
屛風
1859年頃
250.5×204.0cm
グラネ美術館

3
屛風
1859年頃
250.5×204.0cm
グラネ美術館

4
囚われの悪魔
1862年
41.0×34.0cm
個人蔵

5
風景
1865年
32.5×45.0cm
個人蔵

6
パンと卵のある静物
1865年
59.1×76.2cm
シンシナティ美術館

7
小礼拝堂とトロワ・ソット橋のある風景
1865-66年
35.0×16.0cm
個人蔵

8
砂糖壺、洋なし、青いカップ
1865-70年
30.0×41.0cm
オルセー美術館（グラネ美術館に寄託）

9
林間の空地
1867年
64.8×54.3cm
財団法人諸橋近代美術館

10
女性の頭部（ルーベンスによる）
1869-73年
45.0×29.0cm
個人蔵

11
ピアノを弾く少女（「タンホイザー」序曲）
1869年頃
57.8×92.5cm
エルミタージュ美術館

12
サント＝ヴィクトワール山と水浴の女たち
1870年頃
33.0×40.0cm
個人蔵

Ⅰ-2　ジャス・ド・ブッファン

13
かくれんぼ遊び（ニコラ・ランクレによる）
1860-62年
167.5×221.5cm
なかた美術館

14
四季 夏
1860-61年頃
314.0×109.5cm
パリ市立プティ・パレ美術館

15
四季 冬
1860-61年頃
314.0×104.0cm
パリ市立プティ・パレ美術館

16
四季 春
1861年頃
315.0×98.0cm
パリ市立プティ・パレ美術館

17
四季 秋
1861年頃
314.0×105.0cm
パリ市立プティ・パレ美術館

18
岩場の水浴の男
1860-66年頃
167.6×105.4cm
クライスラー美術館

19
岩場の釣り人
1862-64年
36.0×87.0cm
アルマン・イスラエル蔵

第Ⅱ章　風景
Ⅱ-1　北：1882年まで

20
首吊りの家、オーヴェール＝シュル＝オワーズ
1873年
55.5×66.3cm
オルセー美術館

21
オワーズ川岸の風景
1873-74年
73.5×93.0cm
モナコ大公宮殿

22
オーヴェールの曲がり道
1873年頃
59.7×49.0cm
東京富士美術館

23
ベルヴュから見たピロン・デュ・ロワ（イル＝ド＝フランスの風景）
1884-85年（1879-80年）
54.0×65.0cm
個人蔵

24
田舎の家
1879年頃
58.4×71.1cm
ワズワース・アテネウム美術館

25
坂道
1881年
61.4×74.3cm
ヴィクトリア国立美術館

Ⅱ-2　南：1882年まで

26
レスタックの工場
1869年
16.0×32.0cm
セザンヌのアトリエ（グラネ美術館に寄託）

27
ジャス・ド・ブッファンからの眺め
1875-76年
44.5×59.0cm
オルセー美術館（グラネ美術館に寄託）

28
サンタンリ村から見たマルセイユ湾
1877-79年頃
64.5×80.2cm
吉野石膏株式会社（山形美術館に寄託）

29
庭の入口の花壇
1878-80年
30.8×47.7cm
個人蔵

Ⅱ-3　北：1882年以降

30
北フランスの風景
1885年頃
45.0×53.0cm
鹿児島市立美術館

31
風景
1888-90年
65.0×81.2cm
公益財団法人大原美術館（白樺美術館より永久寄託）

32
マルヌの川岸
1888年頃
65.0×81.3cm
ニュー・サウス・ウェールズ美術館

33
水の反映
1888-90年頃
65.0×92.0cm
愛媛県美術館

34
木の習作
1890年頃
28.0×43.2cm
個人蔵

35
フォンテーヌブローの岩
1893年頃
73.3×92.4cm
メトロポリタン美術館

Ⅱ-4　南：1882年以降

36
レスタックの陸橋
1883年頃
56.0×65.5cm
アテネウム美術館

37
葉を落としたジャス・ド・ブッファンの木々
1885-86年
60.3×73.0cm
国立西洋美術館

38
ガルダンヌの村
1885-86年
92.1×73.2cm
ブルックリン美術館

39
大きな松の木と赤い大地
1885-87年
81.0×100.0cm
個人蔵

40
森
1885–87年
53.5×65.4cm
個人蔵

41
サント＝ヴィクトワール山
1886–87年
59.7×72.4cm
フィリップス・コレクション

42
大きな松の木と赤い大地
1895–97年頃
72.0×91.0cm
エルミタージュ美術館

43
トロネの道とサント＝ヴィクトワール山
1896–98年頃
78.5×98.5cm
エルミタージュ美術館

44
ビベミュスの岩と枝
1900–04年頃
61.0×50.5cm
パリ市立プティ・パレ美術館

第Ⅲ章　身体
Ⅲ–1　パリ：裸体の誘惑

45
聖アントニウスの誘惑
1874年頃
25.0×33.0cm
笠間日動美術館

46
ナポリの午後
1875年頃
37.0×45.0cm
オーストラリア国立美術館

47
永遠の女性
1877年頃
43.2×53.0cm
ポール・ゲッティ美術館

48
聖アントニウスの誘惑
1877年頃
47.0×56.0cm
オルセー美術館

49
永遠の女性
1890–95年
21.0×27.0cm
国立西洋美術館（松方コレクション）

Ⅲ–2　パリ：余暇の情景

50
釣り人たち
1872–75年
9.0×12.5cm
個人蔵

51
ピクニック（草上の昼食）
1875年頃
9.5×13.0cm
個人蔵

52
池のほとり
1877–79年頃
47.0×56.2cm
ボストン美術館

53
草刈り人（裏面：鍬を持つ男の図）
1878–80年
12.5×22.0cm
東京藝術大学大学美術館

54
舟にて
1900–06年
12.5×22.0cm
国立西洋美術館（松方コレクション）

Ⅲ–3　プロヴァンス：水浴図

55
３人の水浴の女たち
1876–77年頃
55.0×52.0cm
パリ市立プティ・パレ美術館

56
奴隷（ミケランジェロによる）
1885–88年
45.1×29.2cm
デトロイト美術館

57
水浴の男たち（小）
1896–97年
22.3×27.3cm
横浜美術館

58
水浴の男たち（大）
1896–97年
41.0×51.0cm
横浜美術館

59
水浴群像
1897–1900年頃
12.6×21.0cm
石橋財団ブリヂストン美術館

第Ⅳ章　肖像
Ⅳ–1　親密な人々：家族と友人の肖像

60
ギヨーマン像
1873年
12.0×10.5cm
横浜美術館

61
少女
1873年
13.0×10.5cm
横浜美術館

62
自画像
1875年頃
64.0×53.0cm
オルセー美術館

63
赤いひじ掛け椅子のセザンヌ夫人
1877年頃
72.4×55.9cm
ボストン美術館

64
縞模様の服を着たセザンヌ夫人
1883–85年
56.8×47.0cm
横浜美術館

65
横たわる少年
1887年頃
54.0×65.3cm
ハマー美術館

Ⅳ–2　パリ：コレクター、画商の肖像

66
ヴィクトール・ショケの肖像
1877年頃
45.7×38.1cm
コロンバス美術館

67
アンブロワーズ・ヴォラールの肖像
1899年
100.0×81.0cm
パリ市立プティ・パレ美術館

Ⅳ–3　プロヴァンス：農民、庭師の肖像

68
麦藁帽子をかぶった子供
1896–1902年頃
80.8×54.8cm
メナード美術館

69
坐る農夫
1897年頃
55.0×46.0cm
公益財団法人ひろしま美術館

70
坐る農夫
1900–04年
73.3×60.3cm
オルセー美術館

71
庭師ヴァリエ
1906年
107.4×74.5cm
ワシントン・ナショナル・ギャラリー

第Ⅴ章　静物
Ⅴ–1　北を中心に：1882年まで

72
牛乳入れとレモンのある静物
1873–77年頃
18.4×29.8cm
シンシナティ美術館

73
開いた引出しのある静物
1877–79年
32.5×41.0cm
オルセー美術館

74
壺、カップとりんごのある静物
1877年頃
60.6×73.7cm
メトロポリタン美術館

75
りんごとナプキン
1879–80年
49.2×60.3cm
損保ジャパン東郷青児美術館

Ⅴ–2　南を中心に：1882年以降

76
ふたつの果実
1885年頃
19.0×23.2cm
個人蔵

77
髑骨と本
1885年頃
23.5×31.0cm
デトロイト美術館

78
静物
1888–90年頃
27.7×40.9cm
ポーラ美術館

79
青い花瓶
1889–90年
61.0×50.0cm
オルセー美術館

80
藁飾りの壺、砂糖壺とりんご
1890–93年
36.0×46.0cm
オランジュリー美術館

81
宴の準備
1890年頃
45.0×53.0cm
国立国際美術館

82
りんご、グラス、瓶
1895–98年頃
31.5×48.1cm
オルセー美術館（ルーヴル美術館素描・版画部門保管）

83
りんごとオレンジ
1899年頃
74.0×93.0cm
オルセー美術館

84
庭園の花瓶
1900–04年
65.0×54.0cm

85
牛乳入れと果物のある静物
1900年頃
45.8×54.9cm
ワシントン・ナショナル・ギャラリー

第Ⅵ章　晩年

86
５人の水浴の男たち
1900–04年
42.2×55.0cm
オルセー美術館

87
サント＝ヴィクトワール山
1902年頃
83.8×65.1cm
ヘンリー・アンド・ローズ・パールマン財団（プリンストン大学付属美術館に長期寄託）

88
庭師ヴァリエ
1906年頃
65.4×54.9cm
テート

大エルミタージュ美術館展
世紀の顔・西欧絵画の400年
出品リスト

［凡例］
作品番号
作家名
作品名
制作年
技法／材質
寸法

1　16世紀　ルネサンス：人間の世紀

1
ティツィアーノ・ヴェチェリオ
祝福するキリスト
1570年頃
油彩／カンヴァス
96×80cm

2
パルマ・イル・ヴェッキオ
（本名ヤコポ・ネグレッティ）
キリストと姦淫の女
1510-1511年
油彩／カンヴァス
82×69.5cm

3
ロレンツォ・ロット
エジプト逃避途上の休息と聖ユスティナ
1529-1530年
油彩／カンヴァス
80×103.5cm（後世に描き足された部分を含めた場合：82×132.5cm）

4
ボニファツィオ・ヴェロネーゼ
（本名ボニファツィオ・デ・ピターティ）
聖会話
1523-1525年
油彩／カンヴァス（1837年に板より移し替え）
80×135cm

5
パリス・ボルドーネ
貴婦人と少年
1540年代
油彩／カンヴァス
97×77cm

6
パリス・ボルドーネ
ウェヌス、マルスとクピド
1550-1552年
油彩／カンヴァス
127×119cm

7
ドメニコ・ティントレット
（本名ドミニコ・ロブスティ）
男の肖像
1586-1589年
油彩／カンヴァス
79×71cm

8
ベルナルディーノ・ルイーニ
聖カタリナ
1527-1531年
油彩／カンヴァス（板より移し替え）
68×59cm

9
レオナルド・ダ・ヴィンチ派
裸婦
16世紀末
油彩／カンヴァス（1862年に板より移し替え）
86.5×66.5cm

10
ランベルト・スストリス
ウェヌス
1549-1550年
油彩／カンヴァス
101.5×170.5cm

11
アレッサンドロ・アローリ
キリスト教会の寓意
1600年代初め
油彩／カンヴァス
131×115.5cm

12
バルトロメオ・スケドーニ
風景の中のクピド
16世紀末-17世紀初め
油彩／カンヴァス
94×77cm

13
バルトロメオ・スケドーニ
聖家族と洗礼者ヨハネ
16世紀末-17世紀初め
油彩／カンヴァス（板より移し替え）
65.7×50cm

14
ジュリオ・カンピ
男の肖像
16世紀前半
油彩／カンヴァス
105.5×83cm

15
ソフォニスバ・アングィソーラ
若い女性の肖像（横顔）
16世紀末
油彩／カンヴァス
68.5×52.5cm

16
ジュリオ・チェーザレ・プロカッチーニ
聖家族、洗礼者ヨハネと天使
1620-1625年
油彩／カンヴァス
157×107.5cm

2　17世紀　バロック：黄金の世紀

17
ペーテル・パウル・ルーベンス
虹のある風景
1632頃-1635年
油彩／カンヴァス（1869年に板より移し替え）
86×130cm

18
ペーテル・パウル・ルーベンス
ローマの慈愛（キモンとペロ）
1612年頃
油彩／カンヴァス（1819年に板より移し替え）
140.5×180.3cm

19
アンソニー・ヴァン・ダイク
自画像
1622-1623年
油彩／カンヴァス
116.5×93.5cm

20
アンソニー・ヴァン・ダイク
エリザベスとフィラデルフィア・ウォートン姉妹の肖像
1640年
油彩／カンヴァス
163.5×130cm

21
ヤン・ファン・ケッセル（１世）
ウルカヌスの鍛冶場を訪ねるウェヌス
1662年
油彩／カンヴァス
59.5×84cm

22
ダニエル・セーヘルス
トマス・ウィレボルツ・ボスハールト
花飾りに囲まれた幼子キリストと洗礼者ヨハネ
1650年代前半
油彩／カンヴァス
129×97.4cm

23
ヤコブ・ファン・オースト（１世）
ゴリアテの首を持つダヴィデ
1643年
油彩／カンヴァス
102×81cm

24
ヤン・シベレヒツ
牛飼いの女
1666年
油彩／カンヴァス
103.5×77.5cm

25
ダーフィト・テニールス（２世）
厨房の猿
1640年代半ば
油彩／カンヴァス（板より移し替え）
36×50cm

26
ダーフィト・ライカールト（３世）
農婦と猫
1640年代
油彩／カンヴァス（1842年に板より移し替え）
34.8×28cm

27
ダニエル・ファン・ヘイル
冬景色
1640年代半ば
油彩／カンヴァス
58×81cm

28
カレル・ファン・マンデル
愛の園
1602年
油彩／カンヴァス（板より移し替え）
45×70cm

29
レンブラント・ファン・レイン
老婦人の肖像
1654年
油彩／カンヴァス
89×76.5cm（後世に下部と左右に描き足された部分を含めた場合：109×84cm）

30
ニコラス・ファン・フェーレンダール
カスパー・ヤコブ・ファン・オプスタル（１世）
ヴァニタス（はかなさの寓意）
1660年代初め
油彩／カンヴァス
93×102cm（絵の上部が全体に約5cm拡張されている）

31
マティアス・ストーマー
ヤコブに長子の権利を売るエサウ
1640年代
油彩／カンヴァス
118×164cm

32
ヘリット・ファン・ホントホルスト
幼少期のキリスト
1620年頃
油彩／カンヴァス
137×185cm

33
アブラハム・ブルーマールト
トビアスと天使のいる風景
1600年代初め
油彩／カンヴァス
139×107.5cm

34
サミュエル・ディルクスゾーン・ファン・ホーホストラーテン
自画像
1640年代末
油彩／カンヴァス
102×79cm

35
ニコラウス・クニュプファー
ソロモン王の前に立つシバの女王
1640年代
油彩／カンヴァス
73.5×81cm

36
ヤン・ステーン
結婚の契約
1668年頃
油彩／カンヴァス
65×83cm

37
ウィレム・クラースゾーン・ヘダ
蟹のある食卓
1648年
油彩／カンヴァス
118×118cm

38
ヤコブ・イザークスゾーン・ファン・ライスダール
海岸
1660年代末-1670年代初め
油彩／カンヴァス
52×68cm

3　18世紀　ロココと新古典派：革命の世紀

39
フランソワ・ブーシェ
クピド（詩の寓意）
1750年代末-1760年代初め
油彩／カンヴァス
82×87cm

40
フランソワ・ブーシェ
クピド（絵画の寓意）
1750年代末-1760年代初め
油彩／カンヴァス
82×87cm

41
ニコラ・ランクレ
踊るカマルゴ嬢
18世紀前半
油彩／カンヴァス
45×55cm

42
ジャン＝バティスト・シメオン・シャルダン
洗濯する女
1730年代
油彩／カンヴァス
37.5×42.7cm

43
ジャン＝バティスト・グルーズ
わがまま坊や
1760年代初め
油彩／カンヴァス
66.5×56cm

44
ジャン・ユベール
ヴォルテールの朝
1754-1775年
油彩／カンヴァス
52.5×43cm

45
ジャン・ユベール
植樹するヴォルテール
1754-1775年
油彩／カンヴァス
52.5×43cm

46
エリザベト＝ルイーズ・ヴィジェ＝ルブラン
自画像
1800年
油彩／カンヴァス
78.5×68cm

47
アンゲリカ・カウフマン
自画像
1780-1787年
油彩／カンヴァス
76.5×63cm（楕円形）

48
ジョヴァンニ・パオロ・パニーニ
ローマの廃墟で説教する聖パウロ
1744年
油彩／カンヴァス
63×82cm

49
クロード＝ジョゼフ・ヴェルネ
パレルモ港の入り口、月夜
1769年
油彩／カンヴァス
99.5×138cm

50
ユベール・ロベール
古代ローマの公衆浴場跡
1798年
油彩／カンヴァス
133×194cm

51
ジョージ・ロムニー
ハリエット・グリーア夫人の肖像
1787年
油彩／カンヴァス
76×64cm

52
リチャード・ブロンプトン
エカテリーナ２世の肖像
1782年
油彩／カンヴァス
83×69cm

53
ジョシュア・レノルズ
ウェヌスの帯を解くクピド
1788年
油彩／カンヴァス
127.5×101cm

54
ライト・オブ・ダービー
（本名ジョゼフ・ライト）
外から見た鍛冶屋の光景
1773年
油彩／カンヴァス
105×140cm

55
ヤコプ・フィリップ・ハッカート
ティヴォリの滝
1783年
油彩／カンヴァス
120×170cm

56
ルイ＝レオポール・ボワイー
ビリヤード
1807年
油彩／カンヴァス
56×81cm

57
ピエール＝ナルシス・ゲラン
モルフェウスとイリス
1811年
油彩／カンヴァス
251×178cm

58
オラース・ヴェルネ
死の天使
1851年
油彩／カンヴァス
146×113cm

4　19世紀　ロマン派からポスト印象派まで：進化する世紀

59
ウジェーヌ・ドラクロワ
馬に鞍をおくアラブ人
1855年
油彩／カンヴァス
56×47cm

60
カミーユ・コロー
森の中の沼
1865-1870年
油彩／カンヴァス
61×51cm

61
テオドール・ルソー
グランヴィル近郊の眺め
1833年
油彩／カンヴァス
85×165cm

62
フランツ・クサファー・ヴィンターハルター
女帝マリア・アレクサンドロヴナの肖像
1857年
油彩／カンヴァス
130×95.5cm

63
ジャン＝レオン・ジェローム
仮面舞踏会後の決闘
1857年
油彩／カンヴァス
68×99cm

64
レオン・ボナ
アカバの族長たち（アラビア・ペトラエア）
1872年頃
油彩／カンヴァス
78.5×121.5cm

65
ジュール・ルフェーヴル
洞窟のマグダラのマリア
1876年頃
油彩／カンヴァス
71.5×113.5cm

66
ジェイムズ・ティソ
廃墟（内なる声）
1885年
油彩／カンヴァス
214×124cm

67
ジョゼフ・ベイル
少年料理人
1893年
油彩／カンヴァス
71×100cm

68
フランソワ・フラマン
1802年マルメゾン宮殿でのパーティ
1894年頃
油彩／板
106×139cm

69
アルフレッド・シスレー
ヴィルヌーヴ＝ラ＝ガレンヌ風景
1872年
油彩／カンヴァス
59×80.5cm

70
ピエール＝オーギュスト・ルノワール
黒い服を着た婦人
1876年
油彩／カンヴァス
65.5×55.5cm

71
クロード・モネ
霧のウォータールー橋
1903年
油彩／カンヴァス
65.3×101cm

72
ポール・セザンヌ
カーテンのある静物
1894頃-1895年
油彩／カンヴァス
55×74.5cm

73
アンリ・ファンタン＝ラトゥール
水の妖精ナイアス
1896年頃
油彩／カンヴァス
41.5×55cm

74
モーリス・ドニ
母と子
1897年
油彩／カンヴァス
45×38.5cm

75
フェリックス・ヴァロットン
アルク＝ラ＝バタイユ風景
1903年
油彩／厚紙
67×103.5cm

76
ピエール・ボナール
早春（小さなファウヌスのいる風景）
1909年
油彩／カンヴァス
102.5×125cm

77
ポール・シニャック
マルセイユ港
1906-1907年
油彩／カンヴァス
46×55.2cm

5　20世紀　マティスとその周辺：アヴァンギャルドの世紀

78
アンリ・ルソー
ポルト・ド・ヴァンヴから見た市壁
1909年
油彩／カンヴァス
31×41cm

79
アンリ・マンギャン
サン＝トロペ風景
1905年
油彩／カンヴァス
50.5×60.5cm

80
アンドレ・ドラン
港
1905年
油彩／カンヴァス
62×73cm

81
アルベール・マルケ
アンリ４世記念碑とセーヌ河風景
1906年頃
油彩／カンヴァス
65.5×81cm

82
キース・ヴァン・ドンゲン
リュシーとその伴侶
1911年
油彩／カンヴァス
130×96.5cm

83
エミール＝オトン・フリエス
仏像のある静物
1909年
油彩／カンヴァス
51×42cm

84
アンリ・マティス
赤い部屋（赤のハーモニー）
1908年
油彩／カンヴァス
180×220cm

85
アンリ・マティス
少女とチューリップ
1910年
油彩／カンヴァス
92×73.5cm

86
パブロ・ピカソ
マンドリンを弾く女
1909年
油彩／カンヴァス
91×72.5cm

87
アンドレ・ドラン
木立
1912年
油彩／カンヴァス
116.5×81.3cm

88
アメデ・オザンファン
食器のある静物
1920年
油彩／カンヴァス
72×60cm

89
ラウル・デュフィ
ドーヴィル港のヨット
1936年頃
油彩／カンヴァス
54×80.8cm

「具体」—ニッポンの前衛
18年の軌跡
出品リスト

第１章
プロローグ1954年

［参考出品］
『具体』創刊号
1955年
個人蔵

第２章
未知の美の創造 1955-1957年

1
上前智祐
作品
1954年
油彩／板
80.0×65.0cm
芦屋市立美術博物館
第１回具体美術展［小原会館・東京、1955年］

2
大原紀美子
作品
1956年
油彩／麻布
116.0×91.0cm
宮城県美術館

3
大原紀美子
作品
1956年頃
油彩／麻布
116.0×91.0cm
宮城県美術館

4
金山明
作品
1954年
油彩／合板
61.8×61.8cm
東京都現代美術館
０会展［そごう百貨店・大阪、1954年］

5
金山明
March 5
1957年
フェルトペン／紙
77.3×109.3cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第３回具体美術展［京都市美術館、1957年］

6
金山明
March 7
1957年
フェルトペン・紙
773×109.3cm
大阪市立近代美館建設準備室
第３回具体美術展［京都市美術館、1957年］

7
金山明
March 8
1957年
フェルトペン／紙
77.3×109.3cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第３回具体美術展［京都市美術館、1957年］

8
金山明
Mar.5
1957年
フェルトペン／紙
77.3×109.3cm
高松市美術館
第３回具体美術展［京都市美術館、1957年］

9
金山明
Mar.6
1957年
フェルトペン／紙
77.3×109.3cm
高松市美術館
第３回具体美術展［京都市美術館、1957年］

10
金山明
作品
1957年
インク／板
182.3×183.2cm
北九州市立美術館
第３回具体美術展［京都市美術館、1957年］

11
嶋本昭三
作品
1954年
塗料／新聞紙
161.0×127.0cm
芦屋市立美術博物館

12
嶋本昭三
作品
1955年
ペンキ、ガラス／紙、布
164.0×126.8cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）
第４回具体美術展［小原開館・東京、1957年］

13
嶋本昭三
この上を歩いてください
1955年（1984年再制作）
ペンキ、木
50.0×48.5×361.0cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）
野外具体美術展［芦屋公園、1956年］

14
白髪一雄
作品Ⅱ
1954年
油彩／紙
112.0×77.5cm
個人蔵・スイス
０会展［そごう百貨店・大阪、1954年］

15
白髪一雄
赤い丸太
1955年（1985年再制作）
ペンキ、木
各403.0×Φ6.0cm（丸太10本）
兵庫県立美術館（山村コレクション）
真夏の夏に挑む野外モダンアート実験展
［芦屋公園、1955年］

16
白髪一雄
作品計画帳
1956-80年
水彩、インク／紙
30.4×23.4×3.0cm
個人蔵

17
白髪一雄
超現代三番叟
1957年（1985年再制作）
ラッカー／布、紙、竹
220.0×500.0cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）
舞台を使用する具体美術［産経新聞・大阪、1957年］

18
白髪富士子
白い板
1955年（1985年再制作）
ペンキ、木
393.0×55.5×2.0cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）
真夏の夏にいどむ野外モダンアート実験展
［芦屋公園、1955年］

19
白髪富士子
作品
1955年頃
紙
164.5×90.5cm
個人蔵

20
白髪富士子
作品
1955年頃
紙
137.0×70.5cm
個人蔵

21
白髪富士子
作品
1955年頃
紙
108.0×77.5cm
個人蔵

22
鷲見康夫
作品
1955年
エナメル／紙
15.0×16.5cm
芦屋市立美術博物館
第１回具体美術展［小原会館・東京、1955年］

23
鷲見康夫
作品
1955年
エナメル／紙
18.0×17.5cm
芦屋市立美術博物館
第１回具体美術展［小原会館・東京、1955年］

24
鷲見康夫
作品
1955年
エナメル／紙
17.8×20.0cm
芦屋市立美術博物館
第１回具体美術展［小原会館・東京、1955年］

25
鷲見康夫
作品
1955年
エナメル／紙
17.8×20.0cm
芦屋市立美術博物館

26
鷲見康夫
作品
1956年
油彩／紙
108.0×78.0cm
国立国際美術館

27
田中敦子
カレンダー
1954年頃
インク、紙／コラージュ
38.0×54.0cm
芦屋市立美術博物館

［凡例］
作品番号
作家名
作品名
制作年
技法／材質
寸法
所蔵
初出展覧会情報

＊作品番号128と142の作品は都合により出品されなかった。

28
田中敦子
作品（６）
1955年
クレヨン／綿布
81.7×62.3cm
東京都現代美術館
第１回具体美術展［小原会館・東京、1955年］

29
田中敦子
作品（ベル）
1955年（1985年再制作）
ベル、コード
ベル：各Φ10.0×6.0cm（12個）
コード：30cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）
第１回具体美術展［小原会館・東京、1955年］

30
田中敦子
無題（１）
1956年
クレヨン／紙
110.0×77.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第２回具体美術展［小原会館・東京、1956年］

31
田中敦子
無題（２）
1956年
クレヨン／紙
110.0×77.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第２回具体美術展［小原会館・東京、1956年］

32
田中敦子
無題（３）
1956年
クレヨン／紙
110.0×77.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第２回具体美術展［小原会館・東京、1956年］

33
田中敦子
無題（４）
1956年
クレヨン／紙
110.0×77.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室

34
田中敦子
無題（５）
1956年
クレヨン、水性インク／紙
110.0×77.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第２回具体美術展［小原会館・東京、1956年］

35
田中敦子
無題（６）
1956年
クレヨン／紙
110.0×77.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第２回具体美術展［小原会館・東京、1956年］

36
田中敦子
無題（８）
1956年
クレヨン／紙
110.0×77.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第２回具体美術展［小原会館・東京、1956年］

37
田中敦子
電気服
1956年（1986年再制作）
管球、電球、合成エナメル塗料、コード、制御版
165.0×80.0×80.0cm
高松市美術館
第２回具体美術展［小原会館・東京、1956年］

38
村上三郎
作品（空）
1956年（1985年再制作）
錫、布、木、鉄
380.0×98.0×98.0cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）
野外具体美術展［芦屋公園、1956年］

39
村上三郎
作品
1956年（1981年再制作）
木、時計
80.0×80.0×80.0cm
東京都現代美術館
神港アンデパンダン展［神港新聞社３階ホール・神戸、1956年］

40
村上三郎
入口
1955年（2012年、村上知彦氏による再制作）
紙、金粉、木枠
267.5×190.0×6.5cm
個人蔵
第１回具体美術展［小原会館・東京、1955年］

41
村上三郎
作品
1957年
ミクストメディア／板
93.0×184.5cm
芦屋市立美術博物館

42
元永定正
ざるから
1954年
ざる、針金、木
20.0×20.0×55.0cm
個人蔵
第７回芦屋市展［芦屋市立精道小学校、1954年］

43
元永定正
とんでいる
1954年
油彩／カンヴァス
60.4×72.5cm
個人蔵
第８回芦屋市展［芦屋市立精道小学校、1955年］

44
元永定正
寶がある
1954年
油彩／カンヴァス
65.0×80.2cm
個人蔵
第８回芦屋市展［芦屋市立精道小学校、1955年］

45
元永定正
作品（釘）
1955年
釘、木
各220.0×Φ23.0cm
個人蔵
真夏の太陽にいどむ野外モダンアート実験展［芦屋公園、1955年］

46
元永定正
作品（石）
1955年（1991年再制作）
アクリル、石、ストロー
可変
個人蔵
第１回具体美術展［小原会館・東京、1955年］

47
元永定正
作品（水）
1955年（2012年、仲辻悦子氏、川嶋守彦氏、元永紅子氏による再制作）
ビニール、インク、水
可変
個人蔵
第１回具体美術展［小原会館・東京、1955年］

48
元永定正
作品
1957年
油彩／板
91.0×91.5cm
個人蔵
第３回具体美術展［京都市美術館、1957年］

49
山崎つる子
作品
1955年（2004年再制作）
塗料、ラッカー、シンナー、鏡／トタン
240.0×180.0cm
芦屋市立美術博物館
第１回具体美術展［小原会館・東京、1955年］

50
山崎つる子
ブリキ缶
1955年（1986年再制作）
ブリキ缶
各24.0×Φ15.5cm（51個）
個人蔵
第１回具体美術展［小原会館・東京、1955年］

51
山崎つる子
蚊帳状立体作品
1956年（1985年再制作）
ペンキ、丸太、ビニール
270.0×360.0×360.0cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）
野外具体美術展［芦屋公園、1956年］

52
山崎つる子
作品
1957年（2001年再制作）
ブリキ、木、照明
145.0×185.0×41.0cm
芦屋市立美術博物館
第３回具体美術展［京都市美術館、1957年］

53
山崎つる子
作品
1957年
塗料、ニス／ブリキ板
82.0×73.0cm
個人蔵
第４回具体美術展［小原会館・東京、1957年］

54
吉田稔郎
SEP.
1954年
板
66.3×92.0cm
芦屋市立美術博物館

55
吉田稔郎
作品
1955年
油彩／板
90.7×60.8cm
芦屋市立美術博物館
第２回具体美術展［小原会館・東京、1956年］

56
吉田稔郎
作品
1955年
油彩／板
91.0×60.8cm
芦屋市立美術博物館
第２回具体美術展［小原会館・東京、1956年］

57
吉田稔郎
作品
1956年
油彩／板
60.7×45.5cm
芦屋市立美術博物館
具体美術小品展［三省堂画廊・東京、1956年］

58
吉原治良
作品A
1955年
白セメント／板
91.5×61.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第１回具体美術展［小原会館・東京、1955年］

59
吉原治良
作品
1956年
油彩／カンヴァス
53.2×45.7cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第２回具体美術展［小原会館・東京、1956年］

60
吉原治良
作品
1957年
油彩／カンヴァス
49.9×65.1cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第３回具体美術展［京都市美術館、1957年］

61
吉原通雄
作品
1955年
塗料／鉄
80.0×61.5×40.0cm
芦屋市立美術博物館
真夏の太陽にいどむ野外モダンアート実験展［芦屋公園、1955年］

62
吉原通雄
作品
1956年（1993年再制作）
油性インク、水彩／紙、合板
39.0×6.0cm（ロール状）
個人蔵
第２回具体美術展［小原会館・東京、1956年］

第３章
ミスターグタイ＝吉原治良

63
吉原治良
硝子壜の静物
1923年
油彩／カンヴァス
37.4×45.7cm
大阪市立近代美術館建設準備室

64
吉原治良
手とカード
1930年頃
油彩／カンヴァス
41.0×27.4cm
大阪市立近代美術館建設準備室

65
吉原治良
縄をまとう男
1931年［1931年-33年頃］
油彩／カンヴァス
99.5×80.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室
吉原治良油絵個人展覧会［紀伊國屋ギャラリー・東京、1934年］

66
吉原治良
図説
1934年
油彩／カンヴァス
158.8×133.5cm
東京都現代美術館
第24回二科展［東京府美術館、1937年］

67
吉原治良
作品A
1936年［1939-40年頃］
油彩／カンヴァス
116.5×91.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第２回九室会展［銀座三越・東京／朝日会館・大阪、1940年］

68
吉原治良
作品
1953年
油彩／カンヴァス
130.5×194.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第１回ゲンビ展［朝日会館・神戸、1953年］

第４章
「具体」から“GUTAI”へ 1957-1965年

69
上前智祐
絵画
1957年
油彩／カンヴァス
162.0×131.0×3.5cm
レ・ザバトワール（旧アンソニー・デニー・コレクション）、トゥールーズ
新しい絵画 世界展―アンフォルメルと具体―［なんば高島屋・大阪ほか、1958年］

70
上前智祐
作品
1958年
油彩、コラージュ／板
183.0×93.5cm
国立国際美術館

71
浮田要三
作品
1958年
油彩、紙、布／合板
169.0×165.0cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）

72
浮田要三
作品
1964年
油彩／布
91.0×117.0cm
芦屋市立美術博物館
具体美術新作展［グタイピナコテカ・大阪、1964年］

73
金山明
絵画
1959年
油彩／カンヴァス
142.9×109.0×3.2cm
レ・ザバトワール（旧アンソニー・デニー・コレクション）、トゥールーズ

74
金山明
WORK 1963
1963年
合成樹脂系絵具／麻布
224.0×179.5cm
宮城県美術館
第12回具体美術展［日本橋高島屋・東京、1963年］

75
嶋本昭三
絵画
1960年
ミクストメディア／カンヴァスに裏打ちされた厚紙
110.0×89.0cm
レ・ザバトワール（旧アンソニー・デニー・コレクション）、トゥールーズ

76
嶋本昭三
作品
1962年
油彩／綿布
217.5×198.0cm
北九州市立美術館
個展［グタイピナコテカ・大阪、1962年］

77
白髪一雄
無題
1959年
油彩／カンヴァス
182.0×273.8cm
豊田市美術館
第８回具体美術展［京都市美術館／小原会館・東京、1959年］

78
白髪一雄
天雄星豹子頭
1959年
油彩／カンヴァス
182.0×272.0cm
国立国際美術館
第８回具体美術展［京都市美術館／小原会館・東京、1959年］

79
白髪一雄
天暴星両頭蛇
1962年
油彩／カンヴァス
182.0×273.3cm
京都国立近代美術館
個展［グタイピナコテカ・大阪、1962年］

80
白髪富士子
作品No.1
1960年
油彩、和紙、ガラス／布
181.5×245.0cm
高松市美術館
第10回具体美術展［なんば高島屋・大阪／日本橋高島屋・東京、1961年］

81
田中敦子
作品
1958年
ラッカー／布
223.8×183.5cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）
第８回具体美術展［京都市美術館／小原会館・東京、1959年］

82
田中敦子
絵画
合成樹脂エナメル塗料／カンヴァス
93.5×64.0cm
レ・ザバトワール（旧アンソニー・デニー・コレクション）、トゥールーズ

83
田中敦子
絵画
1960年
合成樹脂エナメル塗料／カンヴァス
130.0×100.0cm
パオロ・ヴィセンティーニ、ミラノ
第12回プレミオ・リソーネ［家具会館・リソーネ、1961年］

84
名坂有子
作品
1964年
合成樹脂系絵具／合板、綿布
230.5×323.0×5.0cm
宮城県美術館
個展［グタイピナコテカ・大阪、1964年］

85
名坂有子
作品
1964年頃
合成樹脂系絵具／布
各116.0×80.5cm（８枚）
芦屋市立美術博物館
第14回具体美術展［なんば高島屋・大阪、1964年］

86
前川強
二つの合流
1960年
麻布、油彩／カンヴァス
162.1×130.3cm
個人蔵
第９回具体美術展［なんば高島屋・大阪、1960年］

87
前川強
かさねる
1962年
油彩／カンヴァス
180.0×150.0cm
個人蔵
第11回具体美術展［なんば高島屋・大阪、1962年］

88
前川強
ヨコの３つの線
1963年
麻布、油彩／カンヴァス
181.8×227.3cm
個人蔵
個展［グタイピナコテカ・大阪、1963年］

89
正延正俊
作品
1958年
油彩／カンヴァス
116.7×80.3cm
国立国際美術館
第８回具体美術展［京都市美術館／小原会館・東京、1959年］

90
正延正俊
絵画
1959年
油彩／カンヴァス
116.5×72.6cm
レ・ザバトワール（旧アンソニー・デニー・コレクション）、トゥールーズ

91
正延正俊
作品
1960年
油彩／カンヴァス
162.0×97.0cm
国立国際美術館
第10回具体美術展［なんば高島屋・大阪／日本橋高島屋・東京、1961年］

92
松谷武判
Work'65
1965年
ビニール、接着剤によるレリーフ、油彩、アクリル／カンヴァス、合板
182.2×142.6cm
兵庫県立美術館
個展［ダイワ画廊・神戸、1965年］

93
松谷武判
繁殖65-24
1965年
ビニール、接着剤によるレリーフ、油彩、アクリル／カンヴァス、合板
183.3×137.4cm
国立国際美術館

94
松谷武判
WORK 65-E
1965年
ビニール、接着剤によるレリーフ、油彩、アクリル／カンヴァス、合板
183.5×275.0cm
京都国立近代美術館

95
向井修二
無題
1961年
油彩、ミクストメディア／板
182.7×183.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第10回具体美術展［なんば高島屋・大阪／日本橋高島屋・東京、1961年］

96
向井修二
作品
1960年
油彩／板
183.6×136.8cm
個人蔵

97
向井修二
作品
1963年
油彩、ミクストメディア／板
226.0×181.5cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）
第13回具体美術展［なんば高島屋・大阪、1963年］

98
村上三郎
作品
1958年
アクリル／板
183.5×145.6cm
北九州市立美術館
第５回具体美術展［小原会館・東京、1958年］

99
村上三郎
作品
1962年
樹脂系絵具、石膏、接着剤／カンヴァス
212.5×138.5cm
大阪市立近代美術館建設準備室
グタイピナコテカ開館記念展［グタイピナコテカ・大阪、1962年］

100
元永定正
タピエ氏
1958年
アクリル／布
219.5×143.0cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）
新しい絵画 世界展―アンフォルメルと具体― ［なんば高島屋・大阪ほか、1958年］

101
元永定正
作品
1960年
油彩、アクリル／綿布
148.5×134.1cm
北九州市立美術館
第13回具体美術展［なんば高島屋・大阪、1963年］

102
元永定正
作品
1962年
アクリル／布、板
172.0×229.3cm
兵庫県立美術館（山村コレクション）

103
山崎つる子
Work
1960年
油彩、エナメル／カンヴァス
165.0×131.0cm
国立国際美術館
日本の連続性と前衛［国際美学研究所・トリノ、1961年］

104
吉田稔郎
絵画
1960年
油彩／カンヴァス
73.0×91.0cm
レ・ザバトワール（旧アンソニー・デニーコレクション）、トゥールーズ

105
吉田稔郎
SPRAY
1964年
油彩／布
182.0×273.0cm
高松市美術館
第14回具体美術展［なんば高島屋・大阪、1964年］

106
吉田治良
絵画
1959年
油彩／カンヴァス
92.0×73.0cm
レ・ザバトワール（旧アンソニー・デニーコレクション）、トゥールーズ

107
吉原治良
作品
1959年
油彩／カンヴァス
116.5×91.2cm
大阪市立近代美術館建設準備室
第10回具体美術展［なんば高島屋・大阪／日本橋高島屋・東京、1961年］

108
吉原治良
作品（UNTITLED）
1962年
油彩／カンヴァス
182.0×272.0cm
東京都現代美術館
グタイピナコテカ開館記念展［グタイピナコテカ・大阪、1962年］

109
吉原通雄
作品
1959年
石、砂／合板
89.0×155.0cm
東京都現代美術館
第12回芦屋市展［芦屋市立精道小学校、1959年］

第５章
新たな展開 1965-1971年

110
今井祝雄
作品
1965年
アクリル、ミクストメディア／布
179.5×137.5cm
芦屋市立美術博物館
第15回具体美術展［グタイピナコテカ・大阪、1965年］

111
今井祝雄
白のイベントⅡ
1965年
モーター、ラバー、木、アクリル
100.0×100.0×50.0cm
芦屋市立美術博物館
第16回具体美術展［新宿京王百貨店・東京、1965年］

112
今井祝雄
白のセレモニー・HOLES#6
1966年
アクリル／布、プラスチック型
122.5×171.5×18.0cm
兵庫県立美術館
個展［グタイピナコテカ・大阪、1966年］

113
今中クミ子
作品
1966年
アクリル樹脂
130.0×130.0×25.5cm
財団法人駒形十吉記念美術館（新潟県立近代美術館寄託）
第３回長岡現代美術館賞展［長岡現代美術館、1966年］

114
今中クミ子
赤と黄
1966年
油彩、ブリキ、発泡スチロール
130.0×130.0cm
国立国際美術館

115
小野田實
作品64-C
1964年
油彩、接着剤、樹脂／合板
91.5×91.5cm
個人蔵
第16回具体美術展［新宿京王百貨店・東京、1965年］

116
小野田實
作品64-H
1964年
油彩、接着剤、樹脂／合板
92.0×92.0cm
芦屋市立美術博物館
第16回具体美術展［新宿京王百貨店・東京、1965年］

117
小野田實
作品67-O
1967年
油彩、接着剤、樹脂／合板
93.0×93.0cm
個人蔵
第19回具体美術展［セントラル美術館・東京／グタイピナコテカ・大阪、1967年］

118
小野田實
作品68-R
1968年
油彩、接着剤、樹脂／合板
90.5×90.5cm
芦屋市立美術博物館

119
菅野聖子
《アルファからオメガまでⅠ》
1970年
アクリル／カンヴァス
170.1×170.1cm
宮城県美術館
第５回ジャパン・アートフェスティバル国内展示［東京国立近代美術館、1970年］

120
菅野聖子
《アルファからオメガまでⅡ》
1970年
アクリル／カンヴァス
170.1×170.1cm
宮城県美術館

121
聴濤襄治
WORK1-5-66
1966年
ナイロンフィルム、テグス、アクリル／木
150.0×150.0×14.2cm
兵庫県立美術館
〈空間から環境へ〉展［銀座松屋・東京、1966年］

122
聴濤襄治
WORK2-7-68
1968年
銅版、水銀灯、モーター、アクリル
180.0×45.0×45.0cm
芦屋市立美術博物館

123
喜谷繁暉
トルソ６
1965年
油彩、木綿、布
97.2×116.9×25.0cm
兵庫県立美術館
第16回具体美術展［新宿京王百貨店・東京、1965年］

124
喜谷繁暉
トルソ12
1966年
油彩、木綿、布
91.0×116.4×20.0cm
個人蔵

125
木梨アイネ
青符定量記譜法によるオルゲンプンクト（A）
1964年
油彩、アクリル／カンヴァス
162.0×131.0cm
芦屋市立美術博物館
現代美術の動向―絵画と彫塑― ［国立近代美術館・京都分館、1964年］

126
坂本昌也
作品
1965年
アクリル、樹脂、布／板
185.0×135.0cm
芦屋市立美術博物館
第15回具体美術展［グタイピナコテカ・大阪、1965年］

127
嶋本昭三
作品
1965年
塗料／布
160.0×196.0cm
個人蔵

129
田井智
WORK
1966年
アクリル、布／板
130.5×162.0cm
芦屋市立美術博物館

130
田井智
WORK
1966年
アクリル、布／板
130.0×162.0cm
芦屋市立美術博物館

131
高崎元尚
装置
1966年
麻布、アクリル／板
180.0×180.0cm
北九州市立美術館

132
高崎元尚
装置
1966年（2003年再制作）
水性塗料、布、合板
270.0×190.0×180.0cm
兵庫県立美術館
第17回具体美術展［高島屋・横浜／グタイピナコテカ・大阪、1966年］

133
田中竜児
景
1965年頃
岩絵具、アクリル、顔料、合成樹脂／布
162.5×130.3cm
兵庫県立美術館
第16回具体美術展［新宿京王百貨店・東京、1965年］

134
坪内晃幸
作品
1965年
色鉛筆、アクリル、合成樹脂、エナメル／布
162.1×130.3cm
兵庫県立美術館

135
猶原通正
作品A
1970年
混合技法／麻布
158.2×133.0cm
宮城県美術館
グタイグループ展示［日本万国博覧会みどり館／大阪、1970年］

136
名坂千吉郎
SERVO LINE 3
1967年
プラスチック塗料、鉄板、木
233.5×160.0cm
芦屋市立美術博物館
第18回具体美術展［グタイピナコテカ・大阪、1967年］

137
名坂千吉郎
作品
1970年
ステンレス
65.5×100.5×6.0cm
宮城県美術館

138
堀尾昭子
作品
1967年（1978年再制作）
水性塗料／紙、合板
126.2×56.0×30.0cm
宮城県美術館
第19回具体美術展［セントラル美術館・東京／グタイピナコテカ・大阪、1967年］

139
堀尾昭子
作品
1967年（1978年再制作）
水性塗料／紙、合板
111.2×71.2×20.2cm
宮城県美術館
第19回具体美術展［セントラル美術館・東京／グタイピナコテカ・大阪、1967年］

140
堀尾貞治
作品
1967年
アクリル／石膏、布
167.0×167.0×11.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室
個展［グタイピナコテカ・大阪、1968年］

141
堀尾貞治
作品 3
1968年
アクリル、コラージュ／麻布
171.3×171.5×7.5cm
北九州市立美術館

143
松田豊
SYU-P.P.P
1967年
ミクストメディア
123.0×123.0cm
京都国立近代美術館
現代美術の動向［京都国立近代美術館、1967年］

144
松田豊
CRU-CHO
1969年
振り子、モーター、パネル
123.0×123.0cm
大阪市立近代美術館建設準備室

145
元永定正
作品 Funny 79
1967年
アクリル／カンヴァス
213.5×274.5cm
三重県立美術館
第20回具体美術展［グタイピナコテカ・大阪、1968年］

146
森内敬子
作品
1968年（2012年再制作）
布、綿布
各60.0×50.0×10.0cm（108個）
個人蔵
具体美術新人展［グタイピナコテカ・大阪、1968年］

147
吉田稔郎
作品
1965年
ウレタンフォーム／布
160.0×160.0cm
芦屋市立美術博物館
第16回具体美術展［新宿京王百貨店・東京、1965年］

148
ヨシダ ミノル
Just Curve'67 12 Polycycle
1967年
ステンレス、プレクシグラス、蛍光灯、モーターほか
50.0×90.0×70.0cm
個人蔵

149
ヨシダ ミノル
Just Curve'67 Cosmoplastic
1967年
ステンレス、プレクシグラス、蛍光灯、モーターほか
175.0×270.0×150.0cm
高松市美術館
第18回具体美術展［グタイピナコテカ・大阪、1967年］

150
ヨシダ・ミノル
Bisexual Flower
1970年
プレクシグラス、蛍光灯、モーターほか
380.0×192.0×175.0cm
個人蔵
グタイグループ展示［日本万国博覧会みどり館・大阪、1970年］

151
吉原治良
黒地に赤い円
1965年
アクリル／布
181.5×227.0cm
兵庫県立美術館
個展［グタイピナコテカ・大阪、1970年］

第 6 章
エピローグ 1972年

152
吉原治良
作品
1972年
油彩／カンヴァス
45.0×52.8cm
個人蔵

与えられた形象
―辰野登恵子／柴田敏雄
出品リスト

［凡例］
作品番号
作品名
制作年
技法／材質
サイズ
所蔵

辰野登恵子　出品リスト

Ⅰ　1980年代

1
WORK 81-P-23
1981年
油彩／カンヴァス
162.0×130.0cm
作家蔵

2
WORK 83-P-2
1983年
油彩／カンヴァス
182.0×227.0cm
作家蔵

3
WORK 83-P-4
1983年
油彩／カンヴァス
162.0×110.0cm
作家蔵

4
WORK 84-P-1
1984年
油彩／カンヴァス
194.0×130.0cm
東京国立近代美術館蔵

5
WORK 84-P-7
1984年
油彩／カンヴァス
259.0×194.0cm
いわき市立美術館蔵

6
WORK 84-P-8
1984年
アクリリック／カンヴァス
259.0×194.0cm
いわき市立美術館蔵

7
WORK 85-P-5
1985年
アクリリック／カンヴァス
227.0×183.0cm
国立国際美術館蔵

8
WORK 86-P-14
1986年
油彩／カンヴァス
227.0×182.0cm
千葉市美術館蔵

9
WORK 86-P-16
1986年
油彩／カンヴァス
227.0×182.0cm
辻和彦氏蔵

10
WORK 87-P-10
1987年
油彩／カンヴァス
248.5×333.3cm
辻和彦氏蔵

11
WORK 87-P-21
1987年
油彩／カンヴァス
227.3×182.0cm
辻和彦氏蔵

12
WORK 87-P-24
1987年
油彩／カンヴァス
227.0×182.0cm
辻和彦氏蔵

13
WORK 88-P-4
1988年
アクリリック／カンヴァス
259.0×193.8cm
宇都宮美術館蔵

14
WORK 88-P-6
1988年
油彩／カンヴァス
259.0×194.0cm
辻和彦氏蔵

15
WORK 90-P-8
1990年
油彩／カンヴァス
227.3×182.0cm
財団法人セゾン現代美術館蔵

16
UNTITLED 90-15
1990年
油彩／カンヴァス
259.0×194.0cm
辻和彦氏蔵

Ⅱ　円と丸から

17
WORK 86-P-1
1986年
アクリリック／カンヴァス
218.0×291.0cm
作家蔵

18
WORK 86-P-3
1986年
アクリリック／カンヴァス
218.0×291.0cm
作家蔵

19
WORK 86-P-4
1986年
アクリリック／カンヴァス
227.0×182.0cm
辻和彦氏蔵

20
WORK 86-P-7
1986年
アクリリック／カンヴァス
218.0×291.0cm
作家蔵

21
WORK 88-P-3
1988年
アクリリック／カンヴァス
227.3×182.0cm
辻和彦氏蔵

22
UNTITLED 90-14
1990年
アクリリック／カンヴァス
218.0×291.0cm
東京都現代美術館蔵

23
UNTITLED 90-16
1990年
アクリリック／カンヴァス
227.0×182.0cm
芦森工業株式会社蔵

24
UNTITLED 94-8
1994年
油彩／カンヴァス
218.0×291.0cm
作家蔵

25
UNTITLED 94-13
1994年
油彩／カンヴァス
291.0×218.0cm
辻和彦氏蔵

Ⅲ　1970年代

26
WORK 77-16-2
1977年
鉛筆、色鉛筆／紙
70.0×100.0cm
作家蔵

27
WORK 78-16-1
1978年
シルクスクリーン、色鉛筆／紙
70.0×100.0cm
作家蔵

28
WORK 78-9-29
1978年
色鉛筆、水彩／紙
100.0×70.0cm
作家蔵

29
WORK 78-17-7
1978年
色鉛筆、グワッシュ／紙
100.0×70.0cm
作家蔵

30
WORK 79-D-1
1979年
シルクスクリーン、色鉛筆／紙
70.0×100.0cm
作家蔵

31
WORK 78-P-2
1978年
アクリリック／カンヴァス
130.0×162.0cm
作家蔵

32
WORK 78-P-5
1978年
色鉛筆、アクリリック／カンヴァス
130.0×162.0cm
作家蔵

33
WORK 79-P-15
1979年
油彩／カンヴァス
194.0×260.0cm、２枚組
いわき市立美術館蔵

34
WORK 80-P-17
1980年
油彩／カンヴァス
162.0×130.0cm
作家蔵

35
WORK 80-P-19
1980年
油彩／カンヴァス
182.0×227.0cm
作家蔵

Ⅳ　1990年代

36
UNTITLED 94-3
1994年
アクリリック／カンヴァス
227.0×182.0cm
作家蔵

37
UNTITLED 94-4
1994年
アクリリック／カンヴァス
227.0×182.0cm
作家蔵

38
UNTITLED 95-1
1995年
油彩／カンヴァス
291.0×238.0cm
愛知県美術館蔵

39
UNTITLED 95-9
1995年
アクリリック／カンヴァス
194.0×194.0cm
東京国立近代美術館蔵

40
UNTITLED 96-3
1996年
油彩／カンヴァス
227.3×181.7cm
横浜美術館蔵

41
UNTITLED 97-1
1997年
油彩／カンヴァス
194.0×194.0cm
作家蔵

42
UNTITLED 97-4
1997年
油彩／カンヴァス
218.0×291.0cm
原美術館蔵

43
UNTITLED 97-5
1997年
油彩／カンヴァス
291.0×218.0cm
高知県立美術館蔵

44
March-3-98
1998年
油彩／カンヴァス
291.0×218.0cm
作家蔵

45
Dec-19-1999
1999年
油彩／カンヴァス
130.0×162.0cm
辻和彦氏蔵

Ⅴ　2000年代

46
Jan-18-2001
2001年
油彩／カンヴァス
194.0×194.0cm
作家蔵

47
TWIN COLORS（Aug-3-2002）
2002年
油彩／カンヴァス
193.0×162.5cm
作家蔵

48
TWIN COLORS（June-12-2003）
2003年
油彩／カンヴァス
218.2×291.0cm
作家蔵

49
Aug-2-2003
2003年
油彩／カンヴァス
291.0×218.0cm
作家蔵

50
4 and 5（March-21-2004）
2004年
油彩／カンヴァス
291.0×218.2cm
資生堂アートハウス蔵

51
Red Line・Blue Line
2004年
油彩／カンヴァス
218.2×291.0cm
国立国際美術館蔵

52
Feb-9-2007
2007年
油彩／カンヴァス
227.0×182.0cm
辻和彦氏蔵

53
TWINS
2008-2009年
油彩／カンヴァス
291.0×218.0cm
作家蔵

54
室内
2010年
油彩／カンヴァス
194.0×194.0cm
作家蔵
協力：BLD GALLERY

55
Emerald 1/2
2010年
油彩／カンヴァス
227.0×182.0cm
辻和彦氏蔵

56
ばらいろの前方　後方
2011年
油彩／カンヴァス
248.5×333.3cm
作家蔵

Ⅵ　版画

57
UNTITLED-26
1974年
シルクスクリーン／紙
107.0×68.0cm
千葉市美術館蔵

58
UNTITLED-27
1974年
シルクスクリーン／紙
107.0×70.0cm
千葉市美術館蔵

59
WORK K-42
1976年
シルクスクリーン／紙
67.5×99.0cm
作家蔵

60
Red, Green
1977年
シルクスクリーン／紙
74.0×108.0cm
作家蔵

61
WORK 77-4
1977年
シルクスクリーン／紙
70.0×100.0cm
作家蔵

62
May-19-89
1989年
シルクスクリーン／紙
76.0×56.0cm
作家蔵

63
May-21-91
1991年
リトグラフ／紙
130.0×190.0cm
三鷹市美術ギャラリー蔵

64
Aug.-Oct. 1992（Ⅰ-Ⅵ）-Ⅲ
1992年
エッチング、アクアチント／紙
72.0×57.0（50.0×40.0）cm
作家蔵

65
Aug.-Oct. 1992（Ⅰ-Ⅵ）-Ⅵ
1992年
エッチング、アクアチント／紙
57.0×72.0（40.0×50.0）cm
作家蔵

66
Nov-23-93
1993年
エッチング／紙
95.0×75.0（74.5×51.5）cm
作家蔵

67
Dec-17-93
1993年
エッチング／紙
95.0×75.0（76.0×56.4）cm
作家蔵

68
April-1-1995
1995年
木版／紙
56.0×76.0（49.6×62.0）cm
作家蔵

69
May-6-1995
1995年
リトグラフ／紙
76.0×56.0cm
作家蔵

70
June-19-96
1996年
エッチング、アクアチント／紙
82.5×75.0（60.5×60.5）cm
作家蔵

71
July-2-96
1996年
エッチング、アクアチント／紙
82.5×75.0（60.5×60.5）cm
作家蔵

72
July-16-96
1996年
エッチング、アクアチント／紙
82.5×75.0（60.5×60.5）cm
作家蔵

73
AIWIP-3
2011年
リトグラフ／紙
66.0×52.0cm
作家蔵

74
AIWIP-5
2011年
リトグラフ／紙
81.0×60.0（70.0×53.5）cm
作家蔵

75
AIWIP-17
2011年
リトグラフ／紙
60.0×77.0（48.0×59.0）cm
作家蔵

76
AIWIP-19
2011年
リトグラフ／紙
95.0×67.0（80.0×59.0）cm
作家蔵

Ⅶ　新作

77
リトグラフAIWIP- 8 の為の下絵
2011年
油彩、木炭、パステル／紙
57.0×76.7cm
作家蔵

78
AIWIP-20
2012年
リトグラフ／紙
50.0×66.0cm
作家蔵

79
AIWIP-21
2012年
リトグラフ／紙
65.4×48.2cm
作家蔵

80
AIWIP-22
2012年
リトグラフ／紙
79.5×61.0cm
作家蔵

81
AIWIP-23
2012年
リトグラフ／紙
65.0×51.0cm
作家蔵

82
AIWIP-24
2012年
リトグラフ／紙
49.0×65.5cm
作家蔵

83
AIWIP-25
2012年
リトグラフ／紙
69.3×87.0cm
作家蔵

84
AIWIP-26
2012年
リトグラフ／紙
20.1×38.0cm
作家蔵

85
AIWIP-27
2012年
リトグラフ／紙
73.0×56.3cm
作家蔵

86
AIWIP-28
2012年
リトグラフ／紙
49.3×65.5cm
作家蔵

87
望まれる領域 Ⅰ
2012年
油彩／カンヴァス
162.0×130.0cm
作家蔵

88
望まれる領域 Ⅱ
2012年
油彩／カンヴァス
162.0×130.0cm
作家蔵

初期作品

89
自画像 1967
1967年
油彩／カンヴァス
116.5×91.0cm
作家蔵

90
キューピットのある静物
1967年
油彩／カンヴァス
65.5×50.0cm
作家蔵

91
芸大音楽学部旧校舎
1969年
油彩／カンヴァス
72.5×90.0cm
作家蔵

92
Stones
1969年
油彩／カンヴァス
140.0×107.0cm
作家蔵

93
青年のふくろう
1970年
油彩／カンヴァス
72.7×60.6cm
作家蔵

94
二羽のふくろう
1970年
油彩／カンヴァス
65.2×53.0cm
作家蔵

95
無題
1970年
油彩／カンヴァス
60.6×50.0cm
作家蔵

96
無題
1970年
油彩／カンヴァス
130.3×97.0cm
作家蔵

97
灰色の抽象
1970年
油彩／カンヴァス
116.7×80.3cm
作家蔵

98
Self-portrait
1970年
アクリリック、シルクスクリーン／カンヴァス
170.0×91.8cm
作家蔵

99
無題
1970年
アクリリック、シルクスクリーン／カンヴァス
162.0×130.0cm
作家蔵

100
無題
1971年
アクリリック／カンヴァス
162.0×130.0cm
作家蔵

101
作品 Ⅱ
1972年
シルクスクリーン／紙
63.0×93.5cm
作家蔵

102
作品 Ⅲ
1972年
シルクスクリーン／紙
67.5×96.5cm
作家蔵

103
作品 Ⅳ
1972年
シルクスクリーン／紙
62.5×90.0cm
作家蔵

104
A Scene Ⅰ
1972年
アクリリック／カンヴァス
130.0×162.0cm
作家蔵

105
A Scene Ⅱ
1973年
アクリリック／カンヴァス
130.0×162.0cm
作家蔵

106
作品 73-3
1973年
シルクスクリーン／紙
91.0×62.0cm
作家蔵

柴田敏雄　出品リスト

Ⅰ　日本典型

1
北海道天塩郡雄信内
1988年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
川崎市市民ミュージアム蔵

2
栃木県黒磯市
1989年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
(株)朝日新聞出版寄託　川崎市市民ミュージアム蔵　木村伊兵衛写真賞受賞作品

3
宮崎県西都市
1990年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
(株)朝日新聞出版寄託　川崎市市民ミュージアム蔵　木村伊兵衛写真賞受賞作品

4
北海道上川郡トムラウシ
1988年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
(株)朝日新聞出版寄託　川崎市市民ミュージアム蔵　木村伊兵衛写真賞受賞作品

5
北海道瀬棚郡
1988年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
川崎市市民ミュージアム蔵

6
群馬県勢多郡東村
1989年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
川崎市市民ミュージアム蔵

7
栃木県上都賀郡粟野町上粕尾
1988年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
川崎市市民ミュージアム蔵

8
静岡県静岡市
1988年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
川崎市市民ミュージアム蔵

9
栃木県塩谷郡栗山村
1988年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
川崎市市民ミュージアム蔵

10
群馬県勢多郡東村
1989年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
川崎市市民ミュージアム蔵

11
栃木県上都賀郡粟野町上粕尾
1988年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
川崎市市民ミュージアム蔵

12
宮崎県東臼杵郡椎葉村
1990年
ゼラチン・シルバー・プリント
81.3×101.6cm
川崎市市民ミュージアム蔵

13
福島県相馬郡鹿島町
1990年
ゼラチン・シルバー・プリント
114.3×91.4cm
東京都写真美術館蔵

14
福島県南会津郡田島町
1989年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
作家蔵

Ⅱ　シカゴ現代美術館の25点

15
グランドクーリー・ダム、ワシントン州ダグラス郡
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

16
グランドクーリー・ダム、ワシントン州ダグラス郡
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

17
グランドクーリー・ダム、ワシントン州ダグラス郡
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

18
ホルター・ダム、モンタナ州ヘレナ
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

19
ニムロッド・ダム、アリゾナ州ペリー郡
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

20
ホルター・ダム、モンタナ州ヘレナ
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

21
ギブソン・ダム、モンタナ州ルイスアンドクラーク郡
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

22
チェオア・ダム、タポコ、ノースカロライナ州グラハム郡
1997年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

23
ウィアー・ダム、テネシー州サリバン郡
1997年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

24
サウスホルストン・ダム、テネシー州サリバン郡
1997年
ゼラチン・シルバー・プリント
127.0×101.6cm
シカゴ現代美術館蔵

25
アローロック・ダム、アイダホ州ボイシー郡
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

26
ダイアブロ・ダム、ノースカスケード国立公園、ワシントン州
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

27
バートレット・ダム、アリゾナ州マリコパ郡
1997年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

28
ヘルズキャニオン・ダム、オレゴン州ワローワ郡
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
127.0×101.6cm
シカゴ現代美術館蔵

29
クーリッジ・ダム、サンカルロス、アリゾナ州
1997年
ゼラチン・シルバー・プリント
127.0×101.6cm
シカゴ現代美術館蔵

30
クラークキャニオン・ダム、モンタナ州ビーヴァーヘッド郡
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

31
グランドクーリー・ダム、ワシントン州ダグラス郡
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

32
ラフリン、ネヴァダ州クラーク郡
1997年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

33
ウォータートン・グレイシャー国立公園、モンタナ州
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

34
キングマン、アリゾナ州モハーヴェ郡
1997年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

35
ホースシュー・ダム、アリゾナ州マリコパ郡
1997年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

36
レイクジェームズ・ダム、ノースカロライナ州バーク郡
1997年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

37
ユーレカスプリングス、アーカンソー州キャロル郡
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

38
バークレイ・ピット、ビュート、モンタナ州
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

39
バックホーンレイク・ダム、ケンタッキー州ペリー郡
1997年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×127.0cm
シカゴ現代美術館蔵

Ⅲ　堰堤

40
山梨県東山梨郡大和村
1988年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

41
栃木県塩谷郡栗山村
1988年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

42
栃木県上都賀郡粟野町
1988年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
川崎市市民ミュージアム蔵

43
栃木県塩谷郡栗山村
1988年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

44
山梨県東山梨郡牧丘町
1988年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

45
岐阜県中津川市
1989年
ゼラチン・シルバー・プリント
40.6×50.8cm
川崎市市民ミュージアム蔵

46
静岡県賀茂郡賀茂村
1990年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

47
大分県下毛郡耶馬溪町
1990年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
川崎市市民ミュージアム蔵

48
岩手県胆沢郡胆沢町
1990年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

49
福島県大沼郡
1990年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

50
長野県木曽郡木祖村
1990年
ゼラチン・シルバー・プリント
40.6×50.8cm
川崎市市民ミュージアム蔵

51
秋田県秋田郡森吉町
1991年
ゼラチン・シルバー・プリント
40.6×50.8cm
川崎市市民ミュージアム蔵

52
秋田県秋田郡森吉町
1991年
ゼラチン・シルバー・プリント
40.6×50.8cm
川崎市市民ミュージアム蔵

53
神奈川県愛甲郡清川村
1991年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

54
神奈川県愛甲郡清川村
1991年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

55
山梨県塩山市
1991年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

56
高知県吾川郡吾北村
1992年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

57
埼玉県秩父郡大滝村
1994年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

58
北海道河東郡鹿追町
1994年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

59
福島県西白河郡西郷村
1995年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

60
新潟県南魚沼郡湯沢町
1995年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

61
長野県下伊那郡大鹿村
1995年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

62
神奈川県愛甲郡清川村
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

63
富山県上新川郡大山町
1997年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

64
山梨県北巨摩郡須玉町
2004年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

Ⅳ　アーカイヴス

『日本典型』1992年

65
新潟県北魚沼郡湯之谷村
1989年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

66
新潟県中魚沼郡津南町
1990年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6cm
作家蔵

67
福井県大野市
1990年
ゼラチン・シルバー・プリント
20.3×25.4cm
作家蔵

68
熊本県八代郡泉村
1991年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6cm
作家蔵

69
宮崎県東臼杵郡椎葉村
1991年
ゼラチン・シルバー・プリント
20.3×25.4cm
作家蔵

70
宮崎県東臼杵郡椎葉村
1991年
ゼラチン・シルバー・プリント
20.3×25.4cm
作家蔵

71
神奈川県愛甲郡清川村宮ヶ瀬
1983年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6cm
作家蔵

『テラ』1994年

72
神奈川県足柄下郡湯河原町
1993年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
個人蔵

73
北海道天塩郡雄信内
1988年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6cm
作家蔵

74
神奈川県足柄上郡松田町
1991年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6cm
作家蔵

75
山梨県北都留郡丹波山村
1994年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.9×35.6cm
作家蔵

76
東京都西多摩郡檜原村
1994年
ゼラチン・シルバー・プリント
35.6×27.9cm
作家蔵

『LANDSCAPE』1996年

77
群馬県北群馬郡小野上村
1994年
ゼラチン・シルバー・プリント
81.3×101.6cm
個人蔵

78
埼玉県児玉郡神泉村
1993年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

79
青森県中津軽郡西目屋村
1994年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

『VISIONS of JAPAN』1998年

80
静岡県榛原郡本川根町
1997年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
東京都写真美術館蔵

81
岐阜県郡上郡白鳥町
1995年
ゼラチン・シルバー・プリント
61.0×50.8cm
作家蔵

82
神奈川県足柄上郡山北町
1995年
ゼラチン・シルバー・プリント
61.0×50.8cm
作家蔵

『TYPE 55』2003年

83
埼玉県秩父市
2003年
ゼラチン・シルバー・プリント
101.6×81.3cm
個人蔵

84
和歌山県新宮市
2000年
ゼラチン・シルバー・プリント
12.7×10.2cm
作家蔵

85
セコイア国立公園、カリフォルニア州
2001年
ゼラチン・シルバー・プリント
12.7×10.2cm
作家蔵

86
ウィスキータウン・ダム、カリフォルニア州シャスタ郡
2001年
ゼラチン・シルバー・プリント
12.7×10.2cm
作家蔵

87
ベリエッサ湖、モンティチェロ・ダム、カリフォルニア州ナパ郡
2001年
ゼラチン・シルバー・プリント
12.7×10.2cm
作家蔵

88
長野県諏訪市
2003年
ゼラチン・シルバー・プリント
12.7×10.2cm
作家蔵

89
岐阜県大野郡宮村
2003年
ゼラチン・シルバー・プリント
12.7×10.2cm
作家蔵

『DAM』2004年

90
神奈川県愛甲郡清川村
1997年
ゼラチン・シルバー・プリント
91.4×114.3cm
作家蔵

91
岡山県川上郡備中町
2002年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

『LANDSCAPE 2』2008年

92
青森県平川市
2006年
Type-Cプリント
80.0×100.0cm
東京国立近代美術館蔵

93
高知県吾川郡仁淀川町
2007年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
辰野登恵子氏蔵

94
静岡県賀茂郡松崎町
2007年
Type-Cプリント
100.0×80.0cm
作家協力

『a View』2009年

95
長野県飯田市
2004年
ゼラチン・シルバー・プリント
61.0×76.2cm
作家蔵
協力：BLD GALLERY

96
高知県吾川郡いの町
2007年
ゼラチン・シルバー・プリント
61.0×76.2cm
作家蔵
協力：BLD GALLERY

『For Grey』2009年

97
鳥取県日野郡日野町
2009年
Type-Cプリント
80.0×100.0cm
東京国立近代美術館蔵

98
島根県浜田市
2009年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
横森美奈子氏蔵

99
山梨県甲州市
2009年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
東京国立近代美術館蔵

V　ナイト・フォト

100
横浜市根岸
1982年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
東京都写真美術館蔵

101
逗葉新道　逗葉トンネル
1982年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
東京都写真美術館蔵

102
逗子市　湘南道路料金所
1982年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
東京都写真美術館蔵

103
首都高速　川崎大師インター
1982年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
東京都写真美術館蔵

104
東名高速道路　牧の原サービスエリア
1986年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
東京都写真美術館蔵

105
東名高速道路　鮎沢パーキングエリア
1986年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
東京都写真美術館蔵

106
神奈川県横浜市　マリンタワー
1982年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

107
神奈川県横浜市磯子
1982年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

108
神奈川県横須賀市荒崎
1984年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

109
神奈川県平塚市
1984年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

110
常磐自動車道　守谷サービスエリア
1986年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

111
常磐自動車道　守谷サービスエリア
1986年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

112
常磐自動車道　友部サービスエリア
1986年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

113
東名高速道路　美合パーキングエリア
1986年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

114
東名高速道路　鮎沢パーキングエリア
1986年
ゼラチン・シルバー・プリント
50.8×61.0cm
作家蔵

115
神奈川県横浜市
1986年
ダイ・ディフュージョン・プリント
60.0×50.0cm
横浜美術館蔵
寄贈：日本ポラロイド株式会社

116
神奈川県横浜市
1986年
ダイ・ディフュージョン・プリント
60.0×50.0cm
個人蔵

117
神奈川県横浜市
1986年
ダイ・ディフュージョン・プリント
60.0×50.0cm
ギャラリー・アートアンリミテッド蔵

118
神奈川県横浜市
1986年
ダイ・ディフュージョン・プリント
60.0×50.0cm
ギャラリー・アートアンリミテッド蔵

119
神奈川県横浜市
1986年
ダイ・ディフュージョン・プリント
60.0×50.0cm
ギャラリー・アートアンリミテッド蔵

Ⅵ　三角形

120
長野県南佐久郡川上村
2003年
Type-Cプリント
80.0×100.0cm
東京国立近代美術館蔵

121
東京都西多摩郡奥多摩町
2006年
Type-Cプリント
80.0×100.0cm
東京都写真美術館蔵

122
高知県土佐郡大川村
2007年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
東京都写真美術館蔵

123
埼玉県秩父市
2007年
Type-Cプリント
80.0×100.0cm
東京国立近代美術館蔵

124
福島県南会津郡桧枝岐村
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
125.0×100.0cm
作家蔵

125
東京都西多摩郡檜原村
2009年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

126
北海道夕張市
2009年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

127
長野県伊那市
2009年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

128
福島県喜多方市
2009年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

129
佐賀県唐津市
2010年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

130
佐賀県唐津市
2010年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

131
大分県竹田市
2010年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

132
石川県加賀市
2010年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

133
新潟県岩船郡関川村
2010年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

134
福島県石川郡古殿町
2010年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

135
岐阜県高山市
2011年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

136
大分県竹田市
2011年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

137
高知県安芸郡安田町
2012年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

138
高知県土佐郡大川村
2012年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

139
高知県高岡郡梼原町
2012年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

140
山梨県北都留郡小菅村
1990年
ゼラチン・シルバー・プリント
100.0×125.0cm
作家協力

141
沖縄県国頭郡国頭村
1995年
ゼラチン・シルバー・プリント
100.0×125.0cm
作家協力

142
岡山県苫田郡富村
1995年
ゼラチン・シルバー・プリント
100.0×125.0cm
作家協力

143
広島県山県郡加計町
1995年
ゼラチン・シルバー・プリント
100.0×125.0cm
作家協力

144
神奈川県愛甲郡清川村
1996年
ゼラチン・シルバー・プリント
100.0×125.0cm
作家協力

145
群馬県群馬郡倉渕村
2004年
ゼラチン・シルバー・プリント
100.0×125.0cm
作家協力

Ⅶ　カラー

146
埼玉県飯能市
2006年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

147
群馬県甘楽郡下仁田町
2008年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

148
山梨県北杜市
2007年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
東京国立近代美術館蔵

149
北海道上川郡上川町
2009年
Type-Cプリント
80.0×100.0cm
東京国立近代美術館蔵

150
埼玉県秩父市
2006年
Type-Cプリント
100.0×80.0cm
東京都写真美術館蔵

151
愛媛県今治市
2007年
Type-Cプリント
80.0×100.0cm
東京都写真美術館蔵

152
青森県黒石市
2006年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
個人蔵

153
栃木県日光市
2008年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
個人蔵

154
岡山県真庭郡新庄村
2011年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
個人蔵

155
グランドクーリー・ダム、ワシントン州
ダグラス郡
2010年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
個人蔵

156
愛媛県松山市
2007年
Type-Cプリント
80.0×100.0cm
作家蔵
協力：Yoshiaki Inoue Gallery

157
佐賀県鳥栖市
2010年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家蔵
協力：BLD GALLERY

158
鹿児島県薩摩川内市
2010年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家蔵
協力：BLD GALLERY

159
新潟県岩船郡朝日村
2006年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

160
岩手県和賀郡西和賀町
2006年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

161
茨城県日立市十王町
2008年
Type-Cプリント
80.0×100.0cm
作家蔵

162
茨城県久慈郡大子町
2009年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

163
ワシントン州オカノガン郡
2010年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

164
愛知県北設楽郡豊根村
2011年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

165
高知県宿毛市
2012年
Type-Cプリント
100.0×125.0cm
作家協力

Ⅷ　新作

166
福島県河沼郡柳津町
2007年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

167
山梨県山梨市
2008年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

168
福島県河沼郡柳津町
2010年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

169
岐阜県揖斐郡揖斐川町
2010年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

170
新潟県中魚沼郡津南町
2010年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

171
石川県輪島市
2011年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

172
愛知県北設楽郡豊根村
2011年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

173
大分県玖珠郡玖珠町
2011年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

174
熊本県上益城郡美里町
2011年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

175
鹿児島県薩摩郡さつま町
2011年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

176
徳島県阿南市
2012年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

177
高知県安芸郡安田町
2012年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

178
高知県四万十市
2012年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

179
愛媛県西条市
2012年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

180
愛媛県新居浜市
2012年
Type-Cプリント
50.8×61.0cm
作家蔵

181
宮城県黒川郡大和町
2008年
Type-Cプリント
10.2×12.7cm
作家蔵

初期作品

182
Untitled
1967年(?)
油彩／カンヴァス
60.6×50.0cm
作家蔵

183
木曽福島風景
1968年
油彩／カンヴァス
50.0×60.6cm
作家蔵

184
Self-portrait
1968年
油彩／カンヴァス
60.6×45.5cm
作家蔵

185
Self-portrait
1969年(?)
油彩／カンヴァス
60.0×45.5cm
作家蔵

186
Untitled
1969年(?)
鉛筆／紙
39.3×54.5cm
作家蔵

187
Study
1970年
鉛筆／紙
55.0×39.8cm
作家蔵

188
Untitled
1971年
油彩／カンヴァス
112.0×162.0cm
作家蔵

189
AREA (red)
1971年
ラッカー／合板
90.0×90.0cm
作家蔵

190
AREA (blue)
1971年
ラッカー／合板
90.0×90.0cm
作家蔵

191
AREA (purple)
1971年
ラッカー／合板
90.0×90.0cm
作家蔵

192
AREA (yellow)
1971年
ラッカー／合板
90.0×90.0cm
作家蔵

193
Refrigerator
1971年
リトグラフ／紙
57.0×42.6cm
作家蔵

194
In the Room
1971年
リトグラフ／紙
45.0×60.0cm
作家蔵

195
In the Room
1972年
アクリリック／カンヴァス
91.0×116.7cm
作家蔵

196
Untitled
1972年
油彩／カンヴァス
194.0×162.0cm
作家蔵

197
Portrait of Yourself
1973年(?)
モデリングペースト、ジェッソ／麻布、パネル
89.0×70.7cm
作家蔵

198
Untitled
1973年(?)
シルクスクリーン／紙
47.8×72.9(46.6×71.5)cm
作家蔵

199
Surface Material
1974年
シルクスクリーン／紙
62.0×79.3(54.6×72.0)cm
作家蔵

200
New York Subway
1974年
木版／紙
45.5×53.4(39.2×48.5)cm
作家蔵

201
Untitled
1974年(?)
シルクスクリーン／紙
52.0×52.0(40.0×40.0)cm
作家蔵

202
Surface Material
1975年
シルクスクリーン／紙
49.2×50.9(43.3×45.0)cm
作家蔵

203
Untitled
1975年
シルクスクリーン／紙
63.2×44.2(55.0×37.0)cm
作家蔵

204
Untitled
1975年
シルクスクリーン／紙
63.2×44.3(55.0×37.0)cm
作家蔵

205
Untitled
1975年
シルクスクリーン／紙
35.4×54.6cm
作家蔵

鎌谷伸一、柴田敏雄、辰野登恵子
第2回COSMOS FACTORY展のためのポスター
1973年
シルクスクリーン／紙
36.1×76.7cm
辰野登恵子氏蔵

リヒテンシュタイン
華麗なる侯爵家の秘宝
出品リスト

［凡例］
出品番号
作家名
作品名
制作年－：注文を受けた年から作品を完成させた年までの期間を示す。
／：制作された期間を示す。
技法／材質
寸法
所蔵番号

＊出品作品はno.37、53、97、98の４点を除き、すべてリヒテンシュタイン侯爵家コレクションの所蔵品である。なお上記４点は同コレクションに寄託されている。

１章　リヒテンシュタイン侯爵家と美術コレクション

001
作者不詳、ウィーン
リヒテンシュタイン侯の宝冠と装身具
1756年
水彩、インク、鉛筆／羊皮紙
70×48cm
Inv. no. GR 360

002
フィリップ・ハインリヒ・ミュラー
ヨハン・アダム・アンドレアス・リヒテンシュタイン１世侯のメダル
1694年
金
直径7.2cm
Inv. no. ME 133

003
作者不詳
ヨハン・アダム・アンドレアス・リヒテンシュタイン１世侯の肖像
1730年
油彩／カンヴァス
103×78cm
Inv. no. GE 1470

004
イアサント・リゴー
金羊毛騎士団の正装をしたヨーゼフ・ヴェンツェル・リヒテンシュタイン侯の肖像
1740年
油彩／カンヴァス
81×65cm
Inv. no. GE 670

005
マッティン・ファン・マイテンス（工房）
女帝マリア・テレジアの肖像
18世紀第２・３四半期
油彩／カンヴァス
149×115cm
Inv. no. GE 1164

006
ヨハン・アダム・デルゼンバッハ
アイスグルップ城大厩舎の中庭
1720年頃
エッチング
21×31cm
Inv. no. GR 2202

007
ヨハン・アダム・デルゼンバッハ
アイスグルップ城大厩舎、左翼の屋内
1720年頃
エッチング
18×27cm
Inv. no. GR 2203

008
ヨハン・アダム・デルゼンバッハ
アイスグルップ城とバロック式庭園の景観
1721年
エングレーヴィング
31×47cm
Inv. no. GR 3194

009
原画：ザーロモン・クライナー
彫版：ヨハン・アウグスト・コルヴィーヌス
ヘレン通りの宮殿
18世紀前半
エングレーヴィング
31×42cm
Inv. no. GR 2204

010
原画：ザーロモン・クライナー
彫版：ヨハン・アウグスト・コルヴィーヌス
バンク通りの都市宮殿
1725年
エングレーヴィング
32×42cm
Inv. no. GR 3143

011
ヨハン・ベルンハルト・フィッシャー・フォン・エルラッハ
ロッサウの庭園に建つベルヴェデーレ
1721年
エッチング
29×40cm
Inv. no. GR 2199

012
原画：ザーロモン・クライナー
彫版：ヨハン・アウグスト・コルヴィーヌス
ロッサウの庭園に建つベルヴェデーレ
1737年
エングレーヴィング
33×47cm
Inv. no. GR 2194

013
原画：ヨーゼフ・エマヌエル・フィッシャー・フォン・エルラッハ
彫版：ビスホップ
ロッサウの夏の離宮、庭園、ベルヴェデーレ
1747年
エングレーヴィング
24×36cm
Inv. no. GR 3167

014
作者不詳
ロッサウの夏の離宮、庭園からの眺め
19世紀前半
エングレーヴィング、多色刷り
27×45cm
Inv. no. GR 2198

015
原画：ザーロモン・クライナー
彫版：ヨハン・アウグスト・コルヴィーヌス
ロッサウの夏の離宮、フュルステン通りに面した正面ファサード
18世紀前半
エングレーヴィング、多色刷り
30×44cm
Inv. no. GR 3158

016
原画：ラウレンツ・ヤンスハ
彫版：ヨハン・アンドレアス・ツィーグラー
ロッサウの夏の離宮、フュルステン通りに面した正面ファサード
1779/98年
エッチング
36×48cm
Inv. no. GR 2985

017
作者不詳、フェルディナント・ルンクに基づく模写
ロッサウの夏の離宮
19世紀前半
油彩／カンヴァス
53×77cm
Inv. no. GE 953

２章　名画ギャラリー

018
ラファエッロ・サンティ
男の肖像
1502/04年頃
油彩／板
48×37cm
Inv. no. GE 36

019
ヘルマン・ポステュムス
古代ローマの廃墟のある風景
1536年
油彩／カンヴァス
96×141cm
Inv. no. GE 740

020
ガロファロ（本名ベンヴェヌート・ティージ）
ヘラクレスの神格化
1539年頃
油彩／カンヴァス
86×116cm
Inv. no. GE 2136

021
クエンティン・マセイス
徴税吏たち
1501年以降
油彩／板
86×71cm
Inv. no. GE 2462

022
ルーカス・クラナッハ（父）
聖エウスタキウス
1515/20年
油彩／板
87×33cm
Inv. no. GE 1036

023
ハンス・フォン・アーヘン
狩りの後で休息するディアナとニンフたち
1602年頃
油彩／カンヴァス
195×125cm
Inv. no. GE 2418

024
グイド・レーニ
マグダラのマリア
17世紀前半
油彩／板
67×48cm
Inv. no. GE 10

025
クリストファーノ・アッローリ
ホロフェルネスの首を持つユディト
1613年
油彩／カンヴァス
141×117cm
Inv. no. GE 225

026
ジロラモ・フォラボスコ
ゴリアテの首を持つダヴィデ
1670年頃
油彩／カンヴァス
121×97cm
Inv. no. GE 38

027
チーロ・フェッリ
井戸端のキリストとサマリアの女
1670/80年
油彩／カンヴァス
71×53cm
Inv. no. GE 267

028
フランチェスコ・ソリメーナ
モーセの発見
1690年頃
油彩／カンヴァス
130×183cm
Inv. no. GE 2447

029
フランチェスコ・マジョット
バッカスとアリアドネ
1771年
油彩／カンヴァス
79×89cm
Inv. no. GE 2445

030
ルーカス・ファン・ファルケンボルフ
（ピーテル・ブリューゲルに倣う）
盲人の寓話
1568/97年
油彩／板で裏打ちしたカンヴァス
112×154cm
Inv. no. GE 1064

031
ヤン・ブリューゲル
若きトビアスのいる風景
1598年
油彩／銅板
36×55cm
Inv. no. GE 477

032
ピーテル・ブリューゲル２世（ピーテル・ブリューゲルに倣う）
ベツレヘムの人口調査
1607年頃
油彩／板
123×170cm
Inv. no. GE 720

033
ヤン・ブリューゲル２世（ピーテル・ブリューゲルに倣う）
死の勝利
1620年頃
油彩／カンヴァス
119×162cm
Inv. no. GE 1134

034
ペーテル・パウル・ルーベンス
聖母を花で飾る聖アンナ
1609/10年頃
油彩／板
64×49cm
Inv. no. GE 116

035
ペーテル・パウル・ルーベンス
ひげのある男
1612年頃
油彩／板
66×50cm
Inv. no. GE 113

036
ペーテル・パウル・ルーベンス
キリスト哀悼
1612年頃
油彩／カンヴァス
151×204cm
Inv. no. GE 62

037
ペーテル・パウル・ルーベンス
果物籠を持つサテュロスと召使いの娘
1615年頃
油彩／カンヴァス
113×71cm
ウィーン、シェーンボルン＝ブーフハイム・コレクション蔵
Inv. no. G 6

038
ペーテル・パウル・ルーベンス
クララ・セレーナ・ルーベンスの肖像
1616年頃
油彩／板で裏打ちしたカンヴァス
37×27cm
Inv. no. GE 105

039
ペーテル・パウル・ルーベンス
マルスとレア・シルヴィア
1616/17年頃
油彩／カンヴァス
208×272cm
Inv. no. GE 122

040
ペーテル・パウル・ルーベンス
メレアグロスとアタランテ、あるいはカリュドンの森（下絵）
1628年以前
油彩／板
24×62cm
Inv. no. GE 75

041
ペーテル・パウル・ルーベンス
ディアナの狩り（下絵）
1628年頃
油彩／板
24×62cm
Inv. no. GE 84

042
ペーテル・パウル・ルーベンス
占いの結果を問うデキウス・ムス─「デキウス・ムス」連作より
1616/17年
油彩／カンヴァス
294×412cm
Inv. no. GE 48

043
ペーテル・パウル・ルーベンス
勝利と美徳─「デキウス・ムス」連作より
1618年
油彩／カンヴァス
288×272cm
Inv. no. GE 78

044
彫版：アンドレアス・シュムッツァー／ヨーゼフ・シュムッツァー（ペーテル・パウル・ルーベンスに倣う）
夢の内容を告げるデキウス・ムス
1736/40年
エッチング、多色刷り（ア・ラ・プペ）
48×43cm
Inv. no. GR 2233

045
彫版：アンドレアス・シュムッツァー／ヨーゼフ・シュムッツァー（ペーテル・パウル・ルーベンスに倣う）
占いの結果を問うデキウス・ムス
1736/40年
エッチング、多色刷り（ア・ラ・プペ）
48×67cm
Inv. no. GR 2234

046
彫版：アンドレアス・シュムッツァー／ヨーゼフ・シュムッツァー（ペーテル・パウル・ルーベンスに倣う）
デキウス・ムスの聖別
1736/40年
エッチング、多色刷り（ア・ラ・プペ）
48×54cm
Inv. no. GR 2235

047
原画：ドメニコ・マイナルディ（ペーテル・パウル・ルーベンスに倣う）
彫版：グスタフ・アドルフ・ミュラー
部下を解任するデキウス・ムス
1736/67年
エッチング、多色刷り（ア・ラ・プペ）
49×58cm
Inv. no. GR 2236

048
原画：ドメニコ・マイナルディ（ペーテル・パウル・ルーベンスに倣う）
彫版：グスタフ・アドルフ・ミュラー
デキウス・ムスの死
1736/67年
エッチング、多色刷り（ア・ラ・プペ）
49×87cm
Inv. no. GR 2237

049
彫版：アダム・バルチュ（ペーテル・パウル・ルーベンスに倣う）
デキウス・ムスの葬礼
1794年
エッチング、多色刷り（ア・ラ・プペ）
49×87cm
Inv. no. GR 2238

050
ウィーンの磁器製作所（ペーテル・パウル・ルーベンスに倣う）
「占いの結果を問うデキウス・ムス」の陶板
1820/25年頃
磁器、金
32×42×4cm
Inv. no. PO 2104

051
アンソニー・ヴァン・ダイク
ナッサウ＝ジーゲン伯ヨハン８世の肖像
1626/27年頃
油彩／カンヴァス
204×122cm
Inv. no. GE 94

052
アンソニー・ヴァン・ダイク
マリア・デ・タシスの肖像
1629/30年頃
油彩／カンヴァス
129×93cm
Inv. no. GE 58

053
ヤン・ブークホルスト
アフリカの寓意─「四大陸」連作より
1650年頃
油彩／カンヴァス
134×116cm
ホーエンブーハウ・コレクション蔵
Inv. no. HB94

054
レンブラント・ハルメンスゾーン・ファン・レイン
キューピッドとしゃぼん玉
1634年
油彩／カンヴァス
75×93cm
Inv. no. GE 880

055
アドリアーン・ファン・オスターデ
納屋の農民の踊り
1635年
油彩／板、裏面に格子張り
60×94cm
Inv. no. GE 2433

056
フランス・ハルス
男の肖像
1650/52年頃
油彩／カンヴァス
108×80cm
Inv. no. GE 235

057
ヘラルト・ダウ
ヴァイオリン奏者
1653年
油彩／板
32×20cm
Inv. no. GE 150

058
ヘリット・アドリアーンスゾーン・ベルクヘイデ
ハールレムのマルクト広場、市庁舎のある眺め
1661年
油彩／板
61×85cm
Inv. no. GE 2395

059
ヤン・ダーフィッツゾーン・デ・ヘーム
蓋付き杯のある静物
17世紀
油彩／板
53×41cm
Inv. no. GE 2401

060
アレッサンドロ・マニャスコ
古代の廃墟の奇想（カプリッチョ）とバッカス祭
18世紀前半
油彩／カンヴァス
49×70cm
Inv. no. GE 2480

061
カナレット（本名アントニオ・カナル）
ヴェネツィアのサン・マルコ広場、鐘楼のある眺め
1723年以前
油彩／カンヴァス
75×97cm
Inv. no. GE 208

062
ジョヴァンニ・パオロ・パニーニ
古代ローマの傑出した遺跡と彫刻のある奇想（カプリッチョ）
1735年
油彩／カンヴァス
127×180cm
Inv. no. GE 2132

063
ポンペオ・ジロラモ・バトーニ
分かれ道のヘラクレス
1748年
油彩／裏打ちされていないカンヴァス
99×74cm
Inv. no. GE 161

064
エリザベート・ヴィジェ＝ルブラン
虹の女神イリスとしてのカロリーネ・リヒテンシュタイン侯爵夫人（旧姓マンデルシャイト女伯）
1793年
油彩／カンヴァス
222×159cm
Inv. no. GE 1787

065
フェルディナント・ゲオルク・ヴァルトミュラー
幼き日のオーストリア皇帝フランツ・ヨーゼフ１世、おもちゃの兵隊を従えた歩兵としての肖像
1832年
油彩／板
35×29cm
Inv. no. GE 1606

066
フリードリヒ・フォン・アメリング
夢に浸って
1835年頃
油彩／カンヴァス
55×45cm
Inv. no. GE 1125

067
フリードリヒ・フォン・アメリング
麦わら帽子の少女
1835年
油彩／カンヴァス
58×46cm
Inv. no. GE 2455

068
フリードリヒ・フォン・アメリング
マリー・フランツィスカ・リヒテンシュタイン侯女 ２歳の肖像
1836年
油彩／厚紙
33×27cm
Inv. no. GE 2314

069
フランチェスコ・アイエツ
復讐の誓い
1851年
油彩／カンヴァス
237×178cm
Inv. no. GE 1642

070
フリードリヒ・ガウアーマン
干し草車
1837年
油彩／裏打ちされていないカンヴァス
81×97cm
Inv. no. GE 2103

071
フェルディナント・ゲオルク・ヴァルトミュラー
磁器の花瓶の花、燭台、銀器
1843年
油彩／板
47×38cm
Inv. no. GE 2460

3章　クンストカンマー：美と技の部屋

072
作者不詳、おそらくケルンの「鎹(かすがい)のマイスター」
銀装飾の水晶のゴブレット
1560/70年頃
水晶、銀の装飾、鍍金
高さ36cm
Inv. no. SI 264

073
ウルリヒ・シェーンマッヒャー
洗礼の水差しと水盤
1570/75年
銀、鍍金
高さ49cm
Inv. no. SI 258

074
作者不詳
イギリス様式の銀装飾を施した中国磁器「クラーク＝ケンディ」
磁器：中国、明、万暦年間（1573-1620年）
装飾：1600年頃
磁器：染付
装飾：銀
高さ25cm
Inv. no. PO 2531

075
ヨアヒム・フリース
ぜんまい仕掛けの酒器（牡鹿に乗るディアナ）
1610/12年
銀、鋳造、打出し細工、彫金、鍍金（部分）、コールドエナメルによる彩色装飾（部分）／可動式
15×10×7cm
Inv. no. SI 261

076
コジモ・ディ・ジョヴァンニ・カストルッチ／オッタヴィオ・ミゼローニ／ジュリアーノ・ディ・ピエロ・パンドルフィーニ（工房）
貴石象嵌のチェスト
1620/23年頃
貴石象嵌細工、ガーネット、鍍金を施したブロンズ、黒檀
56×88×49cm
Inv. no. SK 599

077
ディオニシオ・ミゼローニ
カール・オイゼビウス・リヒテンシュタイン侯の葉文様入り蓋付き壺
1639年
装飾：ウィーン、1810年
煙水晶、鍍金を施したブロンズと銀の装飾、七宝（部分）
38×30×12cm
Inv. no. SK 310

078
マティアス・ラウフミラー
豪華なジョッキ
1676年
象牙
高さ35cm
Inv. no. SK 326

079
ヨハン・アンドレアス・テーロト
万年暦
1705年頃
銀、鍍金（部分）、真珠母貝、べっ甲
58×47cm
Inv. no. SK 1589

080
ヨハン・ゲオルク・ハン
スープ用深皿と受皿
1794年
銀
28×44×28cm
Inv. no. SI 259

4章　バロックの世界

081
マルカントニオ・フランチェスキーニ
アドニスの死
1692年以降
油彩／カンヴァス
175×210cm
Inv. no. GE 6

082
マルカントニオ・フランチェスキーニ
死せるアドニスの変身
1692年頃
油彩／カンヴァス
175×209cm
Inv. no. GE 4

083
マルカントニオ・フランチェスキーニ
アポロンとディアナの誕生
1692/98年
油彩／カンヴァス
175×210cm
Inv. no. GE 29

084
マルカントニオ・フランチェスキーニ
大蛇ピュトンを殺すアポロンとディアナ
1692/98年
油彩／カンヴァス
176×209cm
Inv. no. GE 1

085
マルカントニオ・フランチェスキーニ
井戸端のヤコブとラケル
1693/94年
油彩／カンヴァス
119×169cm
Inv. no. GE 252

086
アントニオ・ベルッチ
占星術の寓意
1700年頃
油彩／カンヴァス（天井画）
294×212cm
Inv. no. GE 1074

087
アントニオ・ベルッチ
彫刻の寓意
1700年頃
油彩／カンヴァス（天井画）
294×212cm
Inv. no. GE 1077

088
アントニオ・ベルッチ
絵画の寓意
1700年頃
油彩／カンヴァス（天井画）
294×212cm
Inv. no. GE 1078

089
アントニオ・ベルッチ
音楽の寓意
1700年頃
油彩／カンヴァス（天井画）
294×212cm
Inv. no. GE 1079

090
フランチェスコ・デル・カイロ
ルクレティア
1635/40年頃
油彩／カンヴァス
64×51cm
Inv. no. GE 231

091
アンドレア・プロカッチーニ
音楽を奏でる三人の天使
1720年以前
油彩／カンヴァス
201×149cm
Inv. no. GE 222

092
アダム・デ・コーテル
三人の歌い手
17世紀前半
油彩／カンヴァス
117×92cm
Inv. no. GE 955

093
アダム・ウィラールト
嵐の海と難破船
1633年
油彩／板
57×90cm
Inv. no. GE 828

094
アブラハム・ブルマールト
メルクリウスとアルゴスとイオ
1645年
油彩／カンヴァス
79×104cm
Inv. no. GE 349

095
ダニエル・スヘリンクス
浅瀬を渡る狩りの一団のいる河岸の風景
17世紀第3四半期
油彩／カンヴァス
108×146cm
Inv. no. GE 1408

096
イサーク・デ・マウヘロン
泉のある宮殿の庭園
1730年頃
油彩／カンヴァス
98×115cm
Inv. no. GE 1066

097
フランス・スネイデルス
果物、狩りの獲物、野菜、猿、リス、猫のいる静物
1630年頃
油彩／カンヴァス
81×118cm
ホーエンブーハウ・コレクション蔵
Inv. no. HB 87

098
ヨーリス・ファン・ソン
倒れた水差しのある豪華な静物
1650年頃
油彩／カンヴァス
80×117cm
ホーエンブーハウ・コレクション蔵
Inv. no. HB 20

099
ヤン・ファン・ハイスム
テラコッタの花瓶の花
18世紀前半
油彩／板
80×61cm
Inv. no. GE 2473

100
フランツ・ヴェルナー・タム
花瓶の花
1700年頃
油彩／カンヴァス
66×49cm
Inv. no. GE 1201

101
ヨハン・クペズキー（帰属）
ヨハン・アダム・アンドレアス・リヒテンシュタイン1世侯の娘、マリー・エリーザベト侯女とマリー・アントーニア侯女
1700年頃
油彩／カンヴァス
225×152cm
Inv. no. GE 1175

102
ヨハン・ゲオルク・プラッツァー
彫刻家のアトリエ
1739年以前
油彩／銅板
38×55cm
Inv. no. GE 2142

103
ヨハン・ゲオルク・プラッツァー
自画像のある画家のアトリエ
1739年以前
油彩／銅板
38×54cm
Inv. no. GE 2143

104
L.デ・ウィッテ
風景を背にした軽騎兵の軍服姿のザーロモン・アラピーと葦毛の雄馬
18世紀前半
油彩／銅板
54×68cm
Inv. no. GE 2137

105
L.デ・ウィッテ
風景を背にした馬丁と黒斑の雄馬
18世紀前半
油彩／銅板
53×68cm
Inv. no. GE 2138

106
アンドレア・マンテーニャ
マルシュアス、または聖セバスティアヌス
15世紀
ブロンズ、鍍金
35×16×10cm
Inv. no. SK 18

107
フィリッポ・パローディ
悪徳の寓意
1684/94年頃
大理石
76×60×36cm
Inv. no. SK 11

108
フィリッポ・パローディ
美徳の寓意
1684/94年頃
大理石、金（部分）
高さ78cm
Inv. no. SK 15

109
ジャコモ・アントニオ・ポンゾネッリ
マルスの胸像
1695/1700年頃
大理石
69×70cm
Inv. no. SK 9

110
マッシミリアーノ・ソルダーニ＝ベンツィ
踊るファウヌス
1695-97年
ブロンズ、赤褐色の色付け
139×80×50cm
Inv. no. SK 541

111
マッシミリアーノ・ソルダーニ＝ベンツィ
メディチ家のヴィーナス
1699-1702年
ブロンズ、赤褐色の色付け
158×50×48cm
Inv. no. SK 537

112
マッシミリアーノ・ソルダーニ＝ベンツィ
若きマルクス・アウレリウスの胸像
1707年以降
ブロンズ、赤褐色の色付け
36×32×17cm
Inv. no. SK 523

113
フランツ・クサファー・メッサーシュミット
ヨーゼフ・ヴェンツェル・リヒテンシュタイン侯の胸像
1770年頃
鉛と錫の合金、銀鍍金、黒大理石
38×27×23cm
Inv. no. SK 1480

114
ヨッセ・デ・フォスの工房、ブリュッセル
商人のいる庭園の集い―「田園の労働と歓び」連作より
1690年頃
羊毛、絹
337×340cm
Inv. no. TA 50

115
ヨッセ・デ・フォスの工房、ブリュッセル
収穫―「田園の労働と歓び」連作より
1690年頃
羊毛、絹
337×487cm
Inv. no. TA 52

116
ジャン・バラバン２世の工房、ベルリン
茶会―「ムガル大帝」連作より
1715年頃
羊毛、絹
319×315cm
Inv. no. TA 152

117
ジャン・バラバン２世の工房、ベルリン
ムガル大帝に謁見する学者―「ムガル大帝」連作より
1715年頃
羊毛、絹
319×245cm
Inv. no. TA 153

118
作者不詳、フィレンツェ
貴石象嵌のテーブルトップ
17世紀
貴石象嵌細工
64×108cm
Inv. no. SK 1403

119
ジョヴァンニ・ジュリアーニ
貴石象嵌のテーブルトップ用の脚
1711年
シナノキ、金、銀
82×103×63cm
Inv. no. MO 1567

120
作者不詳、ローマ
コンソール・テーブル
17世紀後半
木、彫刻、金、大理石、シチリア産碧玉
92×187×86cm
Inv. no. MO 2288

121
作者不詳、ボローニャ
コンソール・テーブル
1720/30年
シナノキ、針葉樹、金、大理石
92×184×74cm
Inv. no. MO 908

122
作者不詳
コンソール・テーブル
1720/30年、または19世紀
木、金、大理石
84×114×58cm
Inv. no. MO 1570

123
作者不詳、ウィーン
コンソール・テーブル
1725/30年頃
シナノキに付彩、暗赤色の粘土に金（部分的に研磨・艶出し）、大理石、金属
76×82×65cm
Inv. no. MO 1716

124
作者不詳、アウクスブルク
キャビネット
1650/60年頃
木、象牙、鍍金を施した真鍮
63×69×40cm
Inv. no. MO 317

125
作者不詳、パリ
書き物机（マザラン机）
1680/90年頃
黒檀、さまざまな外来の木材による象嵌、着色（部分）、銀線・マラカイトによる象嵌装飾、金（部分）
80×125×75cm
Inv. no. MO 256

126
ルートヴィヒ・ハインリヒ・ローデ
書き物机
1725/26年頃
黒ウォールナット、瘤杢のカバの板（？）、黒檀、マホガニー、化粧張り、研磨、針葉樹材、革、ガラス、真鍮
197×104×73cm
Inv. no. MO 82

127
ピエトロ・ピッフェッティ
引出し付きチェスト
1740年頃
木、象牙、銀鍍金を施した銅、鍍金を施したブロンズ
90×139×75cm
Inv. no. MO 892

128
作者不詳、オーストリア
長椅子
18世紀中頃
ウォールナット、金（部分）、織布に詰め物
張り地：淡色地に花柄のタペストリー生地
110×255×108cm
Inv. no. MO 56

129
作者不詳、オーストリア
「王妃風」肘掛け椅子
18世紀第２・３四半期
無垢のウォールナットに上塗り、彫刻を施したブナ、金、織布に詰め物
張り地：淡色地に花柄のタペストリー生地
104×75×66cm
Inv. no. MO 380

130
意匠：ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ
彫刻装飾：ピサーノ（本名アントニオ・キカーリ）
勝利の額
17世紀第３四半期
木、金、銀
125×105cm
Inv. no. RA 5101

131
作者不詳、ローマ
飾り枠付き鏡
17世紀第４四半期
針葉樹、金、パンチ（刻印の技法）
200×160×45cm
Inv. no. MO 1871

132
ブール細工製作所、ウィーン
ブール象嵌の燭台 一対
1700年頃
べっ甲、錫の合金、黒檀、真鍮、鍍金
122×43cm
Inv. no. MO 2286

133
指物師：アドリアン・デュボワ
時計技師：フランソワ・バイヨン
コンソール付き振り子時計
1745年頃
ブール象嵌、べっ甲、鍍金を施したブロンズ、七宝
68×30×17cm
Inv. no. MO 2025

134
デュ・パキエ磁器製作所、ウィーン
コーヒーポット
1725年頃
磁器
高さ28cm
Inv. no. PO 71

135
マイセン磁器製作所
絵付け：イグナーツ・プライスラー
ティーポット
1725年頃
ベットガー磁器、黒色単彩、金装飾
14×16×11cm
Inv. no. PO 2137

136
磁器：日本
装飾：イグナーツ・ヨーゼフ・ヴュルト（帰属）
オルモル装飾の蓋付きポプリ入れ（対作の１点）
磁器：1680-1700年
装飾：1775/85年
磁器：染付
装飾：鍍金を施したブロンズ
49×30cm
Inv. no. PO 1822

137
作者不詳
オルモル装飾の青磁の壺
磁器：中国、清（1644-1912年）
装飾：1760/70年頃
磁器：青磁
装飾：鍍金を施したブロンズ
高さ70cm
Inv. no. PO 1832

138
磁器：中国／日本／ヨーロッパ
脚、装飾：イグナーツ・ヨーゼフ・ヴュルト（帰属）
枝付き大燭台
磁器：中国、清・順治年間（1644-61年）；清・康熙年間（1662-1722年）／日本、1680年頃／ヨーロッパ、1700年以降
装飾：1785/95年
磁器：染付
装飾：鍍金を施したブロンズ
高さ309cm
Inv. no. PO 2571

139
磁器：中国／日本
脚、装飾：イグナーツ・ヨーゼフ・ヴュルト（帰属）
枝付き大燭台
磁器：中国、清・康熙年間（1662-1722年）／日本、1670-1700年頃
装飾：1785/95年
磁器：染付、赤絵付け
装飾：鍍金を施したブロンズ
高さ306cm
Inv. no. PO 2573

未来を担う美術家たち
DOMANI・明日展2013
文化庁芸術家在外研修の成果
出品リスト

［凡例］
No.
作品名
制作年
素材・技法
所蔵

曽根　裕

1
ホンコン・アイランド／チャイニーズ
1998
大理石
金沢21世紀美術館

2
ハイウェイ・ジャンクション110-10
2002
大理石
金沢21世紀美術館

3
木の間の光＃2
2010
大理石
東京都現代美術館

米正万也

1
believe in it
1998
映像作品　3分20秒

2
Üks Uks
2003
映像作品　7分

3
Wiener Wuast
2006
映像作品　4分48秒

4
believe in itの原画
1998
クロッキー帳にインク

5
Üks Uksの原画
2003
和紙にインク、手製本

6
Wiener Wuastの原画
2006
和紙にインク

塩田千春

1
大陸を越えて
2013
糸、靴

神彌佐子

1
Juana
2007
紙本着色／墨、顔料、箔、麻紙、木製パネル

2
gelatinous
2009
紙本着色／墨、顔料、箔、麻紙、木製パネル

3
miel
2010
紙本着色／墨、顔料、箔、麻紙、木製パネル

4
miel（2）
2010
紙本着色／墨、顔料、箔、麻紙、楮紙

5
miel 2011
2011
紙本着色／墨、顔料、箔、麻紙、木製パネル

6
ripe
2012
紙本着色／墨、顔料、箔、麻紙、木製パネル

7
stride 2012
2012
麻製蚊帳、楮紙、墨、顔料、箔、他

橋爪　彩

1
untitled
2005、2009
油彩、パネル

2
Red Shoes Diary（Berlin #1）
2008
油彩、パネル
個人蔵

3
Red Shoes Diary（Berlin #4）
2008
油彩、パネル
個人蔵

4
Red Shoes Diary（Berlin #5）
2008
油彩、パネル

5
Red Shoes Diary（Berlin #6）
2009
油彩、パネル
個人蔵

6
Red Shoes Diary（Berlin #7）
2009
油彩、パネル
個人蔵

7
Red Shoes Diary（Berlin #8）
2009
油彩、パネル
個人蔵

8
die süße Tasche
2009
油彩、パネル

9
Nail
2010
油彩、パネル
個人蔵

10
Accessories
2010
油彩、パネルにエマルジョン地
個人蔵

11
Girls Start the Riot
2010-2011
油彩、パネル
高橋コレクション

12
still life with skull
2011
油彩、パネル

13
Chloris
2011
油彩、パネル
個人蔵

14
Flora
2011
油彩、パネルに白亜地
高橋コレクション

15
Toilette des Filles
2011-2012
油彩、パネル
個人蔵

16
Toilette des Filles 2
2012
油彩、パネルにエマルジョン地

17
Venus
2012-2013
油彩、パネルにエマルジョン地

行武治美

1
縁起
2012
鏡

2
パラサイト
2012
鏡

澤田知子

1
Decoration
2008
ラムダプリント

2
Decoration
2008
ラムダプリント

3
Decoration
2008
ラムダプリント

4
Decoration
2008
ラムダプリント

5
Decoration
2008
ラムダプリント

6
Decoration
2008
ラムダプリント

7
Decoration
2008
ラムダプリント

8
Decoration
2008
ラムダプリント

9
Mirrors
2010
ラムダプリント 10点組

10
Sign “TOMATO KETCHUP”
2012
ラムダプリント 56点組

11
Sign “YELLOW MUSTARD”
2012
ラムダプリント 56点組

糸井　潤

1
Cantos Familia
2011-2012
アーカイバルピグメントプリント

2
Kaamos
2011-2012
アーカイバルピグメントプリント

3
Solitude
2011
映像作品　5分

平野　薫

1
untitled -stockings-
2005
ストッキング

2
untitled -jacket-
2008
ジャンパー（ニューヨーク）

3
untitled -dress-
2013
ワンピース（ベルリン）

4
sphere #1
2012
トランクス

5
sphere #2
2012
Tシャツ

6
sphere #3
2012
靴下（右）

7
sphere #4
2012
靴下（左）

8
sphere #5
2012
チノパン

9
sphere #6
1998
Tシャツ

10
sphere #7
2012
パンティー

11
web #4
2012
シャツ

12
column
2013
ボタン

青野千穂

1
Distillation
2000
セラミック

2
hang down
2004
セラミック、木材

3
The connected Rhythm
2006
セラミック

4
I am to me
2006
セラミック

5
The tear which flows ceaseless
2006
セラミック、木材

6
blur
2007
セラミック

7
a soft border
2009
セラミック

8
The azure water
2010
セラミック

9
drain
2011
セラミック

10
SwingⅠ
2011
セラミック、木材、鎖

11
SwingⅡ
2011
セラミック、木材、鎖

池田　学

1
巌ノ王
1998
ペン、インク、紙
おぶせミュージアム・中島千波館

2
森
1998
ペン、インク、紙
個人蔵

3
ブッダ
2000
ペン、インク、紙
個人蔵

4
再生
2001
ペン、インク、紙
浜松市美術館

5
興亡史
2006
ペン、インク、紙
高橋コレクション

6
トラ
2007
ペン、インク、紙

7
グレビーシマウマ
2008
ペン、インク、紙

8
コヨーテ
2008
ペン、インク、紙

9
航路
2008
ペン、インク、紙
個人蔵

10
カバ
2009
ペン、インク、紙

11
海の階段
2010
ペン、インク、紙

12
カワセミ
2010
ペン、インク、紙

13
とぐろ
2010
ペン、インク、紙
ギャルリー・サン・ギョーム

14
氷窟
2010
ペン、インク、紙
個人蔵

15
地下の種
2010
ペン、インク、紙
個人蔵

16
Bait
2010
ペン、インク、紙
個人蔵

17
Gate
2010
ペン、インク、紙
個人蔵

18
farmer’s tank
2010
ペン、インク、紙
個人蔵

19
トウダイウオ
2011
ペン、インク、紙

20
ヒョウザンクラゲ
2011
ペン、インク、紙

21
漂流者
2011
ペン、インク、紙
個人蔵

22
ムラサキホウセキガメ
2011
ペン、インク、紙

23
モリオウムシ
2011
ペン、インク、紙

24
起点
2012
ペン、インク、紙

25
山と雲
2012
ペン、インク、紙

小尾　修

1
跡
1992
油彩、テンペラ、キャンバスにエマルジョン地

2
空き地
1994
油彩、テンペラ、キャンバスにエマルジョン地

3
雨上がり
1998
油彩、パネルに白亜地
ホキ美術館

4
南瓜
2002
油彩、パネルに白亜地
ホキ美術館

5
潮風
2003
油彩、パネルに白亜地
武本尚氏蔵

6
春
2003
油彩、パネルに白亜地
武本尚氏蔵

7
休息
2004
油彩、キャンバスにエマルジョン地
倉吉博物館

8
昨日の雨
2008
油彩、キャンバスにエマルジョン地
ホキ美術館

9
摸写　レンブラント「緑なし帽をかぶり、金の鎖をつけた自画像」
2011
油彩、パネルに水性白亜地

10
摸写　レンブラント「画架の前の自画像」
2011
油彩、キャンバスに油性地

11
La terre
2011
油彩、パネルに白亜地
ホキ美術館

12
MIRABEAU
2011
水彩、コンテ、鉛筆、雁皮紙、パネル
田中博志氏蔵

13
Sveva
2012
油彩、キャンバスにエマルジョン地
個人蔵

14
Sous les toits
2012
油彩、パネルに白亜地

15
Kay
2012
油彩、キャンバスにエマルジョン地
ホキ美術館

16
窓
2012
油彩、パネルに白亜地
個人蔵

17
オイルスケッチ・頭部の習作
2012
油彩、パネルに白亜地
個人蔵

アーティスト・ファイル2013
—現代の作家たち
出品リスト

［凡例］
作品番号
《作品名》
制作年
素材・技法
寸法
所蔵

ダレン・アーモンド｜Darren ALMOND

1
《あなたがいれば…》
2003年
ビデオ・インスタレーション（４画面）
サイズ可変
Commissioned by the Fondazione Nicola Trussardi, Milan, Italy

2
《此処と月面の間で》
2011年
ブロンズ
84.3×61.5×1.5cm
作家蔵

3
《Fullmoon ブジュク谷にて》
2010年
Type-Cプリント
180×180cm
ホワイト・キューブ

4
《Fullmoon アイフェルにて ２》
2010年
Type-Cプリント
180×180cm
作家蔵

5
《満月虹》
2011年
Type-Cプリント
121.2×121.2cm
作家蔵

6
《Fullmoon アイフェルにて ４》
2010年
Type-Cプリント
121.2×121.2cm
作家蔵

7
《Fullmoon ポイズン・グレンにて》
2007年
Type-Cプリント
121.2×121.2cm
作家蔵

8
《Fullmoon 長城跡にて》
2007年
Type-Cプリント
121.2×121.2cm
作家蔵

9
《Fullmoon ブジュクにて》
2009年
Type-Cプリント
121.2×121.2cm
作家蔵

東亭 順｜AZUMATEI Jun

1
《Float_22.07.2011》
2011年
インクジェットプリント、アクリル絵具、水性ニス、板
径24.5cm
作家蔵

2
《Sad but True_y》
2011年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、木枠
100×100cm
作家蔵

3
《C-A1：誰にも言わずに黙っていることがある。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
110×190cm
作家蔵

4
《Q-D4：たとえそのまま目が覚めなくとも期待は抑えられない。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
180×120cm
作家蔵

5
《L-B4：トンネルに入ることと、抜けることは全く異なるはなしだよ。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
120×180cm
作家蔵

6
《M-A3：たとえ嘘であっても私たちは傷つくべきではないわ。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
120×180cm
作家蔵

7
《Cy-C2：そして毎日が明日を台無しにしてるのね。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
120×180cm
作家蔵

8
《L-C4：未来のためという台詞は、都合の良い逃げ道に聞こえる。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
120×140cm
作家蔵

9
《M-D1：でも、いつか白馬に乗った王子さまがあらわれるはずよ。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
120×120cm
作家蔵

10
《L-A4：おひとよしが善人だとは限らない。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
110×120cm
作家蔵

11
《C-C3：どちらにしても未来を拒むことはできない。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
130×110cm
作家蔵

12
《C-D2：静かに横たわって、素敵な寝顔でね。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
150×130cm
作家蔵

13
《Cy-D3：変質的なキスを夢見て待つ。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
100×130cm
作家蔵

14
《M-E1：わたしにはまだよくわからない。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
100×100cm
作家蔵

15
《M-B1：花びらをちぎって、未来を占ってみましょうよ。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
100×100cm
作家蔵

16
《M-C1：気づかないうちに入り込んでくるのさ。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
100×100cm
作家蔵

17
《Q-A2：あれは全部嘘だということでしょ？》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
100×100cm
作家蔵

18
《Cy-B3：どちらにしてもそのうちに枯れてしまう。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
80×80cm
作家蔵

19
《Cy-E3：いつまでも作り話につき合わせるつもりらしい。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、木枠
80×80cm
作家蔵

20
《C-E2：あなたはそれを考えなくてもいい。》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、パネル
60×60cm
作家蔵

21
《Q-B2：造花に水をやりつづけるつもり？》
2012年
中古シーツ、水性ニス、ポピーオイル、色鉛筆、パネル
60×60cm
作家蔵

22
《L-E4：それでもわたしたちはステージからおりる事はできない。》
2013年
パールピン

ヂョン・ヨンドゥ｜Yeondoo JUNG

1
〈ワンダーランド〉より《お母さんの庭》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
100×125cm／40×53cm
クッチェ・ギャラリー

2
〈ワンダーランド〉より《おっきな花》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
80×100cm／40×53cm
作家蔵

3
〈ワンダーランド〉より《白雪姫》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵（２点）
80×100cm／40×53cm、53×40cm
作家蔵

4
〈ワンダーランド〉より《キツネの手品》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
80×100cm／40×53cm
作家蔵

5
〈ワンダーランド〉より《雨降りの子供の日》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
79×99cm／40×53cm
クッチェ・ギャラリー

6
〈ワンダーランド〉より《シンデレラ》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
100×125cm／40×53cm
クッチェ・ギャラリー

7
〈ワンダーランド〉より《モダン・ウエディング》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
80×100cm／40×53cm
作家蔵

8
〈ワンダーランド〉より《３日も寝てない》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
80×100cm／40×53cm
作家蔵

9
〈ワンダーランド〉より《虹の波に乗る三兄弟》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
80×100cm／40×53cm
作家蔵

10
〈ワンダーランド〉より《魔法をかけるキラキラさん》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
80×100cm／40×53cm
作家蔵

11
〈ワンダーランド〉より《お昼寝》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
181×145cm／40×53cm
クッチェ・ギャラリー

12
〈ワンダーランド〉より《赤ずきん》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
100×125cm／40×53cm
クッチェ・ギャラリー

13
〈ワンダーランド〉より《お金持ちと貧乏》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
100×125cm／40×53cm
クッチェ・ギャラリー

14
〈ワンダーランド〉より《眠り姫》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
80×100cm／40×53cm
作家蔵

15
〈ワンダーランド〉より《歌手になりたい》
2004年
Type-Cプリント／子供が描いた絵
80×100cm／40×53cm
作家蔵

16
〈手作りの記憶〉より《大屋敷》
2008年
HDビデオ（２画面）
５分48秒

17
〈手作りの記憶〉より《麦畑》
2008年
HDビデオ（２画面）
10分09秒

18
〈手作りの記憶〉より《肉と魂の境界線》
2008年
HDビデオ（２画面）
９分16秒

19
〈手作りの記憶〉より《済州島駱駝》
2008年
HDビデオ（２画面）
８分14秒

20
〈手作りの記憶〉より《伝説と貧困》
2008年
HDビデオ（２画面）
４分47秒

21
〈手作りの記憶〉より《TVスター》
2008年
HDビデオ（２画面）
10分31秒

利部志穂｜KAGABU Shiho

1
《ブルーアワー／タマがわ、たった火》
2013年
ターポリン、パイプ、紙、不要となったもの、ほか

2
《DANCING MOONS》
2013年
木、DVD、ほか

3
《ママとハハ》
2013年
紙、木、ほか

國安孝昌｜KUNIYASU Takamasa

1
《Inner Kingdom 2013》
2013年
陶ブロック、丸太

ナリニ・マラニ｜Nalini MALANI

1
《消失した血痕を探して》
2012年
ビデオ（６画面）／裏面に彩色した回転するマイラー製シリンダー５点による影絵、サウンド
11分
バーガー・コレクション（香港）

2
《内在する他者との分裂》
2007年
アクリル、インク、エナメル／アクリル・シートの裏面に彩色
14枚のパネル、各200×100cm
作家蔵

中澤英明｜NAKAZAWA Hideaki

1
《子供の顔─おっさま》
2006年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
53×41cm
作家蔵

2
《子供の顔─八重歯》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
53×41.2cm
作家蔵

3
《子供の顔─セーター》
2006年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
45.4×38cm
作家蔵

4
《子供の顔─オーバーオール》
2006年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
45.4×37.8cm
作家蔵

5
《子供の顔─真魚（まお）》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
45.4×38.1cm
作家蔵

6
《子供の顔─ズケット》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
45.4×38.3cm
作家蔵

7
《子供の顔─泪》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
45.3×37.9cm
作家蔵

8
《子供の顔─リンポチェ》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
45.4×37.9cm
作家蔵

9
《子供の顔─晒柿（されがき）》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
45.4×38.2cm
作家蔵

10
《子供の顔─弥勒》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
40.9×31.7cm
作家蔵

11
《子供の顔─兵隊さん》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
40.8×31.7cm
作家蔵

12
《子供の顔─熟柿（じゅくし）》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
40.8×31.7cm
作家蔵

13
《子供の顔─びっくりウサギ》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
40.8×31.7cm
作家蔵

14
《子供の顔─モンゴロイド》
2008年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

15
《子供の顔─産着》
2008年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

16
《子供の顔─Tinker Bell》
2008年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

17
《子供の顔─侏儒（しゅじゅ）》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30.1cm
作家蔵

18
《子供の顔─おサル》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

19
《子供の顔─おっきいちっちゃい》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30.1cm
作家蔵

20
《子供の顔─体操服》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

21
《子供の顔─おちょんぼ》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

22
《子供の顔―藪睨み》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

23
《子供の顔―大福餅》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

24
《子供の顔― 一つ目小僧[園児服]》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

25
《子供の顔― 一つ目小僧》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30.1cm
作家蔵

26
《子供の顔―グリーンベルベット》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

27
《子供の顔―チョッキ》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30.1cm
作家蔵

28
《子供の顔―ふたいろまなこ(二色眼)》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

29
《子供の顔―苦虫》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

30
《子供の顔―通学服》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

31
《子供の顔―蟻》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30.1cm
作家蔵

32
《子供の顔―ウルトラの母》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

33
《子供の顔―ラマ僧》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30cm
作家蔵

34
《子供の顔―ダッフルコート》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30.1cm
作家蔵

35
《子供の顔―なまこまなこ(海鼠眼)》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30.2cm
作家蔵

36
《子供の顔―ムシ歯》
2012年
テンペラ、油彩、白亜地、綿布、板
36×30.2cm
作家蔵

志賀理江子|SHIGA Lieko

1
《小さな顔》
2012年
Type-Cプリント
180×270cm
作家蔵

2
《昏睡》
2012年
Type-Cプリント
120×156.3cm
作家蔵

3
《いまださめぬ》
2010年
Type-Cプリント
254×141cm
作家蔵

4
《波打ち際まで三百メートル》
2011年
Type-Cプリント
120×182.9cm
作家蔵

5
《誘導灯》
2012年
Type-Cプリント
180×270cm
作家蔵

6
《2つの星》
2012年
Type-Cプリント
170×255cm
作家蔵

7
《何度も帰ってきた》
2012年
Type-Cプリント
170×255cm
作家蔵

8
《百万回生きる》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

9
《螺旋海岸 11》
2012年
Type-Cプリント
170×255cm
作家蔵

10
《私には角が生えた》
2012年
Type-Cプリント
180×270cm
作家蔵

11
《歌がだれにもわからない》
2012年
Type-Cプリント
160×240cm
作家蔵

12
《私・私》
2012年
Type-Cプリント
160×240cm
作家蔵

13
《私・私・私》
2012年
Type-Cプリント
180×270cm
作家蔵

14
《お菓子の城》
2011年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

15
《みなさん　さようなら》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

16
《螺旋海岸 16》
2012年
Type-Cプリント
120×156.3cm
作家蔵

17
《螺旋海岸 17》
2012年
Type-Cプリント
170×255cm
作家蔵

18
《砂泥棒》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

19
《手もねえ、足もねえ》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

20
《振り返ってはならぬ》
2011年
Type-Cプリント
110×165cm
作家蔵

21
《螺旋海岸 19》
2012年
Type-Cプリント
180×270cm
作家蔵

22
《子供のあそび》
2011年
Type-Cプリント
120×146.5cm
作家蔵

23
《螺旋海岸 20》
2011年
Type-Cプリント
110×165cm
作家蔵

24
《螺旋海岸 21》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

25
《となりのかあちゃんカキクケコ》
2011年
Type-Cプリント
110×165cm
作家蔵

26
《宇宙人だった》
2012年
Type-Cプリント
130×195cm
作家蔵

27
《緑のトンネル》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

28
《349243》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

29
《24136》
2012年
Type-Cプリント
110×165cm
作家蔵

30
《99879》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

31
《12459》
2012年
Type-Cプリント
140×210cm
作家蔵

32
《朝いきなり死んだ》
2011年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

33
《65291》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

34
《65290》
2012年
Type-Cプリント
130×195cm
作家蔵

35
《348》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

36
《メキシコに行った》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

37
《6532》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

38
《24928》
2012年
Type-Cプリント
100×150cm
作家蔵

39
《34721》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

40
《24999》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

41
《31987》
2012年
Type-Cプリント
150×225cm
作家蔵

42
《7677293》
2012年
Type-Cプリント
100×150cm
作家蔵

43
《26273》
2012年
Type-Cプリント
140×210cm
作家蔵

44
《2939977》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

45
《3724112》
2011年
Type-Cプリント
110×165cm
作家蔵

46
《1129298871》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

47
《4639》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

48
《1093201》
2012年
Type-Cプリント
100×150cm
作家蔵

49
《344531》
2012年
Type-Cプリント
100×150cm
作家蔵

50
《4592113》
2012年
Type-Cプリント
140×210cm
作家蔵

51
《6623291》
2012年
Type-Cプリント
140×210cm
作家蔵

52
《37624》
2012年
Type-Cプリント
140×210cm
作家蔵

53
《37224》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

54
《64351》
2012年
Type-Cプリント
140×210cm
作家蔵

55
《224726》
2012年
Type-Cプリント
140×210cm
作家蔵

56
《62539》
2011年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

57
《89》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

58
《225》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

59
《19》
2012年
Type-Cプリント
90×135cm
作家蔵

60
《青い人》
2012年
Type-Cプリント
120×156.3cm
作家蔵

61
《螺旋海岸 26》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

62
《一匹のオオカミ》
2011年
Type-Cプリント
140×210cm
作家蔵

63
《螺旋海岸 27》
2012年
Type-Cプリント
140×210cm
作家蔵

64
《螺旋海岸 28》
2012年
Type-Cプリント
120×156.3cm
作家蔵

65
《クジラの子供 1》
2012年
Type-Cプリント
140×210cm
作家蔵

66
《クジラの子供 2》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

67
《秘密どこ》
2010年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

68
《螺旋海岸 31》
2010年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

69
《肉は肉、魚は魚》
2010年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

70
《螺旋海岸 32》
2009年
Type-Cプリント
100×101.1cm
作家蔵

71
《ヤマツツジ食べながら帰った》
2010年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

72
《渡り鳥》
2009年
Type-Cプリント
100×150cm
作家蔵

73
《葬儀》
2009年
Type-Cプリント
120×130cm
作家蔵

74
《父探し》
2009年
Type-Cプリント
110×165cm
作家蔵

75
《螺旋海岸 33》
2009年
Type-Cプリント
90×135cm
作家蔵

76
《赤い階段》
2010年
Type-Cプリント
90×135cm
作家蔵

77
《開墾の肖像》
2009年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

78
《タイムカプセル》
2009年
Type-Cプリント
100×150cm
作家蔵

79
《螺旋海岸 34》
2010年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

80
《螺旋海岸 35》
2009年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

81
《砂の人》
2009年
Type-Cプリント
75×165cm
作家蔵

82
《螺旋海岸 36》
2010年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

83
《涙の庭》
2010年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

84
《私の家》
2009年
Type-Cプリント
120×145.3cm
作家蔵

85
《目隠しパイロット》
2009年
Type-Cプリント
100×158.9cm
作家蔵

86
《五本の指》
2009年
Type-Cプリント
90×135cm
作家蔵

87
《カカシ大会》
2010年
Type-Cプリント
120×156.3cm
作家蔵

88
《赤犬の殺しかた》
2010年
Type-Cプリント
100×150cm
作家蔵

89
《小さな手》
2009年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

90
《兄ちゃんの春》
2012年
Type-Cプリント
180×270cm
作家蔵

91
《化け物と暮らした》
2012年
Type-Cプリント
180×270cm
作家蔵

92
《664》
2012年
Type-Cプリント
180×270cm
作家蔵

93
《2582231》
2012年
Type-Cプリント
170×255cm
作家蔵

94
《338767》
2012年
Type-Cプリント
170×255cm
作家蔵

95
《螺旋海岸 44》
2012年
Type-Cプリント
170×255cm
作家蔵

96
《三日月》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

97
《無題》
2012年
Type-Cプリント
130×195cm
作家蔵

98
《螺旋海岸 23》
2012年
Type-Cプリント
110×165cm
作家蔵

99
《黄色の花が好き》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

100
《夢中で歩いた》
2009年
Type-Cプリント
100×150cm
作家蔵

101
《亡骸といっしょに眠った》
2010年
Type-Cプリント
90×164cm
作家蔵

102
《ジャイアント・プー》
2009年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

103
《螺旋海岸 40》
2010年
Type-Cプリント
60×90cm
作家蔵

104
《58244》
2012年
Type-Cプリント
120×180cm
作家蔵

105
《宇宙人だった》
2012年
Type-Cプリント
120×146.2cm
作家蔵

106
《伝言》
2012年
Type-Cプリント
120×156.3cm
作家蔵

107
《伝言24》
2012年
Type-Cプリント
120×156.3cm
作家蔵

108
《伝言25》
2012年
Type-Cプリント
120×156.3cm
作家蔵

109
《伝言26》
2012年
Type-Cプリント
120×156.3cm
作家蔵

平成24年度［第16回］
文化庁メディア芸術祭
出品リスト

1
Pendulum Choir
Cod.Act（Michel DÉCOSTERD / André DÉCOSTERD）
アート部門
大賞
ミュージックパフォーマンス

2
欲望のコード
三上 晴子
アート部門
優秀賞
インタラクティブ・インスタレーション

3
BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW
SOL CHORD（前田 真二郎／岡澤 理奈）
アート部門
優秀賞
ウェブ・映像

4
Bye Buy
Neil BRYANT
アート部門
優秀賞
映像

5
On Pause
Mikhail ZHELEZNIKOV
アート部門
優秀賞
映像

6
Outback and Beyond
Grayson COOKE / Mike COOPER
アート部門
新人賞
映像

7
Species series
YANG Wonbin
アート部門
新人賞
ロボット

8
Strata #4
Quayola
アート部門
新人賞
映像プロジェクション

9
海の形
潘 逸舟
アート部門
推薦作品
映像

10
ヒバリ〜震災義援音楽配信プロジェクト〜
間部 令子／ベンフィ 杏里沙／村井 貴
アート部門
推薦作品
ウェブ

11
ほんの一片
佐野 友紀
アート部門
推薦作品
グラフィックアート

12
Immersive Room
澤村 ちひろ
アート部門
推薦作品
映像インスタレーション

13
My Sputnik
古屋 和臣
アート部門
推薦作品
デジタルフォト

14
skinslides
大脇 理智
アート部門
推薦作品
インタラクティブ・インスタレーション

15
311メモリーズ
北本 朝展／緒方 壽人
アート部門
推薦作品
ウェブ

16
Perfume “Global Site Project”
真鍋 大度／MIKIKO／中田 ヤスタカ／堀井 哲史／木村 浩康
エンターテインメント部門
大賞
映像インスタレーション

17
あさっての森
三木 俊一郎
エンターテインメント部門
優秀賞
映像

18
勝手に入るゴミ箱
倉田 稔
エンターテインメント部門
優秀賞
ガジェット

19
水道橋重工「KURATAS」
倉田 光吾郎／吉崎 航
エンターテインメント部門
優秀賞
ロボット

20
GRAVITY DAZE／重力的眩暈：上層への帰還において、彼女の内宇宙に生じた摂動
外山 圭一郎（GRAVITY DAZEチーム）
エンターテインメント部門
優秀賞
ゲーム

21
どうでもいいね！
IDPW
エンターテインメント部門
新人賞
ウェブ

22
永野 亮「はじめよう」
新井 風愉
エンターテインメント部門
新人賞
映像

23
ハイスイノナサ「地下鉄の動態」
大西 景太
エンターテインメント部門
新人賞
映像

24
いろぴこ
村井 亮史
エンターテインメント部門
推薦作品
アプリ（iPad）

25
ウダー
宇田 道信
エンターテインメント部門
推薦作品
電子楽器

26
グリッチ刺繍
ヌケメ
エンターテインメント部門
推薦作品
デジタルファブリケーション

27
千葉工業大学 東京スカイツリータウン®キャンパス展示
緒方 壽人
エンターテインメント部門
推薦作品
体験型アトラクション

28
初音ミク —Project DIVA— f
Team Project DIVA
エンターテインメント部門
推薦作品
ゲーム

29
迷牛ハナコはどこ？
HORSTON
エンターテインメント部門
推薦作品
映像

30
まり
谷川 俊太郎／広瀬 弦／原田 郁子／tocco
エンターテインメント部門
推薦作品
アプリ（iPad）

31
necomimi
neurowear
エンターテインメント部門
推薦作品
ガジェット

32
rrrrrrrroll
rrrrrrrroll
エンターテインメント部門
推薦作品
ウェブ

33
火要鎮
大友 克洋
アニメーション部門
大賞
短編アニメーション

34
アシュラ
ジョージ 秋山／さとう けいいち
アニメーション部門
優秀賞
劇場アニメーション

35
おおかみこどもの雨と雪
細田 守
アニメーション部門
優秀賞
劇場アニメーション

36
グスコーブドリの伝記
杉井 ギサブロー
アニメーション部門
優秀賞
劇場アニメーション

［凡例］
作品名
作家名
部門名
賞名
作品形式

37
グレートラビット
和田 淳
アニメーション部門
優秀賞
短編アニメーション

38
布団
水尻 自子
アニメーション部門
新人賞
短編アニメーション

39
LUPIN the Third　〜峰不二子という女〜
モンキー・パンチ／山本 沙代
アニメーション部門
新人賞
テレビアニメーション

40
Oh Willy…
Emma De SWAEF／Marc James ROELS
アニメーション部門
新人賞
短編アニメーション

41
闇の国々
ブノワ・ペータース／フランソワ・スクイテン　訳：古永 真一／原 正人
マンガ部門
大賞
単行本・雑誌

42
岳　みんなの山
石塚 真一
マンガ部門
優秀賞
単行本・雑誌

43
ましろのおと
羅川 真里茂
マンガ部門
優秀賞
単行本・雑誌

44
ムチャチョ—ある少年の革命
エマニュエル・ルパージュ
マンガ部門
優秀賞
単行本・雑誌

45
GUNSLINGER GIRL
相田 裕
マンガ部門
優秀賞
単行本・雑誌

46
凍りの掌　シベリア抑留記
おざわ ゆき
マンガ部門
新人賞
単行本・雑誌

47
千年万年りんごの子
田中 相
マンガ部門
新人賞
単行本・雑誌

48
ぼくらのフンカ祭
真造 圭伍
マンガ部門
新人賞
単行本・雑誌

49
江並 直美（電子出版物プロデューサー）
功労賞
その他

50
大河原 邦男（メカニックデザイナー）
功労賞
その他

51
小長井 信昌（編集者）
功労賞
その他

52
佐藤 茂（音響技術者）
功労賞
その他

9-7　名簿　The NACT Advisory Board, The NACT Council and Staff List

顧問会名簿　The NACT Advisory Board

高階秀爾	大原美術館長、西洋美術振興財団理事長
堤　清二	セゾン文化財団理事長
福原義春	株式会社資生堂名誉会長、東京都写真美術館長
ブルース・ミラー	駐日オーストラリア大使
森　佳子	森美術館理事長、森ビル株式会社取締役

平成25（2013）年３月末現在　５名

評議員名簿　The NACT Council

新井光風	日展理事、大東文化大学名誉教授、書家
梅原幸雄	東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻教授、日本画家
勝田哲司	サントリー美術館支配人、サントリー芸術財団専務理事
酒井忠康	世田谷美術館長
高橋信也	森美術館館長付アドバイザー
山本　貞	二紀会理事長、日本美術家連盟理事長、洋画家
奥田小由女	日展副理事長、工芸美術・人形作家
吉見俊哉	東京大学副学長、東京大学大学院情報学環教授
團　紀彦	建築家、株式会社團紀彦建築設計事務所代表取締役
後小路雅弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
土生修一	読売新聞東京本社事務局総務
王　　敏	法政大学国際日本学研究所教授
黛まどか	俳人
足羽與志子	一橋大学大学院社会学研究科教授
ドラ・トーザン	国際ジャーナリスト、エッセイスト
大田弘子	政策研究大学院大学教授
福岡伸一	青山学院大学総合文化政策学部教授
北郷　悟	東京藝術大学理事・副学長、東京藝術大学美術学部教授、彫刻家
葛岡利明	株式会社日立製作所執行役専務

平成25（2013）年３月末現在　19名

職員名簿　Staff

館長	青木　保
副館長	福永　治
館長補佐	小松弥生

［庶務課］

庶務課長／室長（管理）	水野元洋
室長（運営）	矢板橋進一
庶務担当	
係長	中川健太郎
一般職員	羽田野愛
事務補佐員	白石顕子
事務補佐員	千葉美和
事務補佐員	服部晃子
会計担当	
係長	東谷　憲
係主任	中井加奈
事務補佐員	田上麻里
事務補佐員	朝倉由里加
事務補佐員	山本紗也香
事業担当	
係長	神長宏幸
事務補佐員	市川亜木子
事務補佐員	渡部　恵
事務補佐員	倉持尚子

［学芸課］

学芸課長	南　雄介
企画室	
企画室長（主任研究員）	長屋光枝
主任研究員	宮島綾子
主任研究員	本橋弥生
研究員	山田由佳子
研究補佐員	阿部真弓
研究補佐員	米田尚輝
研究補佐員	岩﨑美千子
研究補佐員	瀧上　華
研究補佐員	鈴木伸子
研究補佐員	長谷川珠緒
教育普及室	
教育普及室長（主任研究員）	西野華子
アソシエイト・フェロー	吉澤菜摘
研究補佐員	井上絵美子
研究補佐員	木内祐子
情報資料室	
情報資料室長（主任研究員）	室屋泰三
アソシエイト・フェロー	谷口英理
研究補佐員	窪内美緒
研究補佐員	望月麻実子
研究補佐員	小幡朋子
研究補佐員	伊村靖子
研究補佐員	長名大地
研究補佐員	阿部陽子
情報研究補佐員	数原　潔
事務補佐員	藤井糸子

［広報室］

広報室長	（兼）西野華子
広報室長補佐	（兼）中川健太郎
事務補佐員	石松慧子
事務補佐員	窪田知恵
事務補佐員	桐生智恵子

兼務（平成24年４月～９月）

主任研究員（情報資料）	平井章一

（本務：京都国立近代美術館）

平成25（2013）年３月末現在　47名

平成24年度　国立新美術館　活動報告

発　行：国立新美術館
東京都港区六本木7-22-2
電話03-6812-9900

編　集：国立新美術館　教育普及室
印　刷：(株)アイワード
発行日：平成25年7月22日(非売品)

NACT REPORT
April 2012 – March 2013
The National Art Center, Tokyo

Published by: The National Art Center, Tokyo
7-22-2 Roppongi, Minato-ku, Tokyo, 106-8558, Japan
Edited by: Section of Education & Public Programs
Printed by: iWORD

国立新美術館
THE NATIONAL ART CENTER, TOKYO